

第七四號

1024

廿二日

政史

毛利

衛生

三浦

監事

岡二

機務

長

銃砲

砲

陸軍省副官部御中  
首題ノ件参考ノ爲別冊ノ如ク提出ス

昭和拾貳年十二月五日

第二十師團司令部

一印行此ノ係長

恩賞課

陸軍省  
13.1.18

陸軍省  
13.1.13  
課專警

陸軍省  
13.1.11  
203

陸軍省  
12.12.28  
版業課

陸軍省  
13.1.11  
砲

陸軍省  
12.12.10  
受領部  
學問部

陸軍省  
12.12.28  
352  
整備課

陸軍省  
12.12.14  
390  
陸軍省  
13.1.6  
砲

砲  
銃砲課

戦局要報

陸軍省  
12.12.17  
第143號  
下

陸軍省  
12.12.28  
第143號  
戰備課

陸軍省  
12.12.28  
9  
91課  
要案

1025

思賞課一節  
官房二節

娘子關附近ノ戦闘  
大原平地ノ反略戦

戦闘西女報

第二十師團

1025  
2-5-2

自昭和十二年十月二十日  
至昭和十二年十一月九日

娘子關附近ノ戰鬪  
太原平地ノ反略戰

戰鬪要報

第二十師團

## 目次

## 第一、戰鬥經過ノ概要

其二、戰鬥前ノ一般ノ態勢

其三、井陘附近ヲ陽泉平地迄ノ作戰（以下附圖其一參照）

一、師團ノ戰鬥指道

二、右側支隊（右縱隊）ノ井陘、舊關及娘子關附近ノ戰鬥

三、步兵第八十聯隊第一大隊ノ校桃園南側高地ノ戰鬥

四、左縱隊ノ東回鎮、松溝村附近ノ迂回戰鬥

五、右縱隊（右追擊隊）ノ舊關及娘子關ヨリ陽泉へ

## 追擊戰鬥

六、左縱隊（左追擊隊）ノ平定ニ向フ追擊戰鬥

七、平定附近敵ノ抗戰

其三、陽泉平地ヨリ太原平地迄ノ作戰（以下附圖其二其三參照）

一、師團ノ戰鬥指道

ニ右追撃隊ノ追撃戦闘

三左追撃隊ノ追撃戦闘

四騎兵隊ノ追撃戦闘

第五、彼我損害ノ概要

其一敵ニ與ヘタル損害

其二我損害

其三押収品

第六、敵ノ兵力、團隊、素質、及敵將帥ノ退却

其一娘子關附近ニテ交戦セシ敵

其二太原平野ニテ交戦セル敵

其三敵將帥ノ退却

第七、其他重要ナル所見

附録 後方關係事項

娘子關附近ノ戰鬪  
太原平地ノ攻略戰  
戰鬪要報（自昭和十二年十月三日  
至昭和十二年十月九日）

第一戰鬪經過ノ概 西女

其戰鬪前ノ一般態勢

一師團ハ十月十日滹沱河ノ渡河戰鬪直後主力ヲ以  
テ十二日石家莊南方高遷村附近ニ進出シテ平漢  
線方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ有力ナル一部ヲ  
右側支隊並ニ太鐵道ニ沿フ道路ヲ太原方向ニ追撃シ  
成ルヘク遠ク該鐵道ヲ確保シ以テ第五師團ノ太  
原攻略ニ策應セントセリ

ニ師團主力ハ十四日高遷村ヨリ更ニ枕頭（石家莊  
西南約一里）附近ニ移動ヲ行ヒ右側支隊ヲ支援ス  
ルト共ニ全般ノ狀況ヲ判斷シ命令一下何時ニモ  
全力ヲ舉ゲテ太原方向ニ作戰シ得ル準備ヲ整

ヘタリ

三右側支隊ハ嶺難ナル山地ヲ突破シ敗敵ヲ撃破シ  
ツツ晝夜兼行追撃ヲ續行シテ十日山西通路  
ノ咽喉部井陘附近ニ進出ス

四河北山西ノ省境太行山脈ハ奥行四五十里ニ亘リ大  
洋ノ波濤ノ如ク峻山連亘シ山西通路ニハ所謂天下三  
關ノ一娘子關ヲ始メ舊關、新關ノ鎖鑰ヲ爲スアリ

山西ハ民國元年以來閻錫山ヲ領袖ト仰キ近時特  
ニ保境安民即 所謂山西モンロー主義ヲ標榜シ  
此天嶺ノ岩山ニ洞窟式國境築城ヲ實施シ其  
骨幹ハ既ニ竣工其員數千個ニ及ヒ省境一帯  
一大要塞地ニ成セリ如フルニ事變又以來十數ヶ師ノ  
龐大ナル兵力ヲ配置シ又假備築城ヲ施シ以テ其  
防備ヲ嚴重ニシツツアリ

基、井陘附近ヨリ陽泉平地迄ノ作戰

一師團ノ戰闘指導ヲ(以下要圖第一參照)

一山西作戰事前ノ準備

師團ハ十月十四日石家莊西南方地區ニ集結後將來有カナル一部又ハ師團全カヲ以テ山西作戰ノ任務ヲ命セラルルアトアルヘキヲ顧慮シ諸般ノ研究準備ヲ爲ストコロアリ

即娘子關附近茲其以西ノ敵陣地極メテ堅固ニシテ地形交通亦嶮難ナル爲編成裝備ニ改變又ヲ加ヘ又補給上特別ノ處置ヲ必要トセリ

仍テ十五日各部隊長ヲ招集シテ各隊ノナスヘキ準備ニ就キ所要ノ指示ヲナシ翌十六日幕僚部會長會報ヲ開キ師團現下ノ作戰準備並山西作戰ニ就キ具體的研究ヲナセリ

次テ十六日ヨリ十九日ニ至ル間諸準備ヲ整フル  
ト共ニ參謀ヲ右側支隊ニ派遣シテ所要ノ偵察  
ヲナサシメタリ

次テ十九日師團全カヲ以テ陽泉平地ヲ攻略スヘ  
キ軍命令ニ接スルヤ豫テ準備スルトコロニ依リ  
直ニ諸準備ヲ完成シ又右縱隊長ヲシテ師  
團命令ニ基ク行動腹案ヲ求メ連絡ヲ密ニシ  
茲ニ必勝ノ信念ニ滿チ勇躍前進ヲ開始セリ

只石家莊西側地區ニ在リシ師團ハ右側支隊カ十月  
十二日朝井陘附近ノ敵ヲ六百ヲ撃破シ進路兩側  
高地一帯ノ殘敵ニハ一部ヲ當テ主力ハ穿貫的ニ  
突ク敵中ニ突入シ十三日其主力ハ舊關附近ニ一  
部ハ地都附近ニ進出シ優勢カナル敵ト激戰中  
ナル報告ニ接スルヤ十四日夜直ニ步七八第三大隊

迫撃第三大隊本部及一中隊が山砲二中隊ヲ又十六日輕裝甲車中隊、衛生隊本部及三分一班防疫給水班ノ一部ヲ増加配屬シ以テ戰闘ノ進捗ヲ企圖セシム

次テ軍命令ニ基キ師團ハ右側支隊ヲシテ積極的ニ第五師團ノ太原攻略ニ策應スル目的ヲ以テ當面ノ敵ヲ數千破シ先ツ速ニ陽泉平地ニ向ヒ進出セシムルニ決シ步兵第七十八聯隊主力、野砲兵第四大隊、獨立山砲兵第一聯隊本部及二中隊、迫撃一中隊、工兵一中隊（一小隊々）通信隊ノ一部並輜重兵一中隊ヲ十七日出發同支隊ニ増加配屬スルハ十九日ニ至リ師團ハ軍命令ニ基キ全カヲ以テ先ツ娘子關附近長城線ノ敵ヲ撃滅シ一舉陽泉平地ヲ攻略スルニ決ス之ヲ爲山地戰ノ特性、敵ノ

素所見、慣用戦法、敵陣地ノ設備地其配備等ニ鑑  
 ミ正太鐵道方面ニ於テハ努メテ敵ノ右翼ヲ包圍  
 セシメ新ニ派遣スル右縦隊ハ現在敵ノ防備完カ  
 ラサルニ乘レ遠ク七亘村方面ヨリ一舉敵ノ右側  
 背ニ迂回シテ其退路ヲ遮斷シ以テ徹底殲  
 翼包圍ニ依リテ之ヲ殲滅センフトヲ期シ二十日  
 右側支隊ヲ以テ右縦隊39LB 1LPW 26A(42) II(40) 35A 18A(1) 4(4) 2CP 10 DT4(1) 2(1)  
 約一トシ三トシテ井陘一新關一石門口道方面ニ  
 其以北ノ敵ヲ攻撃セシメ又右縦隊40LB 180(40) 西MG (42) 4 5GW 2CP 10  
DT4(1) 2(1) DT4(1) 2(1) DT4(1) 2(1) DT4(1) 2(1) DT4(1) 2(1)  
 村ノ線ヲ出發シ石家莊一獲電一微水鎮一北秀村  
 一南障城一測漢鎮一石門口道ニ沿フ地區ヲ  
 當面ノ敵ヲ撃破シツ右縦隊正面ノ敵ノ北月後ニ  
 進出シ同縦隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムヘキ部署ヲ

爲シ師團司令部ハ二十一日井陘ニ前進ス

ニ爾後右縱隊ハ舊右側支隊兩側ノ敵ヲ排撃スル  
爲引續キ莊頭西南方高地及校枕園西北方  
高地ノ敵ヲ攻撃シテ逐次敵陣地ヲ攻略シ十  
二日豫備隊タル歩兵第八聯隊ニ命シ歩兵一中  
隊ヲ以テ長生口、校枕園間ノ諸部落ニ配置シテ  
舊關、井陘道ノ交通ヲ掩護シ又約一大隊(五個)  
ヲ以テ右縱隊ト連繫シ輕榴大隊協カノ下ニ  
長生口東南方高地ヨリ校枕園南方高地一帯  
ニ亙ル敵ヲ攻撃シ二十四日激戰ノ後校枕園東  
南方一六六高地ヲ奪取シ此間右縱隊主力ハ  
逐次其正面ノ敵ノ右翼ヲ包圍シツツ長城線ニ  
近迫セリ

ホ右縱隊ハ十月二十一日石家莊附近出發以來地形

嶮峻ニシテ補給亦極メテ困難ナリシニモ拘ラス  
有テ艱苦ヲ克服シテ銳意前進ヲ繼續シ途  
中屢々敵ヲ奇襲シテ之ニ多大ノ損害ヲ與ヘツ  
勇躍敵ノ退路遮斷ノ任務ニ邁進セリ

特ニ二十六日午後木曾及松溝村附近ニ於テハ  
約ニ師ノ敵ヲ撃滅シテ之ニ甚大ノ損害(遺棄  
死體三千ヲ下ラス)ヲ與ヘ全ク娘子關附近敵主力  
ノ背後ニ進出シ右縦隊ノ行動ト相俟テ師團ノ企  
圖スル大包圍戰ノ成果ヲ完フセリ

師團ハ本戰闘間無線ヲ以テ適時其戰闘ヲ指  
導シ右縦隊亦克ク師團ノ企圖ニ邁進シ機宜  
ニ適スル行動ヲナセリ

ヘ師團司令部ハ二十六日井陘西方高地ニテ戰闘ヲ  
指導シ午後二時井陘出發戰闘司令所ヲ校枕園

ニ推進ス

ト二十一日朝來娘子關方面ニ於テハ全線攻撃ヲ開始シ特ニ敵陣地ノ右翼ヲ包圍シテ一撃ニ之ヲ攻略シ爾後機ヲ失セズ鐵道線路及其以北ノ地區ヨリ敵ノ退路ヲ遮斷スル如ク追撃シ舊關方面ニ於テハ二十七日天明後絶大ノ努力ヲ以テ陣地ヲ占領セル砲兵主力(26A+E)ノ震駭的制壓射撃ノ下ニ全線攻撃ヲ開始シ長城線敵陣地ヲ攻略スルヤ第一線ハ直ニ追撃ニ移レリ

六 是ヨリ先ツ師團ハ兩縱隊ノ包圍攻撃ヲ順調ニ進捗シ特ニ右縱隊ハ破竹ノ勢ヲ以テ敵ノ北月後ニ殺到シツツアリテ敵主力ヲ戰場附近ニ於テ捕捉スルノ好機ニ乘レ戰場附近ノ包圍的追撃ヲ命スルト共ニ爾後一撃太原平地ニ向ヒ急追スル

ニ決シ二十六日午後七時之ニ關スル命令ヲ下達  
 ス即右縱隊ノ右追撃隊トナリ概ネ鐵道以  
 北ノ地區ヲ先ツ陽泉平地ニ向ヒ敵ヲ急追シ特ニ  
 一部ヲ以テ新關方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷セシメ又  
 歩兵第七十七聯隊主力及迫撃隊第三大隊主力ハ  
 柏井驛ニ向ヒ敵ヲ急追シタル後同地附近ニ兵  
 カヲ集結シテ師團本隊第三梯團トナリ第一  
 梯團ノ後方ヲ平定ニ向ヒ前進セシメ右縱隊  
 ハ右追撃隊トナリ本夜引續キ主力ヲ以テ柏  
 井驛方面ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮斷シ爾後追  
 撃ニ方リテ先ツ主力ヲ以テ平定ニ向ヒ一部ヲ  
 以テ張庄鎮附近ニ向ヒ敵ヲ急追セシム  
 又騎兵隊ヲ以テ鐵道ニ沿フ地區ヲ陽泉ニ向ヒ  
 敵ヲ急追シ特ニ陽泉、松塔鎮及馬坊鎮ニ方向

ノ敵ヲ搜索セシメ細川砲兵隊主カヲシテ第一線ノ  
 新關附近突破後師團本隊第三梯團トナリ  
 平定ニ向ヒ前進セシメ高橋砲兵隊ヲシテ師團  
 本隊第四梯團トナリ逐次平定ニ向ヒ追及セシ  
 メ工兵隊ヲシテ主カヲ以テ屯追撃隊ノ進路ヲ  
 補修シ一部ヲ以テ細川砲兵隊ノ前進ヲ掩護セ  
 シム

ス斯クテ右追撃隊ハ極力敵ヲ急追シ二十七日夕  
 刻頃其一部ヲ以テ巨城鎮西北方高地ノ敵ヲ  
 主カヲ以テ上般石村西方高地ノ敵ヲ撃破シ屯  
 追撃隊ハ二十六日ノ殲滅戰ニ引續キ二十七日夕  
 主カヲ以テ小橋堡附近ニ進出シ石門口南方地區  
 ノ敵ニ對シ夜間攻撃ヲ續行シテ之ヲ撃滅セリ  
 ※茲ニ於テ師團ハ軍命令ニ基キ陽泉平地ヲ攻略

セハ所要ノ彈藥、糧秣ヲ補給シ爾後直ニ太  
原平地ニ向ヒ追撃ヲ續行スルニ決シ二十八日午  
前八時柏井驛ニ於テ之ニ關スル命令ヲ下達ス  
即ち追撃隊ヲシテ追撃ヲ進捗ニ伴ヒ主ク陽  
泉附近ニ集結シテ爾後ノ追撃ヲ準備シ特ニ步  
兵一大隊ヲ基幹トスル部隊ヲ即時チ興鎮附  
近ニ向ヒ追撃ヤシメ右追撃隊ヲシテ主ク平定  
附近ニ集結シ爾後ノ追撃ヲ準備シ特ニ步兵約  
一大隊ヲ基幹トスル部隊ヲシテ機ヲ失セス馬  
道嶺ニ向ヒ追撃シ同地ヲ確保セシム

右追撃隊ハ二十八日午後以來上庄西側高地ヨ  
リ西郊村南側高地ニ至リ陣地ヲ占領セル約一  
師半ノ敵ヲ攻撃中ナリシヲ以テ師團ハ之ニ步兵  
第八聯隊主クヲ増カシテ其攻撃ヲ促進シ二十

九日早朝舊關以西長距離ノ難路ヲ踏破追  
及セル細川砲兵隊ノ主カヲシテ緊密ニ其攻撃  
ニ協カセシム更ニ同日午後平定南方地区ヲ西  
方ニ退却中ナル敵ノ大縱隊ヲ猛射シテ殲滅的  
打撃ヲ與ヘシメタリ

同日午後二時三十分頃斯ル追撃隊ハ敵ヲ  
撃破シツツ平定ニ入城ス

本此間右追撃隊ハ二十八日午後ヨリ亂柳村附近  
ノ有カナル敵ヲ攻撃シ次ニ二十九日午後以來楊  
家庄南側高地ヨリ白羊野ニ至ル間ノ敵ヲ攻撃  
中ナルヲ知リ師團ハ二十九日夕方追撃隊ニ對シ  
平定附近ニ其主力ヲ集結スルト共ニ有カナ  
ル一部ヲ陽泉方面ニ派遣シ右追撃隊正面ノ  
敵ノ退路ヲ遮斷シ併セテ敵ヲシテ陽泉附近

既設陣地ニ據ラシメサル如ク行動セシム  
然ルニ右追撃隊方面ニアリテハ爾後ノ追撃一太ニ  
進捗シ三十日午前十時頃既ニ陽泉ヲ占領セシ  
ヲ以テ右追撃隊ヨリ陽泉方面ニ向ヒ追撃手セ  
シ部隊ハ進中ヨリ平定ニ歸還セリ

又師團司令部ハ二十八日石門ロニ、二十九日午前  
西郊村ニ、同夕東溝村ニ進出シ適時師團全  
般ノ戦闘ヲ指導シ三十日平定ニ入城ス

又此日畏クモ侍從武官四手井大佐ヲ平定ニ差遣セ  
シレ優渥ナル 聖旨及令旨ヲ傳達セシレ團  
下ノ將兵齊シク恐懼感激激措クトコロヲ知ラス  
益々奮勵努力以テ 聖旨ニ副ヒ奉ランフトヲ期セリ  
且同武官ハ戰場ノ景況ヲ親シク毎旦視セ  
シレタリ

二右側支隊(右縱隊)、井陘、旧關、及娘子關附近、戰

闘

1. 井陘附近、戰闘(自十月十三日)

右側支隊

(391B (-782))

1/1000

1/1000

K-1000

IBAS

20P

35

八濤陀河

渡河後敵ヲ南方ニ急追シ

十月十一日

夜其左

追撃隊

(鯉登大佐、指揮スル

274(I)

1/1000

BA-P

ヲ

以テ井陘東側地區ニ其他ヲ以テ鳳山(井陘

北方約四料)附近ニ進出シ井陘及其附近、敵

情地形ヲ偵察シ攻撃ノ準備ヲ爲シツツア

リシカ十二日午前六時稍前ヨリ攻撃ヲ開始

シ午前六時半頃井陘城ノ敵ヲ同七時半頃

南井溝(井陘北方一料半)西方高地ノ敵ヲ

撃破シ之ヲ占領セリ

支隊長ハ午前九時三十分左追撃隊(騎兵

八)

一小ヲ増加ス)ヲシテ井陘―田關道ヲ太原方  
 向ニ右追撃隊(羽鳥中佐ノ指揮スル<sup>北城</sup>BA  
 一小隊)ヲシテ正太鐵道ニ沿ヒ太原方向ニ追  
 撃セシム

右命令ニ基キ左追撃隊ハ田關ニ向ヒ追撃  
 シ途中井陘東南方高地ヲ占領シテ頑強  
 ニ抵抗スル敵ヲ山砲ノ密接ナル協カノ下ニ力  
 攻シ午後四時三十分頃遂ニ之ヲ撃滅シ引續  
 キ追撃ニ移レリ右追撃隊ハ井陘西南側高  
 地ノ敵陣地ニ對シ明十三日拂曉攻撃ノ爲  
 準備ヲ進メツツアリシカ敵陣地堅固(未だ成  
 ナルモ多數ノ「トーチカ」陣地ヲ有ス)ニシテ晝間  
 攻撃困難ナリシヲ以テ十三日薄暮ヲ利用シ  
 攻撃スルニ決シ午後六時頃ヨリ攻撃ヲ開

始ス

我山砲、追撃手砲等ノ有效適切ナル協カノ下ニ發煙筒ヲ巧ニ使用シツツ漸次肉迫シ午後七時頃ヨリ同九時半頃ニ至ル間ニ於テ雪花山寺ノ高地及其南方ニツノ高地ヲ奪取セリ敵ハ同日夜半南關方面ニ逆襲シ來リシモ之ヲ撃退セリ

口 旧關附近ノ戰鬪（至十月十三日）

左追撃隊（鯉登大佐步セセノ主カ）ハ十月十三日午前六時長生ロヲ出發シ途中兩側高地ノ既設陣地ニ據ル敵ノ抵抗ヲ排除シツツ一意追撃ヲ敢行シ午前十一時旧關ニ達シ同地ニ休憩中ノ大部隊ヲ奇襲シ之ニ甚大ナル打撃ヲ與ヘ同地ヲ占領セリ

然レ共旧關四周一帶、高地ニハ依然優勢ナル敵アリテ彼我對峙、儘日没トナル

是ヨリ先午後三時半頃左追撃隊長ハ右追撃隊正面ノ敵ノ背後ヲ衝キ其退路ヲ遮斷スル目的ヲ以テ<sup>山砲一小隊ヲ附シ之</sup>ヲ地都(旧關北方約四料)方向ニ派遣セリ

十四日左追撃隊ハ前面ノ敵ヲ撃破シテ新關ニ向ハントセシモ四周ノ敵ハ漸次活氣ヲ呈シ其兵力亦増加シツツアリシヲ以テ左追撃隊長ハ先ツ四周ノ要點ヲ確保シ爾後ノ攻撃ノ據點タラシムルヲ有利ナリト判斷シ第二大隊ノ主力ヲ以テ旧關南方高地一帯ノ敵ヲ攻撃シ激戰ノ後之ヲ占領セリ

支隊長ハ午後二時旧關及地都ノ方面共ニ

激戰中ナル狀況ヲ知リ午後六時<sup>エ</sup>然<sup>ノ</sup>ニ中  
隊ヲ旧關へ増派セリ

十五日旧關一帶、敵ハ益々増加シ其勢侮ルヘ  
カラサルモアリ殊ニ晝夜ノ別ナク亂射スル  
敵、迫撃砲彈ハ旧關城内ニ集中ス

左追撃隊長ハ新ニ増加セラレタル第一第  
十二中隊及獨立機關銃中隊ヲ以テ旧關北  
側高地ノ敵ヲ攻撃シ之ヲ占領スルニ及ヒ初  
メテ地都方面、第三大隊ト連絡スルコトヲ  
得タリ

支隊長ハ旧關救援ノ爲殘余ノ兵カヲ率ヒ  
十五日午前十一時井陘出發先ツ校桃園ニ到  
ル

十六日左追撃隊ハ第八中隊ヲ以テ山砲ノ協力  
一

下ニ旧關西側三角山ヲ攻撃シ激戦、後之ヲ  
占領セリ而シテ當時井陘ヨリ來著セル第一  
大隊主カハ校桃園西北側高地ノ敵ヲ攻撃  
シテ之ヲ奪取シ始メテ支隊司令部ト連絡ス  
ルヲ得タリ

同夜旧關四周ヨリ執拗ナル敵ノ逆襲ヲ受ケ  
タルモ悉ク之ヲ撃退シ十七日又復晝夜數次  
ニ亘リ反覆セル敵ノ逆襲ヲ受ケタルモ是亦我  
將兵ノ奮戦ニ依リ何レモ撃退セリ

支隊長ハ直轄部隊ヲ以テ井陘西側ノ敵ヲ驅  
逐シ鐵道線路ニ沿フ地區ヲ領有スルヲ緊要  
トナシ十七日午後三時校桃園出發井陘ニ歸  
還セリ

旧關西側万壽山ハ旧關ヲ瞰制スル高地ニシ

テ將來攻撃ノ據點トシテ得ニ有利ナル地點  
ナルヲ以テ左追撃隊長ハ十八日第五中隊（二  
小欠）ヲシテ攻撃セシメ激戰ノ後之ヲ占領セリ  
第一大隊ハ逐次校挑園附近道路兩側高地  
ノ敵ヲ撃滅シ後方トノ交通路ヲ安全ナラシ  
メメリ

爾後左追撃隊ハ十月二十六日ニ至ル間連日  
連夜優勢ナル敵ト交戦シ且執拗ナル逆襲  
ヲ撃破シ如フルニ折柄ノ寒氣ニ對シ夏服ヲ以  
テ耐ヘ且給養ノ極メテ粗惡ヲ忍ヒ毅然トシ  
テ難局ヲ打開シ師團爾後ノ攻撃ノ爲確  
乎タル地歩ヲ獲得セリ

是ヨリ先右側支隊ハ十月二十日師團命令ニ  
依リ右縱隊（391B / ~~17MA9~~  
LPWS（一中）  
264A（一、二）  
35A（一中）  
184S（一中）  
26P（一中）  
K（十騎）

（イ）トナリ井陘―新關―石門口道方面及其以北ノ敵ヲ攻撃スルコトナレリ

ハ 地頭附近ノ戦闘（自十月十三日  
至十月十五日）

井陘西側地區ニ於テ攻撃中ノ羽鳥大隊（ $\frac{1}{2}$ 大隊）正面ノ敵ノ退路ヲ遮斷スヘク十月十三日午後旧關ヨリ地頭方面ニ派遣セラレタル歩セセノ第三大隊（一中ヲ欠キバ一少ヲ附ス）ハ十三日夜地頭南方高地ノ敵陣地ヲ夜襲シテ之ヲ占領シ翌十四日拂曉更ニ地頭西南側城壁ヲ突破シ鐵道線路ニ迫出シテ之ヲ遮斷セリ然ルニ極メテ優勢ナル敵ハ四辺ノ高地ヨリ我ニ對シ積極的行動ニ出テ大隊長以下奮戦力闘大イニ努メタルモ時間ノ經過ト共ニ死傷續出スルノ狀況ナリシヲ以テ大隊長ハ地形ノ不利ヨリ

脱却スルノ必要ヲ認メ主力ヲ指揮シ一方面敵ヲ突破シテ十五日午後一時頃旧關ニ歸還セリ

ニ井陘西側高地ヨリ省境迄ノ戦闘(自十月十九日)

(至十月二十三日)

右側支隊長ハ十月十八日歩兵第七十八聯隊長ノ指揮スル部隊(281(=442) 276(=442) 1845(=11) 574(=11))ヲ以テ鐵道線路北側地區敵ヲ攻撃シテ娘子關方面ニ前進シ併セテ鯉登部隊右翼方向ニアル敵ヲ攻撃スヘキヲ命シ次テ輕装甲車中隊ヲ其指揮ニ入レ又~~281~~ノ一中隊ハ之ヲ旧關方面ニ前進セシメ歩兵第七十七聯隊長ノ指揮ヲ受ケシメ其他ノ主力ハ十九日井陘西方高地ノ攻撃ニ協力スヘク命セリ

步七ハ十八日十九日午前三時ヨリ行動ヲ開始

始シ午前五時三十分迄ニ主カヲ以テ正太線以北  
 ノ地區ニ一部ヲ以テ同以南ノ地區ニ攻撃ヲ準備  
 シ午前五時三十分砲飛、緊密ナル協力ノ下  
 ニ攻撃ヲ前進ヲ開始シ其右第一線ハ午前八時  
 三十分先ツ蔡莊北方高地一帯ノ敵ヲ撃破シ  
 續テ莊頭東北方高地ニ對シ攻撃ヲ續行シ  
 左第一線ハ午後一時三十分郝象台西南側高  
 地ヲ占領シ次テ其西南方高地ノ敵ヲ攻撃ス  
 斯ヲシテ同日夜第一線ヲ以テ概ネ全駐嶺  
 南北ノ線ニ進出セリ而シテ同夜新高山（井陘  
 西北方八料ノ高峰ニシテ攻撃部隊之ヲ新高山  
 ト稱セリ）ノ敵ニ對シテハ屢次夜襲ヲ敢行セ  
 ルモ敵ノ抵抗頑強ニシテ之ヲ奪取スルニ至ラズ  
 シテ翌拂曉トナル

二十日天明ト共ニ再ヒ砲飛ノ協力ノ下ニ一意力  
 攻シ攻撃部隊ノ創意ニ基ク奇襲戦法效ラ  
 奏シ夜半頃遂ニ新高山一帯ヲ占領シ左第一  
 線タル第一大隊モ亦午後七時稍々前大龍窩  
 北方高地ヲ完全ニ占領セリ

歩セハハニ十一日右縦隊命令ニ基キ線路以北  
 ノ地區ヨリ敵ヲ攻撃スル爲第一大隊ヲ莊頭ニ  
 轉進セシメ又第三大隊ヲシテ北峪西方稜線ヲ  
 奪取セシメ莊頭西方高地ノ敵ニ對スル明拂  
 曉攻撃ヲ準備セシム

二十二日午前六時攻撃ヲ開始シ砲飛ノ效果ヲ  
 利用シツツ逐次敵ヲ撃破シ午前十時乃至正午  
 ノ間ニ省境線ノ山頂ヲ占領セリ

二十三日朝來攻撃ヲ續行シ張家峪西北方高

地及標高七六三高地ヲ奪取シ爾後現陣地ヲ確保シテ部隊ヲ整頓シ次ノ攻撃ヲ準備スルコトトセリ

是ヨリ先十月十九日鯉登大佐ハ旧關方面ノ狀況急迫セルニ鑑ミ<sup>北ノ中</sup>GW一中<sup>1BAS(中)</sup>ヲ獨五山砲兵第一聯隊長貴島中佐ヲシテ指揮セシメ校桃園北方高地ヲ攻撃中ノ<sup>中ノ</sup>右翼ニ連繫シ該高地ノ敵ヲ攻撃セシム

該隊ハ十月二十日午前十時三十分ヨリ攻撃ヲ開始セシモ戰況ノ進展意ノ如クナラス二十日再ヒ攻撃ヲ續行シ勇戰ノ結果敵ヲ正太線方向ニ驅逐シ午後八時稍過校桃園北方高地ヲ完全ニ占領シ<sup>中ノ</sup>ト連絡スルコトヲ得タリ

ホ 娘子關附近ノ戰鬪（自十月二十四日  
至十月二十六日）

二十四日古縱隊長ハ師團ノ企圖ニ基キ且當  
面ノ敵陣地迄兩第一線ノ關係位置ニ鑑ミ當  
面ノ敵ノ左翼ヲ包圍席卷スル如ク企圖シ其右  
第一線ハ二十六日左第一線ハ二十七日ヨリ攻撃  
ヲ開始スルコトセリ

古第一線（ $28\frac{1}{2}$ ノ主カ $10\frac{2}{3}A$ ヲ基幹トス）ハ右ノ企圖  
ニ基キ二十六日午前二時ヨリ行動ヲ開始シ午  
前五時迄ニ敵ノ左翼ヲ包圍シ得ル如ク尖  
草茂王家場ノ線（省境西側谷地）ニ展開シ  
午前六時三十分砲兵ノ猛烈ナル射撃開始ト  
共ニ攻撃手前進ヲ開始シ砲兵ノ密接ナル協力ノ  
下ニ頑強ナル敵ヲ其左側背ヨリ包圍攻撃シ  
正午頃娘子關北方高地一帯ヲ占領シ午後一

時過娘子關ニ進出シ次テ右縦隊命令ニ基  
 キ第一大隊(2BAS P-1)ヲ附スヲ右側支隊トナシ更ニ  
 敵ノ左側背ヨリ其退路ヲ遮斷スル目的ヲ以テ  
 巨城鎮、下白泉ヲ經テ陽泉北方地區ニ追撃手  
 セシヌ主力ハ娘子關ニ集結ノ後午後四時正  
 太線ニ沿フ地區ヲ陽泉ニ向ヒ追撃手ヲ開始セリ  
 是ヨリ先右縦隊長ハ娘子關方面ノ敵退却ノ  
 徴アリ、巨關方面ノ戰況亦稍、靜穩ナリシヲ以テ  
 午後一時ニ十分機ヲ失セス主力ヲ以テ鐵道線路  
 ニ沿フ地區ヲ一部ヲ以テ巨城鎮、下白泉道ヲ方  
 面ヨリ陽泉ニ向ヒ敵ヲ追撃手スルニ決シ之ニ關ス  
 ル命令ヲ下達セリ 同夜右縦隊ハ右追撃手隊ト  
 ナリ師團當面ノ敵ヲ柏井驛北方地區ニ於テ捕  
 捉殲滅スル如ク鐵道以北ノ地區ヲ先ツ陽泉ニ

向ヒ敵ヲ急追スヘキ師團命令ヲ受領セリ  
 三歩兵第八十聯隊第一大隊ノ校桃園南側高地ノ  
 戦闘

師團ハ井陘―旧關道ノ交通線確保ノ爲師團  
 豫備隊中ノ *E 801* ヲシテ二十三日午後校桃園南側一  
 帶ノ敵ヲ掃蕩セシム

然ルニ敵ハ意外ニ抵抗頑強ニシテ二十四日拂曉後  
 飛行機ノ爆撃ヲ十榴大隊ノ適切ナル協力ノ下ニ  
 攻撃ヲ續行シ午後五時四十五分標高一〇六六高地  
 ヲ完全ニ占領シ茲ニ井陘―旧關道ノ交通ハ全ク  
 安全トナレリ

四、左縱隊ノ東回鎮、松溝村附近ノ迂回戦闘  
 一、東石門村附近ノ戦闘（十月二十三日）

## 左縦隊

401B  
 {801(-四)}  
 Ⅲ(-中)MGS  
 大/IBAS  
 中/IGW  
 P(-小)  
 傳騎10  
 DT(-中)  
 DTL  
 1/3 S  
 2FL  
 Ⅴ(-部)  
 DT(要二中)  
 兵站驛重  
 (要一中)

ハ十月

二十一日石家莊西方地區ヲ出發シ獲鹿縣、微水鎮ヲ經テ前進シ同夜ハ南橫口附近ニ宿營二十日歩セ九ノ主カヲ前衛トシ桃松溪——水河谷道ヲ前進シ同夜セ獅園以東、地區ニ宿營、二十三日歩兵第七十九聯隊第二大隊、主カヲ以テ南障城出發固蘭村白灰村方向ヨリ左縦隊主カノ作戰ヲ容易ナラシムル如ク行動セシメ左縦隊主カハ前兵ノ先頭ヲ以テ午前八時柿庄南端ヲ出發シ嶮峻ナル難路ヲ踏破シ一意前進中午後一時三十分前兵ノ先頭ヲ以テ測魚鎮東北方高地ニ達セシ時 倂々西方ニ銃砲聲ヲ聞キ先遣セシ中隊ノ排水嶺南北ノ高地線ニ在リテ同地

西方荒坡岩南方高地線ニ據レル約一營ノ敵ト  
 交戦中ナルヲ知り前衛司令官タル歩兵第七十  
 九聯隊長ハ直ニ前衛ヲシテ此敵ヲ攻撃セシム  
 當面、敵、其兵力約七八百ニシテ峻峻ナル山頂  
 ニ據リテ頑強ニ抵抗シ我攻撃ヲ進捗意ノ如クナ  
 ラサリシモ奮戦、結果漸次敵ニ迫リテ第一線  
 部隊ハ果敢ナル突撃ヲ敢行シ遂ニ敵ヲ撃退シテ  
 東石門北方及南方高地一帯ヲ占領シ午後九時頃  
 東石門村以東ニ兵力ヲ集結ス

日七亘村附近ノ戦鬪（十月二十四日）

二十三日夜一部、兵力ヲ七亘村附近ニ派遣シテ敵  
 情地形ヲ搜索セシメ主力ハ二十四日午前七時前衛  
 ヲ以テ東石門村ヲ出發シ前進中午前九時七亘村  
 附近ニ於テ兵力未詳ノ敵セ亘村西側高地一帯、後

線ニ陣地ヲ占領シアルヲ知リ前衛司令官ハ其山  
砲兵中隊ヲシテ七豆村東側ニ陣地ヲ占領セシム  
千前九時三十分第一線各隊ハ一齊ニ攻撃ヲ開始シ  
漸次敵陣ニ迫ス敵ハ頑強ニ抵抗セシモ我歩砲大  
持ニ山砲ニ威力發揚セラルルニ及ビ多數ノ屍體ヲ  
遺棄シテ西方及南方ニ潰走セリ

別ニ昨二十三日東石門村東方地區ヨリ南方ニ迂回  
セシ歩七九ノ第十中隊ハ本二十四日午前一時七豆村  
ニ宿營シアリシ約一大隊ノ敵ニ對シ不意ヲ襲キ  
敵ハ周章狼狽殲滅的打撃ヲ受ケ殘敵ハ多數ノ  
屍體及武器彈藥等ヲ遺棄シテ東北方ニ潰走  
セリ

ハ本曾附近ノ戰鬪(十月二十五日)  
引續キ急追撃ヲ敢行シ二十四日夕前衛ハ馬山村

附近ニ進出シ狼窩北方標高一二四七高地ヨリ尖長  
 嶺ヲ經テ水峪ニ至ル間ヲ占領シ攻撃準備中二十  
 五日朝ニ至リ敵ノ主力ハ胡家莊以南ニ在ルヲ知リ直  
 ニ此敵ヲ攻撃スルニ決シ前兵ヲシテ馬山村——西回村  
 道ニ沿フ地區ヲ西回村附近ニ向ヒ第一大隊ヲシテ一  
 部ヲ以テ狼窩方向ヨリ主力ヲ以テ木曾方向ヨリ胡  
 家莊附近ノ敵ヲ攻撃シテ同地西側高地ニ向ヒ進出  
 セシム午前十一時三十分木曾東南方高地ニ達セシ時  
 木曾南側高地、東回鎮西南及北方高地線一帯ニ  
 互リ約一師ノ敵數線ニ陣地ヲ占領シアルヲ知リ直ニ主  
 カヲ以テ胡家莊方向ヨリ其西方高地ニ向ヒ攻撃す前  
 進スルニ決ス右縱隊長ハ馬ヲ馳セテ前衛司令官ノ  
 位置ニ急行シ同官ノ決心ヲ是認シ歩兵ニ中隊ヲ  
 其隸下ニ復歸セシムルト共ニ山砲<sup>兵</sup>大隊ヲ配屬ス

茲ニ於テ前衛司令官ハ第三大隊ヲシテ左第一線ト  
 爲シ本道以南ノ敵ニ對シ又第一大隊ヲシテ右第  
 一線トシ其主カヲ以テ胡象掌方向ヨリ其西側高地  
 ニ向ヒ攻撃ヲ前進セシメ山砲兵大隊ノ主カヲ以テ右  
 第一線ノ攻撃ヲニ協力セシム左第一線方面ノ敵ハ頗  
 ル頑強ニシテ稜線ヲ隔ツル至近距離ニ於テテ榴彈  
 戰ヲ演シ遂ニ石合戰ヲ交ヘ更ニ青龍カヲ振リ  
 翳シテ逆襲シ來リ茲ニ壯烈ナル白兵戰ヲ演スル  
 等戰鬪猛烈ヲ極メシモ我將兵ノ勇戰ニ依リ遂  
 ニ數倍ノ勁敵ヲ殆ント塵殺シテ其第一線ヲ奪ヒ  
 更ニ後方陣地ニ殺到シ右第一線又東同鎮北側高  
 地ノ敵ヲ擊破シ同日夕ニ及ヒ遂ニ西同村東方一帯  
 ノ高地及稜線ヲ占領シ前衛ノ主カハ青石板附  
 近ニ旅團司令部ハ小川附近ニ於テ夜ヲ徹ス

ニ固蘭附近ノ戦闘（自十月二十三日  
至十月二十五日）

山根大隊（~~25th~~ 79th）ハ十月二十三日午後四時頃菜菜

欄（固欄東北方四料）附近ニ達シ小岡馬ヨリ牛助

嶺ニ互リ敵兵陸地ヲ占領シアルヲ目撃ス我ハ攻撃

據點占領ノ爲夜間二回ニ互リ夜襲ヲ行ヒ頑強

ニ抵抗スル敵ニ對シ接戦格闘、後奪取シ翌二十

四日敵陸地ノ偵察ヲ行ヒ同夕刻ヨリ行動ヲ起シ

概ネ午前四時頃迄ニ攻撃準備ヲ完了シテ二十五

日拂曉攻撃ヲ行フ敵ハ我猛烈ナル攻撃ニ依リ遂

ニ潰走シ固欄方向ニ退却セリ

本松溝村附近ノ戦闘（十月二十六日）

左縦隊ハ二十五日木曾附近ニ於テ約一師ヲ敵ヲ撃破

シ同夜歩セ九 ~~79th~~ BAS(x) MAX(x) P(1-2) ハ松溝村東側高地ヨリ東

回鎮附近ニ豫備隊 ~~25th~~ 80th 一部 ハ小川附近ニ在リテ

爾後ノ攻撃ヲ準備シツアリ

同夜至迄ニ歩セ九聯隊長ハ右縱隊方面ニ於テハ依然抵抗ヲ持續スル敵ニ對シ新關方面ニ於テ二十六日又鐵道<sup>記</sup>方面ニ於テ又ニ十七日ヲ期シ總攻撃ヲ實施スルコト敵軍司令部ハ柏木井ニアルコト迄第一大隊正面ノ敵ハ松溝村及其西方高地ニ敗退セルコトヲ知り聯隊ハ二十六日主力ヲ以テ柏木井方向ニ前進シ敵ノ退路ヲ遮斷スル爲拂曉迄ニ松溝村東西ノ線ニ北面シテ攻撃ヲ準備スルニ決シ同日午前二時命令ヲ下達シ第一大隊ヲシテ先ツ松溝村及其西方高地ヲ夜襲セシメ拂曉迄ニ其北端ノ線ニ攻撃ヲ準備セシム

第一大隊ハ一部ヲ以テ松溝村ノ殘敵ヲ夜襲シ主力ヲ以テ松溝村東側ニ進セントスル頃天明トナル此頃

約一大隊ノ敵ハ松溝村西側ヲ縱隊ニテ西進中ナルヲ知り第三中隊及機關銃中隊ハ東方ヨリ第二中隊ハ西方ヨリ挾撃シテ殆ント之ヲ殲滅セリ

聯隊長ハ午前七時松溝村東側高地ニ達シ戰場全般ヲ觀察スルニ松溝村西北高地ニハ敵兵續々後方ヨリ陸地ニ就キツアリ又柏木井溝高地ニハ敵兵數線ニ陣地ヲ占領シアリテ第一大隊ハ將ニ松溝村北端ノ線ニ攻撃ヲ準備シアルノ狀況ヲ知ル此時恰モ聯隊ハ松溝村西側高地ノ敵ニ對シ一部ヲ以テ掩護セシメ主力ヲ以テ一三六〇高地（松溝村東北方三料）方向ヨリ先ツ一三八七高地（松溝村北方五料）ヲ奪取スヘキ左縱隊命令ヲ受領ス<sup>茲ニ修テ</sup>第八中隊及第十二中隊ヲシテ獨立山砲兵大隊ノ協力ヲ下ニ該高地方向ノ敵ヲ攻撃セシメ第一大隊ハ依然柏木井溝

高地ニ向ヒ攻撃ヲ前進シ第三大隊ヲ近ク招致ス  
 第一大隊ハ一部ヲ以テ松溝村西方高地主カヲ以テ  
 柏木井溝西側高地ノ敵ヲ攻撃セントシ午前十二時展  
 開ヲ完了ス第二中隊ハ松溝村西側ノ敵ヲ撃滅シ  
 タル後其西北方ノ數線陣地ニ就ケル敵ニ對シ重火  
 器協力ノ下ニ右側方面ヨリ逐次敵陣ヲ突破ス主  
 カ方面ニ於テハ大隊重火器其他獨立山砲兵大隊及  
 獨立機關銃大隊協力ノ下ニ逐次敵陣ヲ破碎シ  
 ツツ攻撃ヲ續行セシニ敵ハ各種火器ヲ以テ十数火  
 ヲ集中シテ頑強ニ抵抗ス之ヲ爲右第一線方面第  
 四中隊ノ如キハ中隊長陣頭ニ立ツテ敵陣ニ突入セン  
 トスルヤ數百ノ敵ハ手榴彈ヲ投擲シ青龍刀ヲ振  
 翳シツツ逆襲ス接戦格闘ノ後中隊長敵陣ニ斃レ  
 ニスノ小隊長及曹長モ亦或ハ斃レ或ハ傷ツキ中隊ハ

一時伍長之ヲ指揮シ遂ニ敵ヲ撃退シテ高地ヲ確保ス  
大隊長亦豫備隊ヲ提ケ屍ヲ越エテ猛進シ遂ニ  
柏木井溝北側高地一帯ヲ占領ス 時ニ午後四時三  
十分ナリ

第三中隊ハ午後五時頃本道ヲ越エテ柏木井西北  
方約ニ料附近一帯ノ高地ヲ占領シ右方ニ於テハ第  
八第十二中隊ハ獨立山砲兵大隊協力ノ下ニ稜線  
傳ヒニ東北進シ逐次所命ノ高地ヲ奪取シ遂ニ白  
岸西方高地(柏木井東北方約四料)ヲ占領シ茲ニ  
新關方面敵ノ退路ヲ全ク遮斷ス

歩ハノ第三大隊及歩セ九ノ第一中隊ハ水嵐北方高  
地ノ敵ヲ撃退シ同地東北方高地ニ進出シ夜ヲ徹ス  
本戦闘ニ於ケル敵ハ第七師及第一二二師ニシテ半  
遭遇戰的ニ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ殲滅的打

ニ。

撃ヲ與ヘ其遺棄屍體ハ滿山遍野其數少クモ  
三千ヲ目撃ス

蓋シ左縱隊ハ險難ナル山地ニ於テ敵ノ抵抗ヲ排除  
シツ數日間ニ亙リ不眠不休大迂回ヲ敢行セル  
努力空シカラス 今ヤ師團右縱隊ト相俟ツテ全ク  
敵ヲ包圍シ之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘ以テ快心ノ成  
果ヲ收ムル事ヲ得タリ

五、右縱隊（右追撃隊）ノ白關及娘子關ヨリ陽泉ヘノ追  
撃戰闘

イ、東塔崖附近ノ戰闘（十月二十七日）

右追撃隊主力ハ十月二十七日午前六時城西村出發追  
撃中午前七時二十分頃東塔崖南方約一軒附近  
ニ於テ大行李ヲ有スル約七百ノ敵ノ大縱隊白關白  
奇溝方面ヨリ鐵道線路ニ沿ヒ退却中ナルヲ知リ側

面ヨリ奇襲シ之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘ潰亂四散  
セシメタリ

口上盤石村附近ノ戦闘(十月二十七日)

右追撃隊ハ東塔崖附近ノ戦闘後引續キ追撃ニ  
移リ途中少數ノ敵ヲ掃蕩シツツ午後二時三十分  
上盤石村東側附近ニ於テ砲ヲ有スル約七百ノ敵同  
村西方高地ヲ占領シアルヲ偵知シ直ニ之ヲ攻奪ス  
鐵道線路以北ノ敵陣地ハ午後五時三十分頃之ヲ  
占領セシモ其以南ノ敵ハ抵抗頑強ニシテ夜半  
漸ク之ヲ撃退セリ

ハ巨城鎮附近ノ戦闘(自十月二十七日)

右側支隊ハ二十七日早朝上重寢寮出發巨城鎮ニ  
向ヒ追撃中午後一時巨城鎮東方ノ約二百ノ敵ヲ  
撃破シ續テ同地西方高地ニ在ル約六百ノ敵ヲ攻

二一

撃ヲ翌二十八日ノ拂曉之ヲ撃滅潰走セシメタリ

二旧關西方地區ノ戰鬪(十月二十七日)

左第一線(ㄨㄣ)ハ十月二十七日天明ト共ニ各種砲兵ノ  
砲撃ヲ開始シ午前八時全線攻撃前進ヲ起ス  
將兵ノ胸ニ鬱積セル敵懐心ハ一時ニ爆發シ忽チ前  
面一帯ノ高地ヲ攻略シ午前九時長城ノ線ヲ突破  
シテ追撃ニ移レリ爾後歩兵一大隊ヲ正太線ヲ方  
面ニ派シ旅團長ノ指揮ニ入ラシメ主カハ一撃柏  
井驛ニ敵ヲ急追セル後師團本隊ト爲レリ

ホ亂柳村附近ノ戰鬪(自十月二十八日  
至十月三十一日)

右追撃隊ハ二十八日午前七時上盤石村附近出發  
追撃前進中午後二時過亂柳村西北方高地附  
近ヲ占領シアル追撃砲機關銃ヲ有スル優勢ナル  
敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ奮戰大イニ努メ其第一

線ヲ占領セルモ敵ノ陣地ハ三線ニ配置セラレ其抵抗頑強ニシテ全陣地ヲ奪取スルニ至ラスシテ夜ニ入ル翌二十九日砲兵協力ノ下ニ攻撃ヲ再興シ逐次敵陣ニ肉薄シ午後七時頃標高一〇四〇高地及標高一〇〇〇高地ノ線ニ進出シテ日没トナル敵ハ夜間執拗ナル逆襲ヲ試ミシモ敢然之ヲ撃破シ翌三十日午前三時頃迄ニ路家山、白羊墅ノ線ニ進出シタルモ拂曉敵兵退却ノ徴アリシヲ以テ午前六時追撃ヲ移リ午前十一時頃下五渡南北ノ線ニ進出シ次テ陽泉ヲ占領セリ

へ水峪村西方高地及駁家庄西方高地ノ戦鬪(自前日午後八時)右側支隊ハ二十八日拂曉巨城鎮西方高地ノ敵ヲ撃退シ午後二時四十分更ニ水峪村西北方高地ノ敵ヲ攻撃シ翌二十九日午後五時頃同高地一帯

二二

ノ敵ヲ撃破シ更ニ殷家庄西方高地下白川東側高地ニ在ル敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ三十日午後一時四十分之ヲ撃破シ午後五時陽泉附近ニ於テ主力ニ復歸セリ

ト王爺高附近ノ戦闘（自十月三十日  
至十一月一日）

右追撃隊長ハ三十日午前十時三十分上五渡ニ於テ敵ヲ辛興鎮以西ニ追撃シタル後該地ニ一部ヲ殘置シ主力ヲ陽泉北方地區ニ集結スルニ決シ夫々命令ヲ下達セリ  
右命令ニ基キ步セ七第二大隊ハ午前十時三十分步セハノ主力ハ正午頃出發辛興鎮ニ向ヒ追撃ニ移レリ

午後二時頃王爺高南北高地線附近ヲ占領シアル約千名ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ逐次敵ヲ壓

迫シ午後七時頃王爺高北方高地線ヲ奪取シタルモ未タ全部ノ敵ヲ撃退スルニ至ラスシテ夜ニハリ翌三十一日拂曉之ヲ撃退セリ

六左縦隊（左追撃隊）ノ平定ニ向フ追撃戦闘  
小柏木井及石門口附近ノ戦闘（十月二十七日）

左縦隊ハ二十六日松溝村附近ノ戦闘後旧關方面ノ敵ノ右側背タル柏井驛附近ニ進出シテ全ク其退路ヲ遮斷シ之ニ甚大ナル打撃ヲ與ヘタリ而シテ當時右縦隊ノ娘子關附近ノ戦闘ハ有利ニ進展シ敵ノ左側背ヲ包圍シツタ其第一線ハ娘子關以西鐵道線路方面ヲ又其一部ハ新關西側地區ニ向ヒ追撃ヲ續行シアルノ状況ナリシヲ知リ先ニ遠ク鐵道線路方面へ派遣ヲ準備セシメシ大隊ハ最早其要ナキニ至リタルヲ以テ二十七日朝之ヲ

追撃隊トシテ速ニ平定ニ向テ追撃セシム

追撃隊ハ午後三時ニ十分不徐占ニ到着シ石門  
口南北ノ線ニ約一團ノ敵カ陣地ヲ占領シアルヲ知  
リ直ニ之ヲ攻撃シ屢々逆襲ヲ行フ頑強ナル敵ニ  
對シ果敢ナル突撃ヲ試ミ遂ニ之ヲ西北方ニ潰走  
セシム更ニ同夜石門口西北迄西南方高地線ノ敵  
ヲ夜襲シ之ヲ占領シ主力ハ小橋堡附近ニ集結  
シ夜ヲ徹ス

ロ、西郊附近ノ戦鬪（十月二十八日）

斯クシテ歩セ九ヲシテ二十八日朝來石門口西北方  
高地ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備セシメ新ニ其隷  
下ニ復セル歩八〇（第三大隊缺）及旧關以西ノ難  
路ヲ突破追及セル配屬野砲兵大隊ヲ併セ指揮  
シ午後一時ヨリ西郊西北方高地ヲ占領セル約一師

團半ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ歩ハ。ヲシテ石門ロー  
 泉頭―東前鎮簣道方面ヨリ平定西南側附近ニ  
 向ヒ攻撃セシム

此附近一帯高地モ亦突秃タル石山ニシテ斷崖  
 削立シ行動頗ル困難ナリシモ砲兵ノ適切ナル協  
 カノ下ニ逐次敵陣地ヲ蠶食シ午後五時西郊西ノ  
 高地一帯ノ敵陣地ヲ奪取シ同夜第一線ハ榆樹  
 園東白岸線ニ在リテ夜ヲ徹ス

ハ東溝村及其西南方地區ノ戰鬪（七月二十九日）

午前九時三十分ヨリ歩セ九ヲ以テ正面ヨリ歩ハ。ノ  
 主ガヲ以テ遠ク西南方ニ迂回セシメ攻撃ヲ前進ヲ開  
 始ス敵又頑強ナル抵抗ヲ試ミシモ我歩砲火ノ威  
 カニ依リ逐次縱深陣地ヲ席卷シテ遂ニ之ヲ西北方  
 及西南ノ方ニ撃退ス

東溝村東南方地區ニ陣地ヲ占領セシ細川砲臺  
隊ノ主力ハ午後三時頃平定南方一里ノ河谷ヲ西方  
ニ退却スル約二千ノ敵縱隊ニ對シ猛火ヲ集中シ甚  
大ナル損害ヲ與ヘタリ

茲ニ於テ更ニ敗敵ヲ急追シテ平定縣ヲ占領シ夕  
刻同地西側及幕里村ノ線ニ進出ス十月三十日左  
追撃隊ハ師團命令ニヨリ主力ヲ以テ平定附近ニ  
集結スルト共ニ右追撃隊方面ノ敵ノ退路ヲ遮  
斷スル爲歩セ九ノ主力ヲシテ陽泉ニ追撃セシム  
該部隊ハ午前八時三十分平定出發途中一部ヲ以テ  
平定西北方高地ニ據ル敵ヲ撃破シ午前十時陽  
泉ヲ占領ス斯クテ左縱隊ハ右縱隊ニ方面ノ敵ノ  
退路ヲ遮斷シ茲ニ全ク陽泉平地ノ攻略ヲ終ル

七、平定附近敵ノ抗戰

十一月二十八日ヨリ二十九日ニ互リ石門ロヨリ平定ニ至ル間敵ハ數線ニ配備シテ頑強ニ抵抗シ左追撃隊ハ逐次急速ニ攻撃シ師團本隊ヨリ歩兵第八十聯隊主力ヲ増加シ且本隊砲兵ヲ参加セシメテ猛攻ヲ加ヘシヲ以テ二十九日夕平定ヲ占領シ三十日平定西南方高地ヲ奪取シ以テ敵ヲ南方昔陽方向及西南方ニ撃退スルヲ得タリ而シテ此等ノ敵ハ其收容隊又ハ後衛陣地ニアラスシテ統制アル陣地ヲ占領シ眞面目ニ我ニ對抗セントセシモノニシテ其兵力約四師團アリシカ如シ(交戦後押收セシ軍長孫連仲ト各師長ト交信セシ多數ノ電報ニ依リ敵ノ企圖、兵力ヲ判斷シ得タリ)又平定附近ト正太線陽泉附近トハ脈絡アル防禦ヲ企圖セシカ如キモ我ニ我兩追撃隊ノ攻撃

急ナリシ爲三十日ニ攻略スルヲ得タリ

其三陽泉平地ヨリ太原平地迄ノ作戰（以下要圖其二三參照）

# 一師團ノ作戰指導

一作戰指導ノ要旨

師團長ハ平定平地攻略迄ニ於ケル敵ノ抵抗較強ニシテ其兵力亦大ナルニ鑑ミ太原ニ至ル途中敵ヲシテ抗戰ノ暇ナカラシメ且第五師團正面ノ敵ニ與フル脅威ヲ大ナラシムル爲ニハ一擧速ニ太原平地ニ進出スルノ要ヲ認メ補給ノ困難ヲ意トセス右追撃隊ヲシテ陽泉ヨリ引續キ又師團主力ハ最少限ノ彈藥携帶口糧ノ補充ニ留メ萬難ヲ排シテ出發セシメ當面ノ敵ヲ撃破スルト共ニ太原附近ノ敵及忻口鎮附近ノ敵ヲ退却スル場合ニ於テモ太原附近ニ統制アル抵抗ヲナシ得サラシムル

爲果敢ナル追撃ヲナスニ決シ左ノ如ク作戰指導  
ヲ津セリ

口右追撃隊(山砲一中隊ヲ缺キ新ニ野砲二中隊輕榴  
一中隊ヲ屬ス)ハ十月三十一日辛興鎮附近ニ在リシ  
四五百ノ敵ヲ撃破シテ測石驛北方高地ニ進出セ  
リ而シテ同追撃隊ハ爾後主カヲ陽泉附近ニ進出セ  
方補給ト相俟テ更ニ追撃ヲ再興セントセシモノナル  
カ同隊ノ押收セル相當量ノ糧秣ト恰モ到着セ  
ル彈藥ヲ之ニ補給シテ直ニ騎兵隊ト共ニ先ツ壽  
陽ニ向ヒ追撃ヲ續行セシムルニ決ス  
蓋シ師團ノ一部ト雖壽陽附近ニ進出セハ第五師  
團正面ノ敵ニ對シ大ナル脅威ヲ與フヘキヲ以テ補  
給ノ許ス限リ追撃ヲ續行セシムルヲ得策トスレハ  
ナリ

八十一月二日ニ至リ師團ハ更ニ彈藥糧秣ノ一部ヲ補給シ得~~ル~~且爾後ノ補給ニ於テモ概ネ成算ヲ得而モ第五師團正面ノ敵ハ依然トシテ頑強ニ抵抗セルノ狀況ニ鑑ミ師團ハ速ニ全カノ追撃ヲ續行シ太原平地ニ進出シテ敵ノ背後ニ迫ル爲右追撃隊ヲシテ壽陽ニ止マルコトナク引續キ鳴謙鎮附近ニ向ヒ急追セシメ又左追撃隊ハ野砲兵一大隊ヲ缺キ新ニ山砲兵聯隊本部及一中隊ヲ増加配屬ス~~ル~~ヲシテ先遣セル一部ヲ以テ本二日主カラ以テ明三日平定附近出發馬道嶺—松塔嶺—下湖—榆次道ニ沿フ地區ヲ榆次附近ニ向ヒ急追セシメ師團本隊モ亦最少限ノ給養裝備ヲ整ヘ四日早朝平定出發右追撃隊ノ後方ヲ張淨嶺ニ向ヒ前進スルニ決ス

二二日夕騎兵隊及右追撃隊ノ一部ハ壽陽ニ進入シ  
 三日朝ニ至リ第五師團方面ノ敵ハ昨夜來全線退  
 却ヲ開始セルカ如シトノ軍通報ニ接ス茲ニ於テ師  
 團ハ野砲兵聯隊主カヲ速ニ右追撃隊ニ追及  
 配屬シ同追撃隊ニ壽陽ニ停ルコトナク成ルヘク  
 速ニ追撃ヲ續行スヘク命令ス

ホ四日午後ニ至リ第五師團ノ追撃進捗シ太原附近  
 ノ敵西南方ニ向ヒ逐次退却中ナルカ如キ情報ニ接シ  
 直ニ騎兵隊ニ對シ引續キ大谷方向ニ追撃ヲ續  
 行シ特ニ同蒲鐵道ヲ輕爆破スヘキヲ命ス右  
 追撃隊ニ對シ太原方面ノ敵ノ退路ヲ直接遮斷  
 スル爲引續キ主カヲ以テ小店鎮西方汾河ノ線ニ  
 向ヒ追撃シ狀況ニ依リテハ一部ヲ鳴謙鎮東ニ方  
 地區ニ殘置シ太原東南方陣地ニ對シ警戒セシム

ヘキヲ命ス

ヘ四日夕師團司令部ハ張淨鎮ニ進出ス此時第五師團ハ新ニ第一軍ニ編入セラレ太原ヲ攻略シ引續キ一部ヲ以テ汾河右岸地區ヲ汾陽附近ニ向ヒ追撃シ我師團ハ主力ヲ以テ汾河左岸地區ヲ介休附近ニ向ヒ追撃スヘキ命令ヲ受領ス

即師團ニ於テハ騎兵隊ニ對シ引續キ介休ニ向ヒ急追スヘキヲ命シ右追撃隊ニ對シ前任務ヲ續行スルト共ニ野砲兵一大隊ヲ五日榆次附近ニ於テ左追撃隊ニ轉屬スヘキヲ命シ又左追撃隊ニ對シ榆次附近進出後引續キ先ヅ祁縣附近ニ向ヒ急追シテ敵ノ退路ヲ遮斷シ爾後機ヲ失セス介休附近ニ向ヒ追撃ヲ續行スヘキヲ命ス

ト師團司令部ハ五日夜ニ入ルモ前進ヲ續行シ榆林村ニ

進出シ翌六日日没後榆次ニ入城ス

此間騎兵隊ハ隨所ニ敵ヲ撃破シツツ四日午後  
鳴謙鎮附近ニ進出シ五日大谷方向ニ向ヒ追撃ヲ  
續行シ右追撃隊ハ四日夜早クモ鳴謙鎮附近ニ  
進出シ翌五日鳴謙鎮及鳴李村附近ニ於テ榆次  
方向ヨリ太原東南方既設陣地ニ向ヒ北上スルニテ  
師ニ屬スル敵ニ對シ殲滅的打撃ヲ與ヘ六日朝  
來小店鎮附近ニ於テニ三千ヲ下ラサル大縱隊ノ退  
路ヲ遮斷シテ之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ更ニ汾河右岸  
古寒村附近ヲ占領セル約一千ノ敵ニ對シテ渡河攻  
撃ヲ強行シ旧太原東側地區ニ進出シ折柄太原方  
向ヨリ南下スル約一萬ヲ下ラサル大縱隊ニ多大ノ打  
撃ヲ與ヘタリ又左追撃隊ハ四日松塔鎮附近ノ  
敵ヲ撃破シ六日榆次ノ殘敵ヲ驅逐シテ其南方

地區ニ進出ス 然ルニ當時第五師團ハ未タ太原ヲ  
 攻略シアラサルノミナラス太原ニハ現ニ一、二萬ノ敵  
 籠城セリトノ情報ニ接シ師團ハ主力ヲ以テ一時榆  
 次及小店鎮附近ニ集結シ何時ニテモ第五師團、太  
 原攻略ニ策應シ得ルノ態勢ヲ取ルニ決シ六日夜七  
 追撃隊ニ對シ依然敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ明七  
 日小店鎮附近ニ於テ部隊ヲ整理シ爾後ノ追撃ヲ  
 準備スヘキヲ命シ師團本隊タル歩兵第七十七聯  
 隊ニ對シ明早朝約半大隊ヲ張慶村附近ニ派遣シ  
 敵ノ退路ヲ遮斷スヘキヲ命シ爾余ノ師團本隊各  
 梯團ヲ榆次附近ニ集結セシメ八日朝ヨリ主力ヲ以テ  
 左追撃隊ニ續行シ平遙方面ニ追撃ヲ企圖セリ  
 七、七日正午頃ニ至リ太原城內及其東南方一帶、既設  
 陣地ニハ尙相當ノ敵兵團殘存シ第五師團ハ太

原北側ニ進出シテ無抵抗開城ヲ勸告シ敵之ニ應  
セサル場合ハ八日早朝ヨリ之ヲ攻略スヘク準備中  
ナルヲ知ル令ヤ師團ハ五日以後既ニ其主力ヲ以テ何時  
ニテモ太原城攻略ニ着手シ得ルノ態勢ニアルモ太  
原城ノ攻略ハ主トシテ第五師團ニ依リ實施セララル  
コトヲ豫期シ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ無言ノ威  
壓ヲ以テ之カ攻撃ニ策應セリ

爲之七日午後右追撃隊ニ對シ速ニ北營村、殷家堡  
ノ線ニ進出シ太原方面ノ敵ヲ監視シ狀況ニ依リ隨時  
第五師團主力ヲ策應シテ之ヲ攻撃シ得ル如ク準  
備スヘキヲ命シ師團本隊ニ在ル歩兵第七十七聯隊  
主力ニ對シ速ニ鳴李村附近ニ兵力ヲ集結シ鳴謙鎮  
西北方一帯ノ既設陣地及太原方面ノ敵ニ對シ攻  
撃シ得ル如ク準備シ又張慶村ニ派遣セル部隊ハ

前任務ヲ續行セシムヘキヲ命ス

リ、七日午後ニ至リ師團ハ一部ヲ以テ平遙附近ニ回リ追撃ヲ續行シ主カシ榆次附近ニ集結シテ石家莊方面ニ對スル轉進ヲ準備スヘキ軍命令ニ接シ騎兵隊又左追撃隊ニ對シ前命令ニ拘ラス先ツ平遙ニ向ヒ追撃ヲ續行スヘキヲ命シ又右追撃隊ニ對シ概ネ現在ノ態勢ニ於テ部隊ヲ整理スヘキヲ命シ師團本隊ノ諸隊ヲ榆次附近ニ集結ス

ニ、右追撃隊ノ追撃戦闘

イ、辛興鎮附近ノ戦闘（十月三十一日）

十月三十一日、右追撃隊ハ枳曉ヨリ退却セル敵ヲ追撃シ午前九時三十分辛興鎮南北ノ高地線ヲ占領セル約千五百ノ敵ヲ攻撃シ午前十時之ヲ占領シ殘敵ヲ撃破シ午後六時頃辛興鎮南北ノ線ニ進出セリ同日午後五時右追撃隊長ハ引續キ先ヅ壽陽ニ向ヒ追撃スヘキ師團命令ニ接シ步七八聯隊長ニ明十一月一日先ヅ坡頭村附近ノ敵陣地ノ攻撃ヲ命ゼリ只測石驛附近ノ戦闘（十一月一日）

步七八聯隊長ハ張淨鎮ニ向ヒ追撃中十一月一日午前八時頃ヨリ測石驛南北ノ線附近ニ陣地ヲ占領セル約五百ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ步砲ノ緊密ナル協同ノ下ニ逐次敵陣地ヲ奪取シ午後五時乃至

六時ノ間ニ張淨鎮東方高地線ニ又正太線南側  
 地區ヲ迂回セル步七八第三大隊ハ午後八時張淨鎮  
 南方高地線ニ進出シ共ニ爾後ノ追撃ヲ準備シ  
 翌二日拂曉ヨリ敵ヲ急追シ午後五時其先頭部  
 隊壽陽ニ進入シ騎兵隊ト共ニ城内ヲ掃蕩ス當  
 時約千五百ノ敵ハ壽陽西方本道ヲ退却シ其一  
 部ハ壽陽西南方高地ヲ占領シアリ  
 午後四時五十分右追撃隊ハ引續キ壽陽、鳴謙  
 鎮ニ沿フ地區ヲ鳴謙鎮附近ニ向ヒ急追スヘキ  
 師團命令ニ接シ明三日先ツ壽陽西南方台地  
 ノ敵攻撃ニ關スル命令ヲ下達セリ  
 十月三日拂曉壽陽西側台地ノ敵ニ對シ攻撃  
 ヲ開始セシモ敵ノ大部ハ拂曉前既ニ退却セシモ  
 ノノ如ク殘敵ヲ撃滅シツラ一舉太原平地ニ向ヒ

強行軍ニヨル追撃ニ移レリ

當時部隊八十數日ニ亙ル連續ノ戦闘ニ因リ疲勞ノ極ニ達セシモ幹部ハ部下ヲ叱咤激勵シツツ一意追ヲ繼續セリ

ハ鳴謙鎮附近ノ戦闘(十一月五日)

右追撃隊ハ十月三日主カヲ以テ壽陽附近ニ集結シ隊伍ヲ整理スルト共ニ裝備ノ充實ヲ圖リ爾後ノ追撃ヲ準備セントセシカ第五師團正面ノ敵總退却ヲ開始シタル状況ニ鑑ミ速ニ追撃ヲ續行シ太原南方地區ニ進出スルノ要アリシヲ以テ同日午後九時歩六第一大隊ニ山砲一小隊ヲ屬シテ先遣隊トシ壽陽出發鳴謙鎮ノ方向ニ急進セシメ主カハ四日午前五時ニ十分壽陽附近出發鳴謙鎮ニ向ヒ又右側衛(右側衛)ヲ干家<sup>2</sup>

庄、間家分、劉家坡ヲ經テ東耳村(鳴謙鎮南方四料)ニ向ヒ急進セシム各隊ハ各、所命ノ如ク出發シ一意追撃ニ努メシモ主カ方面ハ道路極メテ不良ニシテ車輛部隊ノ前進意ノ如クナラス午前十一時四十分前衛(附)BAS Ⅱ<sub>26A</sub>ヲ基幹トスヲ追撃隊トシテ追撃セシムルトセリ

諸隊ハ惡路ヲ克服シツツ急追シ十一月四日夕早クモ追撃隊ハ鳴謙鎮及其東方地區ニ右側衛ハ李坊村ニ達セリ

同夜追撃隊ハ主カラ以テ鳴謙鎮附近ニ在リテ狀況ニ應シ敵ノ退路ヲ遮斷シ得ルノ態勢カニ在リレカ十一月五日午前九時頃榆次方向ヨリ太原東南方既設陣地ニ據シント北進中ノ第七一、七二、一二七師ニ屬スル敵ノ大部隊鳴謙鎮東側地區ニ前進シ來ルシ

目撃シ之ヲ三方面ヨリ急襲攻撃シ殲滅的打撃ヲ與ヘ午前十時半再ヒ西井村方向ヨリ前進セル約四百ノ敵ヲ潰滅セシメ次テ北小南ノ部落ヲ占領シ頑強ニ抵抗セル約六百ノ敵ヲ地隙内ニ捕捉殲滅セリ

又右側衛ハ午後一時二十分轟店村ニ於テ鳴李子村ヲ經テ南畔村ニ前進スヘキ命令ヲ受テ午後一時同地出發午後二時頃鳴謙鎮東南方小流ニ於テ北小南庄及其東南方地區ニ約二千ノ敵在ルヲ知リ直ニ之ヲ攻撃シ午後五時稍前之ニ徹底的打撃ヲ與ヘタリ該敵モ亦前記三師ニ屬スルモノナリ

此前後數回ノ戦闘ニ於テ敵ニ與ヘタル損害甚大ニシテ目撃セン敵死體二千ヲ下ラス

ニ鳴本村附近ノ戦闘（十一月五日）

獨之機關銃中隊長松田大尉ハ十一月五日午後二時四十分右追撃隊長ヨリ<sup>28</sup>ノ二中隊ヲ併セ指揮シ主カヲ鳴本村附近ニ配置シ鐵道線路ヲ遮斷スルト共ニ一部ヲ志村附近ニ配置シ武宿村北方地區ノ敵情ヲ監視シ併セテ縱隊進路ヲ掩護スヘキ命ヲ受テ十一月五日午後四時鳴本村ニ到着ス午後五時頃鳴謙鎮附近ニ於テ我右側衛大隊ノ爲撃破セラル敗殘ノ約六百ノ敵東方及北方ヨリ鳴本村ニ向ヒ前進シ來レルヲ目撃シ直ニ之ヲ邀撃シ殲滅ス又翌六日午前五時三十分頃、第<sup>14</sup>、六十師ニ屬スル約二百ノ敵停車場ニ向ヒ前進シ來レルヲ反撃シ殲滅シタリ以上兩回ニ於テ敵ノ遺棄死體約三、四百ヲ算ス

右側衛タル<sup>II(78)</sup>ハ一日午前六時三十分頃、鳴木子  
村西方地區ニ於テ第一ニ七師、一三一師ニ屬スル  
約二千餘ノ敵ト遭遇シ直ニ砲兵(226A)ト協同ノ  
下ニ側方ヨリ急襲的ノ攻撃ヲ加フ午前八時半  
頃敵ハ殲滅的打撃ヲ蒙リ約五、六百ノ死體ヲ  
遺棄シ西北方ニ潰走セリ

ホ小店鎮附近ノ戦闘(自十一月八日)

追撃隊ハ十一月五日鳴謙鎮附近ニテ敵ヲ撃滅  
シナル後更ニ小店鎮ニ向ヒ前進スヘキヲ命セラレ  
午後一時半出發小店鎮ニ向ヒ前進途中隨所ニ  
敗敵ヲ撃滅シツ午後六時小店鎮村落内ニア  
ル約四百ノ敵ヲ攻撃シ午後九時之ヲ撃滅シ同村  
ニ進入セリ

又翌六日午前七時頃嘉節村ニテ停止中ノ約五百

ノ敵及城西村附近ニ於テ約二百ノ敵ヲ數千減シ  
 午前九時頃同地ヲ占領ス次テ太原ヨリ舊  
 太原縣ニ向ヒ汾河右岸ヲ退却中ノ約一萬ノ敵  
 ニ對シ小店鎮西側橋梁方向ヨリ攻撃ヲ開始  
 シ午後一時過汾河右岸ヲ占領セル約一千ノ敵ノ  
 猛火ヲ冒シテ渡河ヲ敢行シ東城角西側地區  
 ニ進出シテ敵ノ大縱隊ヲ側面ヨリ攻撃シ大打撃  
 ヲ與ヘタリ

爾後右追撃隊ハ一部ヲ以テ汾河各橋梁右岸  
 ヲ守備セシメ主力ハ薄暮ヲ利用シ小店鎮附  
 近ニ集結シ北方太原方向ノ敵ニ對シ隨時對  
 應シ能心勢ニアルト共ニ南方ヘノ追撃ヲ準備  
 スルメトセリ

ヘ大營村、小馬村附近ノ戦闘（十月八日）

右追撃隊ハ師團命令ニ依リ第五師團ノ太原  
攻撃ニ協力スル爲八日大營村、小馬村ノ線ニ  
展開シ太原ヨリ脱出スル敵ヲ監視シ之ヲ攻撃  
セント企圖シアリシカ當時難路ヲ冒シテ石口迄撃  
隊ニ追及シタル野砲兵第二十六聯隊長ハ嘉節  
村北側ニ於テ午後二時三十分頃太原ヨリ大馬  
村、小馬村ヲ經テ汾河右岸ヲ一團又一團トナリ  
陸續退却スル敵縱隊ヲ發見シ野砲兵三  
隊ヲ以テ猛射シテ十字火ヲ浴セ敵ハ周章狼狽  
シテ散亂シ約三百ノ死體ト多數ノ兵器ヲ遺棄シ  
甚大ノ損害ヲ蒙リ潰走セリ其兵カ少クモ三千ヲ  
下ラス

又歩兵部隊ハ太原ヨリ三々伍々敗走シ來ル敵ヲ射  
撃シ或ハ捕獲シタルモノ約三百ニ及ヒ夜間モ警戒

ヲ最ニシ所々銃聲ヲ聞キツツ夜ヲ徹ス本戦闘  
ニ於テ交戦セシ敵ハ13Dノ420L 421L 435L 436L 及新編319L等  
ナリ

九日右追撃隊長ハ野砲兵聯隊ノ主力、歩兵  
一大隊、工兵一小隊ヲシテ細川大佐ヲ指揮ヲ以テ掃  
蕩隊トシ狄村、新賢村、大馬村ニ至リ陣地ヲ  
占領シ太原以南ノ殘敵ヲ東方ヨリ汾河ニ壓迫  
撃滅ヲ企圖セシカ當日ハ敵部隊ヲ認メス附  
近諸部落ノ敗殘兵ヲ掃蕩シ終リ太原城既ニ千  
前中ニ陥落セシヲ以テ日没前部隊ヲ集結セリ

ト鳴李村北側地區ノ掃蕩(上月九日)

歩兵第七聯隊主力ハ師團命令ニ依リ八日早朝  
榆次ヨリ鳴李村ニ至リ其北方地區ニ展開シ右追  
撃隊ノ右翼ニ連繫シテ太原ヨリ脱出スル敵ヲ警

或シ敗殘兵百餘名ヲ斃シ又九日午前龍崗附近  
既設陣地ノ「ト」ナクニ隱匿セル殘敵約五十名  
攻撃シテ撃滅セリ

### 三、左追撃隊ノ追撃戦闘

松塔鎮附近ノ戦闘

右縦隊ノ先遣隊タル歩兵一大隊ヲ基幹トスル  
部隊ハ十一月二日午前十時北陽勝ヲ出發シ平定  
馬道嶺―松塔鎮―榆次道ヲ前進シ次ニ羽立三  
日早朝歩兵一大隊弱ヲ右側支隊トシテ貴石溝  
―上龍泉―松塔鎮道ヲ追撃―セシメ主力ハ先遣  
隊ノ進路ヲ前進ス

先遣隊ハ途中馬道嶺、中山村附近ノ殘敵ヲ屠  
リツツ四日正午頃松塔鎮南側高地ノ敵ト遭遇  
シ破竹ノ勢ヲ以テ攻撃シ午後一時頃之ヲ潰滅セ

シメ同夜ハ其西方地區ニ集結ス同夜十一時頃中  
山村附近ニテ彈藥中隊、野戰病院及掩護歩兵  
中隊カ山ヨリ下リ來リタル約一團ノ敵ノ襲撃ヲ受テ  
車馬多ク自衛力少キ爲相當ノ損害ヲ蒙リタルモ  
掩護中隊ノ奮戰ニ依リ之ヲ撃退セリ  
吾等追撃隊ハ右ノ情報ニ接シ松塔鎮ヨリ歩兵第  
八十聯隊第一大隊ヲ急派シ掃蕩セシム該隊ハ直  
ニ急行シ恰モ當時該地附近ニ進出セル昔陽支隊  
ト協力シ之ヲ撃滅セリ

# 口太谷附近ノ戰鬪

我追撃隊ハ道路網ノ關係上松塔鎮ヨリ右側支  
隊ヲ右側支隊トシ爾後更ニ主力ノ前進道路ニ  
依リ急進中新ニ師團命令ニ依リ先ツ榆次附近  
ニ進出後引續キ祁縣ニ前進シ敵ノ退路ヲ遮斷シ

爾後機ヲ失セス介休附近ニ向ヒ追撃スルニ決ス  
 六日午前十時半頃榆次ノ殘敵ヲ驅逐シ長驅西  
 南進ス

七日午前兵ハ東陽鎮附近ニ在リシ數十ノ敵ヲ撃  
 破シ更ニ正午過烏馬河河畔ニ於ケル機關銃  
 ヲ有スル約百五十ノ敵ヲ撃退シ太谷城ニ肉迫ス  
 當時該城ニハ約一團ノ敵城門ヲ閉塞シ城壁ニ  
 據リ死守シアリ

前衛ハ午後二時十五分縣城ノ東門ヲ占領シ城  
 壁ヲ逐次占領スルト共ニ城内ヲ掃蕩セリ一部敵  
 ハ青龍刀ヲ振ヒ我ト接戦格闘セルモ遂ニ我ニ  
 抗シ得ス縣城ノ西南角ヨリ退却ヲ開始セリ茲ニ  
 於テ豫メ配置セル部隊ニ猛射ヲ浴セ殆ント之ヲ  
 潰滅セリ

# 四 騎兵隊ノ追撃戦闘

イ 騎兵隊ハ狼子關突破後師團命令ニ基キ十月  
二十七日井陘ヲ出發シ陽泉ヲ經テ壽陽ニ向ヒ敵  
ヲ追撃ス此間右追撃隊ト協力シ逐次上盤石  
村、亂柳村、辛興鎮、測石鎮附近ノ敵陣地  
ヲ攻撃シ十一月二日午前十一時頃壽陽東方高  
地ニ進出ス同日午後二時頃約千五六百ノ敵鐵道  
線路南側地區ヲ壽陽西側高地ニ向ヒ退却  
中ナルヲ發見シ之ヲ猛射シテ多大ノ損害ヲ與ヘ次  
テ壽陽城内ノ約二、三百ノ敵ヲ攻撃シ午後三時頃  
壽陽ヲ占領シタリ

本追撃間機關車三、貨車七八、其他兵器、糧  
食若干ヲ鹵獲セリ

只十一月二日午後右追撃隊ト協力シ追撃ヲ續行シタル

後太谷及榆次方向ノ敵情ヲ搜索スヘキ師團命令ニ接シ翌三日更ニ追撃ヲ續行シ午後三時頃大安驛東方高地ニ於テ折柄前面ヲ退却セラル數千ノ敵ヲ猛射シテ之ヲ潰走セシメ四日午後三時頃鳴謙鎮東側地區ニ進出シ同地ニ在リシ約二三百ノ敵ヲ攻撃シ午後四時鳴謙鎮ヲ占領セリ  
 ハ此日午後太谷方向ニ追撃ヲ續行シ特ニ同蒲鐵道ノ輕爆破ヲ實施スヘキ師團命令ヲ受テ次テ同日夜前任務ヲ續行スルト共ニ介休ニ向ヒ敵ヲ急追スヘキ命ニ接シ翌五日朝鳴謙鎮出發榆次東側地區ヨリ先ツ太谷ニ向ヒ追撃ヲ續行ス午前十一時頃北合流（榆次東方六料）附近ニ於テ鐵道線路ヲ西進中ノ約五、六百ノ敵ヲ又午後三時半頃南合流附近ニ於テ長凝鎮―榆次道・

ヲ西進中ノ千五、六百ノ敵ヲ猛射シ共ニ南方ニ潰ル  
走セシム

七日午後趙開(太谷東方四村)附近ニ於テ二三  
百ノ敵ヲ次テ太谷東南方地區ニ於テ南方ニ向  
ヒ退却中ノ約五、六百ノ敵ヲ射撃シ共ニ大打撃  
ヲ與ヘタリ

八日敗敵ヲ急追シツツ祁縣ニ向ヒ追撃ヲ續行  
シ午後三時祁縣城内ニ在リシ約百名内外ノ敵ヲ  
驅逐シ同地ヲ占領ス

翌九日平遙ニ向ヒ追撃シ午後一時半平遙城内  
ニ在リシ約二百ノ敵ヲ攻撃シ午後三時頃同地ヲ  
完全ニ占領セリ同日夜平遙驛ニ進入シ來リ  
シ敵ノ一列車ニ對シ機銃ヲ制シテ攻撃シ之ヲ撃  
退セリ

榆次以南ニ於テ機關車八、貨車一七、其他兵器、糧食多數ヲ鹵獲セリ

遂、彼我損害ノ概要

甚敵ニ與ヘタル損害

娘子關附近ヲ平定攻略迄 死傷約三萬（遺棄死體約七千）  
平定ヲ太原平地攻略迄 死傷約二萬三千（遺棄死體四千五百）

捕虜約三百

合計

甚我損害

敵死傷約五萬三千（遺棄死體約一萬五千）

死傷約二、三〇〇内（内戦死約六五〇、戦傷一、六五〇）

甚押収品

各種兵器、彈藥類極メテ多數

正太、同蒲鐵道輪轉材料機關車一五、客貨車一八〇

糧秣師團ノ約十日分

第三敵ノ兵力、團隊荒、素質及敵將帥ノ退却

其娘子關附近ニテ交戦セシ敵

娘子關附近一帯ニ於テ師團ト交戦セシ敵ハ70、120、170、270、300、310、420、630、730、1240、1530ノ十一ヶ師迄十一月二十六日我々縦隊々松溝村附近ニテ撃破セシ1220、1290ノ二師アリ

此等ノ敵ハ涿州、保定會戦ニ於テ師團ニ撃退セラレタル原連仲軍(270、300、310)迄山西軍ノ一部、中央系四川軍等ニレテ其兵員ハ一師カ五千乃至一萬ニシテ其總兵十萬弱ト判斷セラル其裝備並戦闘力共ニ涿州附近ニテ交戦セシ中央軍ニ比シ稍々低下シアリ

其太原平地ニテ交戦セシ敵

平定、陽泉附近ヨリ太原平地ヘノ追撃戦闘迄太原平地攻略戦ニ於テ遭遇セシ敵ノ兵力をノ如シ(敵ノ師團

番號八十月三十日ヨリ十一月八日ノ間ニ於テ我騎兵隊ニテ  
俘虜ニ就キ調査セリ

一 70. 170. 270. 420. 1220. 1240 此六師ハ娘子關附近ヨリ平定、陽  
泉附近ヲ經テ太原平地ニ退却セリ

ニ 100. 410. 460. 500. 540. 550. 590. 680. 720. 850. 890. 1100. 1280 此ノ十三師ハ壽陽  
ヨリ以西、太原平地迄平遙迄ノ追撃戰ニ於テ遭  
遇セシ敵ニシテ其一部ハ忻口鎮方面ヨリ太原平地ヲ  
經テ南方ニ退却シ或ハ太原陷落直前ニ南方ヨ  
リ北上セシ部隊アリシカ共ニ我軍ノ攻撃ニ依リ其主  
力ハ同蒲鐵道方面及汾陽方向ニ潰走セリ

### 基敵將帥ノ退却

忻口鎮方面山西軍ノ主力ハ我右追撃隊カ陽泉ヨリ  
太原平地ニ追撃ヲ續行シ壽陽附近ニ進出シタル十  
一月二日頃南方ニ退却ヲ開始シタルモノノ如ク總帥

#### 第四 其他重要ナル所見

其二支那軍ニ對スル突破ニ就テ

支那軍ハ在右ノ連繫極メテ不良ナルモ餘リニ之ヲ輕視シ僅小ノ兵力ヲ以テ敵線ヲ突破セントスルトキハ其在右ノ敵部隊逐次包圍的ニ攻撃ヲ試ミ爲ニ意外ノ苦境ニ陥ルコトアリ而テ一度我兵力等ヲ敵ニ察知セラ  
ルルニ至ランカ彼ハ其國民性ヲ遺憾ナク發揮シ極メテ執拗ニ逆襲シ來ルカ如シ  
要スルニ各部隊個々ノ戦闘ヲ爲スハ得策ナラス本會

閩錫山ハ十一月一日夜退却セシ風説アルモ小店鎮附近ニテ右追撃隊カ得タル俘虜ノ言ヲ綜合セハ十月五日午後七時太原ヲ脱出シ自動車ニテ同蒲線ニ沿ヒ南方ニ逃走セリ又第三十五軍長傅作義ハ十一月七日夕太原ヨリ自動車ニテ西南方ニ逃走セリト

戦中舊關ノ歩セセハ右ノ例トナルモ結果論的ニ觀察セ  
 るに隊カ勇猛ナル前進ヲ敢行シ極端ニ多ク敵ヲ  
 引受ケ之ヲ牽制セルハ聽テ我を縱隊ノ大迂回次テ大  
 兩翼包圍殲滅戰成功ノ因ヲ爲セルモノトモ觀察セ  
 ラルヘシ

甚支那軍ノ山地防禦ニ就テ

山地防禦ニ於テ支那軍ハ頗ル頑強ニシテ決シテ彈  
 藥ヲ浪費セス近距離ニ入ラサレハ射撃ヲ開始セス  
 又其迫撃砲、手榴彈等モ近迫戰闘ニ於テ初メテ  
 使用シ迫撃砲ノ如キハ豫メ試射ヲ正確ニ實現シテ  
 ルカ如ク其命中率甚タ良好ナリ

甚洞窟式掩蔽部ノ特性ニ就テ

洞窟式掩蔽部ニ據ル敵ニ對シテハ爆撃、砲撃何レモ殆  
 ント效果ナレ近距離ヨリ歩兵砲、山砲、機關銃等ヲ以

テ之ニ正對シテ射撃ヲ加フルニアラサレハ效果尠シ  
 但何レモ單一ノ洞窟ニハ死傷多ク以テ克ク地形ヲ利用シ  
 準備ヲ周到ニシテ之ニ近迫セハ逐次之ニ接近シ得ル如シ  
 蓋支那軍ノ手榴彈戰ニ應スル對策ニ就テ

近迫戰闘ニ於ケル支那軍唯一ノ武器タル手榴彈ハ有  
 ムル手段シ講シテ之ヲ事前ニ消耗セシメ其消耗ヲ待テ  
 テ突撃ヲ敢行スルヲ要ス夜間ノ如キ屢々敵前ニ於テ  
 陽ニ喊聲ヲ上ケテ逐次手榴彈ヲ投擲消耗セシメ  
 其盡タルヲ見テ背面ヨリ突入スルカ如キハ本戰闘ニ於  
 テ我第一線部隊ノ試ミテ常ニ成功セル例ナリ

甚有利ナル戰闘ヲ交ヘタル支那軍ノ抵抗カニ就テ

一度有利ナル戰闘ヲ交ヘタル支那軍ハ爾後其抵抗意  
 外ニ頑強ニシテ之ヲ數度破スルニハ相當ノ損害ヲ受見悟  
 セサルヘカラス本戰闘ニ於テ歩七八等ニ大隊カ長生口

西北方高地ニ於テ攻撃セル敵、又歩ハ第一大隊カ  
大龍窩南方高地ニ於テ攻撃セル敵ノ如キ何レモ舊  
關附近ニ於テ歩セセニ對シ再三逆龍衣ヲ毎具施シ或ハ  
井陘、舊關間ノ道路ニ對シ夜間奇龍衣ヲ毎具施セル  
部隊ニレテ頓ニ活氣ヲ有レアル爲兩大隊ハ意外ノ  
死傷ヲ生スルニ至レルカ如シ

其六、山地戰ニ於ケル迂回ノ價值ニ就テ

山地ニ於テハ迂回ニ依リテ戰況ヲ進捗セシムヘキアト古  
今ヲ通スル原則ニレテ特ニ支那軍ニ對シテハ其效果極  
メテ大ナリ師團ノ太原作戰カ迅速ニ進捗セルハ一  
右縱隊ノ大迂回成功スルニ因ルモノトス

尚行動不便ナル山地ニ於テモ迂回包圍ヲ敢行シ且  
我企圖ヲ秘匿シ而モ我行動勇敢迅速ナレハ依然大  
殲滅ヲ企圖スルコトヲ得ヘシ左右連繫不十分ナル

支那軍ニ對シ而モ道路少キ娘子關ノ如キ地形ニ於テ殊ニ然リ

其、支那軍ノ白兵戰及夜龍衣ニ就テ

支那軍ハ同筆寸以上ノ敵ニ對シテハ容易ニ接戰格闘ヲ敢行シ得サルモ少シク弱執カト見レハ晝夜ヲ問ハス接戰格闘ヲ企圖スルカ如シ

但兵力不明ナル敵ニ對スル夜龍衣ニ於テハ近距離ニ接近シテ猛烈ナル射撃ヲ加フルモ突入ハ容易ニ安見行シ得サルカ如シ夜龍衣ニ於テモ假令一部ト雖不意ニ北月後筆寸ヨリ突入スルトキハ立止外ニ成功スルハ本戰闘間其例ノ存スルトコロナリ

其、後方機關ノ掩護及自衛ニ就テ

後方機關ニ對スル龍衣撃ハ支那軍ノ常套手段ニシテ特ニ山西方面ノ支那軍ハ執拗ニ之ヲ繰返ス傾向アリ

從テ大行木子輜重ノ如キ山地ノ作戰ニ於テハ之ヲ各聯  
大隊毎ニ分屬同行セシムルカ或ハ相當ノ掩護部隊ヲ  
附シ更ニ特務兵等ニモ悉ク小銃ヲ携行セシムル等ノ  
用意アルヲ要ス

又後方部隊等ハ決シテ油斷スルアトナク近距離搜  
索及左右ノ警戒、戒ヲ勵行シ敵ニ乘セラレサルノ覺悟ナ  
カルヘカラス

其一部隊ノ追撃續行ニ就テ

追撃戰闘ニ於テ如何ニ補給困難ナリトナラモ決シテ  
全兵力ヲ途中一時停止セシムルアトナク一小部隊ト雖高  
難ヲ排シテ敵ニ觸接急追セシムルヲ要ス之カ爲要ス  
レハ彈藥、糧食等ハ全師團ノモノヲ取集メ追撃ヲ  
續行スル部隊ニ與フルカ如キ非常手段ヲモ講スルヲ可  
トス師團カ右追撃隊及騎兵隊ヲ督勵シテ陽泉

以西ノ追撃ヲ極力續行セシメ之ニ彈藥携帶糧秣ヲ取集メ補給シタル結果意外ニ奇功ヲ奏シ太原以北ノ敵ヲ速ニ敗走セシメタルノミナラス太原東南方既設陣地ニ據ラントスル敵ヲモ之ヲ潰滅セシムルニ到レリ蓋シ假令一部ト雖連續追撃セシムトキハ敵ヲシテ我全カノ追撃續行ヲ思ハシムルフトナレハナリ支那軍ノ如キニ對シテハ殊ニ然リ

其ノ追撃ノ成果ニ就テ

追撃ノ效果ハ意外ニ大ナルモノアリ右追撃隊カ太原南方地區ニ於テ再三敵ノ大部隊ヲ潰滅シタルカ如キ又騎兵隊、右追撃隊カ榆次、平遙間追撃ニ力リ意外ニ多量ノ鹵獲物件ヲ得タルカ如キ何レモ事前ニ於テ豫想シタル以上ノ成果ナリ

甚、徹底的追撃ノ必要ニ就テ

六追撃ヲ續行スルトキハ支那軍ノ如キハ何處迄ニ退却ヲ續行スルコトハ過去屢々體驗セシトコロナリ然ルニ一度追撃ノ歩ヲ緩メルトキハ亦直ニ敵モ停止シテ陣地ヲ構築スルノ風アリ本大追撃ニ於テ更ニ南方要地迄追撃ヲ續行セハ上司ノ命ニ依ルトハ之誠ニ惜シキ極ミナリ）效果大ナリシナラン

其各部隊ノ積極的行動ニ就テ

一歩兵隊ノ追撃ニ就テ

娘子關突破後正太線ニ沿ヒ陽泉、壽陽方向ニ追撃シタル右追撃隊ノ歩兵第七十八聯隊主カハ縱隊追撃ニ移リシ後ト雖數線ニ亘リ高地ヲ占領シテ防禦セル敵ヲ逐次撃破セサルヘカラサルヲ以テ峻峻ナル山地而モ山西省特有ノ斷崖、地隙アル地區ヲ展開シタル態勢カヲ以テ一地ヨリ一地ニ攻撃前進スルコト連續

數日ニ亙リ約二十里將兵ノ勞苦ハ其極ニ達セリ雖  
其戰況ニ合シタル行動ニ依リ比較的容易ニ優勢カナ  
ル敵ヲ突破シテ迅速ニ追撃前進スルコトヲ得タリ  
ニ舊關附近砲兵ノ陣地占領及難路前進

右縱隊ノ娘子關一帶ノ攻撃ニ參與セシ野砲兵聯隊  
及野戰重砲兵聯隊カ舊關附近ノ地形極メテ狹少  
錯雜シ且階段狀ヲ爲セル高地ニ陣地進入ヲナレ步兵  
ノ攻撃ニ協カシタルハ平時ニ在リテハ豫想シ得サル  
難作業ナリレカ所謂超人ノ努力ニ依リテ之ヲ敢  
行セシモノアリ而モ敵ノ銃砲彈、追撃砲彈ヲ受クル  
地點ニ陣地ヲ占領シ得、適切ナル協カヲメシタル儀  
往的精神ヲ發揮シタルモノナリ  
次テ舊關ヨリ平定ニ向フ追撃茲壽陽ヨリ太原ヘノ  
追撃間ノ道路ハ敷石道又ハ急坂ノ難路ニシテ其多ク

ハ數十米ノ斷崖上ヲ通過セルモノニレテ野砲、重砲共ニ幾タノ艱難ヲ冒シ臂力前進シ併用シテ追撃隊ニ追及シ隨所ニ有效ナル協同ヲナレタリ。本前進間砲兵就中重砲兵ハ車軸十數個ヲ折損セシ程ノ難路ナリキ。

本追撃ニ於テ諸隊特ニ砲兵ノ追撃ヲ容易ナラシメタルハエ兵隊及道路構築隊ノ不眠不休ノ努力ニ俟ツトコロ大ナリ。

ニ右追撃隊ノ不期遭遇戦ニ就テ

十一月五日早朝右追撃隊カ太原平地ノ鳴謙鎮ニ於テ榆次方向ヨリ北上セシ約ニ師ノ敵ト不期遭遇戦ヲ交フルヤ當時各部隊ハ追撃ノ能ハシキニ稍々分離シアリレニ拘ラス歩砲兵、獨立機關銃隊等、獨斷協同良好ニシテ數時間ニ亘リ終始攻撃ヲ敢行

シ敵ハ約二千ノ遺棄死體ヲ殘レ遺滅セリ更ニ追撃  
隊ノ各隊ハ小店鎮方向ニ前進シ太原東南方高地ノ  
既設陣地ノ一部ニ集結セル敵茲太原方向ヨリ南  
下スル敵ヲ隨所ニ攻撃シテ之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ獨  
斷機宜ノ行動シナセリ

#### 四 飛行隊ノ協力ニ就テ

本作戰間飛行隊ハ堅固ナル陣地ニ據レル敵ニ對ス  
ル歩兵ノ突撃ヲ準備ニ終始極メテ密接ナル協力ヲ實  
施シ又適時敵情ノ通報、追撃部隊茲等五師團ト  
ノ連絡ニ大ニ努カシ師團ノ戦闘指導ニ裨益スルトコ  
ロ甚大ナルモノアリ

#### 五 配屬部隊ノ活動ニ就テ

師團配屬部隊就中獨立機關銃、追撃手砲及山砲  
等ハ全ク師團固有部隊ト同様戦闘ノ全局ヲ通シ

極メテ緊密積極的ニ活動シ多大ノ損害ヲ意トス  
 下ナク犧牲的精神ヲ發揮レテ克ク師團ノ戰鬥遂  
 行ニ甚大ナル貢獻ヲ爲セリ

第三軍司令官ノ祝電

本會戰間第一軍司令官、方面軍司令官ヨリ師  
 團長宛戰勝祝電ヲ受領セシト在ノ四回アリ

一十月二十六日夜

第一軍司令官  
 狼子關占領直後

二十月三十日

方面軍司令官  
 平定平地ヲ略取シタル際

三十一月七日

方面軍司令官  
 太原平地攻略ノ際

四十一月九日

第一軍司令官  
 太原攻略ノ際

## 附錄

## 其二 衛生

## 後方關係事項

## 一人 衛生

右側支隊(後右縱隊)ニ配屬セル衛生隊三分ノ一十月十三日井陘三十  
四部隊ノ前進ニ伴ヒ旧關繡帶所ヲ開設ス

十月二十日師團主力井陘附近進出ニ伴ヒ左縱隊方面ニ在リテ八七村  
木曾村北部小川等ニ於テ又正太鐵道方面ニ於テ驛嶺附近及北峪  
等ニ繡帶所ヲ開設シ傷者收容後送在ス爾後追撃ニ方リテ六部隊  
ニ跟隨傷者ヲ收容前送シ十月三十一日正太鐵道方面ノ三分ノ六下五渡  
村ニ主力ハ平定ニ前進シ其三分ノ一ヲ以テ繡帶所ヲ開設シ娘子關旧  
關以降ノ傷者ヲ收容ス

右側支隊(後右縱隊)ニ配屬セン第三野戰病院ハ十月十五日井陘  
ニ開設患者三二名ヲ收容同十八日患者ヲ兵站衛生機關ニ引  
繼キ次テ同三十日迄校桃園及旧關ニ於テ開設患者三四名ヲ収

療十月二日平定ニ集結セリ

第二野戦病院ハ左縦隊ニ跟随シ十月二十六日北部小川ニ於テ開設  
患者七十六名ヲ収療シ第四野戦病院ハ右追撃隊ニ跟随シ十  
九日龍庄村ニ開設患者一六名ヲ収容シ後夫々平定ニ集結セリ  
第一野戦病院ハ師團本隊ノ後尾ヲ續行十一月一日平定ニ到リ繃  
帶所ヲ引繼キ開設シ十月十日閉鎖迄ニ患者七三名ヲ収療セリ  
陽泉及平定附近以西ノ追撃隊ニ力リテハ衛生隊ハ兩追撃隊ニ各  
三分ノヲ配屬ス右追撃隊配屬ノ部ハ塩房村ニ左追撃隊配  
屬ノ部ハ平遙ニ達シ各繃帶所ヲ開設傷者ヲ収容後送シ主力(三  
分ノ二)ハ師團本隊ト共十一月七日榆次ニ到レリ

第四野戦病院ハ右追撃隊ニ跟随シ途中壽陽ニテ衛生隊ノ  
傷者ヲ引繼キ十一月七日榆次ニ到著同地ニ開設シ十月二十日迄ニ患  
者六五六名ヲ収容ス

第二野戦病院ハ引續キ平定ニ開設シ十月十日閉鎖後陽泉ニ待

命ス

第三野戰病院ハ左追襲隊ニ跟隨シ廣陽鎮附近ニ於テ敵攻撃ヲ受ケ六十名ノ死傷ヲ出セルモ人員ハ榆次及平定ニ集結ス第三野戰病院ハ師團本隊ノ後ヲ續行シ十日榆次ニ到着待命ス

本戰鬪間衛生機關ハ一部駄載ニ改編セシ爲其追隨ハ比較得滑ニ實施セタルモ山岳地帯ナルト道路不良ナルトニ依リ患者ノ輸送ハ相當困難ヲ感シタリ

ニ馬匹ノ衛生

病馬收容所ハ主力ヲ以テ枕頭ニ開設シ一部ハ右側支隊(後右縱隊ニ配屬十月十三日ヨリ井陘ニ開設シアリシカ師團全カヲ以テ陽泉平地ニ向ヒ作戰スルニオリ枕頭ニ在リシ主力ヨリ更ニ部ヲ左縱隊ニ配屬シ殘餘ハ十月二十日枕頭出發同二十四日井陘ニ至リ老ニ同地ニ開設シアリシ一部ト合シ開設ス主力ハ戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ十月二十日井陘收容病馬四頭ヲ同地ニ於テ兵站病馬廠支廠ヘ引繼キ名後師

團本隊ノ後方ヲ續行十月三日平定ニ到着シ先ニ左縱隊ニ配屬セシ一部ト合シ開設ス平定ニ於テ病馬發生ノ現況ニ鑑ミ病馬收容所ノ編成ヲ強化ス即從來馬廠ノ約半部ヲ以テ編成シ獸醫部將校ニ名ニ過キサリシヲ馬廠ノ全員ヲ以テ其基幹トシ更ニ隸下部隊ヨリ獸醫醫師免許證ヲ有スル獸醫務下士官ニ特務兵ハ茲獸醫部下士官適任證書ヲ有スル上等兵四ヲ増加配屬シ師團獸醫部部員ヲシテ收容所長ヲ兼務セシメ以テ收療ニ遺憾ナキヲ期セリ

枕頭出發後井陘附近迄ニ於ケル收容病馬數四四頭井陘ヨリ平定ニ至ル間ノ收容病馬六五頭ニ達セリ

陽泉及平定附近以西ノ追撃ニ方リテハ病馬收容所各部ヲ兩追撃隊ニ配屬シ主力ハ收容病馬ヲ牽連シ十一月四日平定出發師團主力ノ後方ヲ續行シ十月廿日榆次到着基同地ニ開設ス

左追撃隊配屬ノ一部ハ廣陽鎮附近ニ於テ敵ノ攻撃ヲ受ケタルモ前進ヲ續行シ榆次附近ニ到リ主力ニ合シ右追撃隊配屬ノ一部ハ十月廿日小店

鎮ニ到リ開設土月二十日主力ニ合セリ

平定出發ヨリ榆次到着直後迄ニ於ケル收容馬數約一五〇頭ナリ

### 三、給水

第一防疫給水班ハ十月二十日石家莊附近ヲ出發シ井陘ニ到リ同方面部隊ノ給水ニ任シ爾後ノ追撃ニ方リテ師團本隊ノ進路ヲ躍進シ給水ヲ實施シツツ榆次ニ到レリ

本作戦地ハ井水少ク而モ水質不良ニシテ同給水班ノ活動ハ兵員ノ戦力増進ニ貢獻セル所特ニ大ナルモナリ

### 其二、彈藥及糧秣ノ補給

#### 一、補給部署ノ概要

右側支隊(後右縱隊)ニ當初彈藥約ニ中隊糧秣約ニ小隊ヲ配屬シテ補給ニ任セシメ師團全カラ以テ陽泉平地ニ向ヒ作戰スルニ方リテ左縱隊ニ彈藥中隊ト小隊糧秣中隊ト小隊ヲ配屬シ尚兵站輜重約ニ中隊ヲ同縱隊ニ跟隨シ直接補給方ヲ兵站ニ要求シ輜重主

カヲ井陘附近ニ進メ補給ニ任セシム

平定附近ヨリ以西ノ追撃手ニ方リテ右追撃手隊ニ彈藥、糧秣各一中隊、左追撃隊ニ彈藥、中隊ト小隊糧秣、中隊ト小隊ヲ配屬シ爾餘輜重六師團本隊ノ後方ヲ續行セシム尚兵站輜重約三中队ヲ左追撃手隊ノ後方ヲ續行シ同追撃手隊ニ直接補給方ヲ兵站ニ要求ス

大行李ハ作戰地ノ地形特ニ道路網ノ狀況ニ鑑ミ兩追撃隊所屬大行李ハ各追撃隊ニ續行セシム師團本隊諸隊ノ大行李ハ平定附近迄六師團大行李長ノ指揮ヲ以テ團トナリ行動シ是附近以西各梯團ノ後方ヲ各續行セシム

## 二補給實施ノ概要

娘子關附近ノ戰鬪茲陽泉平地ヨリ追撃間補給

娘子關附近ノ戰鬪ニ於テ六師團主力方面ニ在リテ井陘西方地區及旧關附近彈藥及糧秣交付所ヲ開設シ内滑ニ補給ヲ實施シ得タルモ左縱隊方面地形ノ險惡道路ノ不良敵ノ妨害等ヲ爲補給意ノ如ク十一月二

十七日六師團本隊ニ續行中ノ糧秣輜重中隊ヲ旧關一柏木井  
一平定道ヲ前進左縱隊ニ直接補給ヲ命シ尙軍ニ同縱隊ノ爲食  
糧ノ空中投下ヲ要求セリ

右糧秣中隊ハ道路ノ狀況諸隊ノ超越ヲ許サス爲ニ直接補給ヲ  
實施獲得サリシモ食糧ノ空中投下ハ柏木井附近ニ一部實施セ  
シタリ然レ共是亦山岳地帯ノ爲實際拾得タルモノハ粉未狀ト  
ナル極メテ少量ニ過キサリキ

二十八日ニ至ルヤ左縱隊續行中ノ後方部隊ノ献身積極的ノ努力ニ  
依リ同縱隊ニ追及補給ヲ實施シ戦力ヲ維持スルヲ得タリ特師  
團ニ協力ノ兵站部隊カ師團輜重ヲ超越シテ直接左縱隊ニ  
對スル補給ヲ敢行セルハ多トスル所ナリ

只陽泉平定附近ニ於ケル補給

師團ニ對スル後方ヨリスル補給ハ道路ノ關係上遲延ヲ免カレズ然ルニ  
師團ハ戰況上依然追撃ヲ敢行ヲ要シ而モ師團主力前進開始

後ハ地形特ニ道路ノ狀態上後方ヨリスル超越補給ハ不可能ナル狀況ニ鑑ミ補給ニ關シ左記ノ如ク處置シ作戰ノ要求ニ順應スヘキヲ期セリ

ハ第四兵站司令官ニ特使ヲ派シ爾後ノ補給ハ兵站輸送機關ヲ陽泉及平定附近ニ進メ師團ニ對シ直接補給ヲ實施スル共ニ正太鐵道及同鐵道沿フ道路並井陘―日關―平定道依リ遲クモ十月一日頃迄ニ整備糧秣五日分ヲ追送セラ度旨要求ス

ハ經理部部長ヲ先遣シ地方物資ノ調達ヲ行ハシム

ハ糧秣ノ整備ヲ速ニ完了スル爲陽泉及平定附近進出後ヨリ同地附近出發迄日々消費消正規糧秣ハ定量ノ二分乃至三分ヲ使用シ其不足ハ地方物資ノ利用ニ依リ之ヲ補足セシム

ハ各部隊ニ對シ補給順序ヲ左如クシテ作戰ノ要求ニ應ジシム

右追撃部隊

## 左追撃手隊

師團本隊（更ニ各梯團ニ順序ヲ附ス）

五 兵站監部ト連絡上井陘―旧關―平定道ヲ兵站自動車専用道路トシ同道路上ニ各部隊車輛ノ通行ヲ禁止ス

六 師團後續重車輛部隊ノ爲補給路ヲ閉鎖シアル狀況ニ鑑ミ石門口及西郊村附近河原ニ開進シ道路ヲ開放セシム

以上ノ如キ處置ヲ講シ携行裝備ノ急速ナル整備ヲ企圖セシモ平定附近到著當初ハ後續重車輛ノ爲道路ノ開放意ノ如クナラス正太鐵道ハ娘子關附近ニ於テ敵ニ破壊セシ道路亦不良等ノ爲後方ヨリスル追送ハ意ノ如クナラシモ幸ニ陽泉及平定附近ニ於テ相當量ノ糧秣ヲ押収シ得タルヲ以テ其大部並追送品一部ヲ以テ先ツ右追撃手隊及左追撃隊先遣隊及左追撃手隊ノ裝備ヲ又追送諸品到著ヲ待テ逐次師團本隊諸隊ノ裝備ヲ充實セシム斯ノ如クシテ各部隊ハ逐次射耗彈藥ノ大部三日乃至四日分糧食ヲ補充シ右追撃手隊ハ停止スルコトナク引續

キ追撃ヲ敢行シ左追撃隊ノ部ハ十一月二日主力ハ同日師團本隊諸  
隊ハ同日ヨリ前進ヲ開始スルヲ得タリ

ハ爾後太原平地進出迄ニ於ケル補給

爾後追撃間特ニ後方ヨリスル補給ヲ爲ストナク太原平地進出  
後之ヲ實施セリ

三地方住民並物資ノ狀況

山西地方ハ閻錫山ノ抗日政策徹底セルニ因ルモノナリ平漢沿線ト  
趣ヲ異シ各部落ニ住民殆トナク又作戰地域ハ山地帯ニシテ而シ農  
作物ノ收穫期ヲ過キアル急軍隊ノ利用スヘキ物資極メ乏シク給養  
ニ幾多ノ困難ヲ感セリ

其ニ後方機關掩護及其他

一後方機關掩護及戰場掃除

作戰地ノ地形及敵軍ノ特質ニ鑑ミ作戰開始ニ方リ後方機關掩護ニ  
關シテ特ニ般ニ注意ヲ倍徙シ作戰遂行ニ方リテ後方ノ要地ニ掩護部

隊ヲ配置シ尙所要部隊ニ直接掩護部隊ヲ附シ敵ノ妨害ニ備ヘル  
モ測魚鎮西方地區廣陽鎮附近並陽泉西方地區ニ於テ敵ノ攻撃  
ヲ受ケ犠牲者ヲ生セシ遺憾トスル所ナリ

而シテ測魚鎮西方地區ニ步兵一中隊機關銃一小隊ヲ又廣陽鎮  
附近ニ步兵約大隊ヲ派遣シテ殘敵ヲ掃蕩並戰場掃除ヲ實施セ  
シメタリ

### ニ、後方機關改編

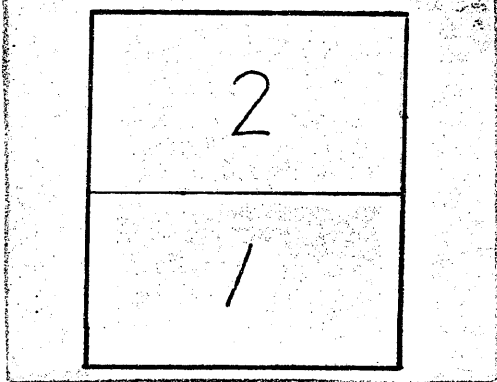
師團輜重約半數ハ既ニ馱載ニ改編シアリシカ本作戦開始ニ方リ  
作戰地ノ地形ニ鑑ミ左縱隊配屬ノ後方機關ハ全部ヲ馱載ニ改編  
シ作戰ニ追隨セシメタリ

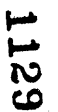
### 三、更衣

本期作戰ハ更衣期ニシテ而モ山西地方ノ氣温ニ鑑ミ師團主力ハ石家莊  
附近出發ニ先ケ又右側支隊(後右縱隊)ハ井陘及旧關附近戰鬪間ニ  
於テ逐次冬服ニ更衣ノ手段ヲ講シ体力ノ保持ニ遺憾ナキヲ期セシモ尙

一部ノ部隊ニ在リテハ戦況其他ノ關係ニ依リ遂ニ太原平地ニ於テ之ヲ  
施スルノ已ムナキニ至レルモノアリ

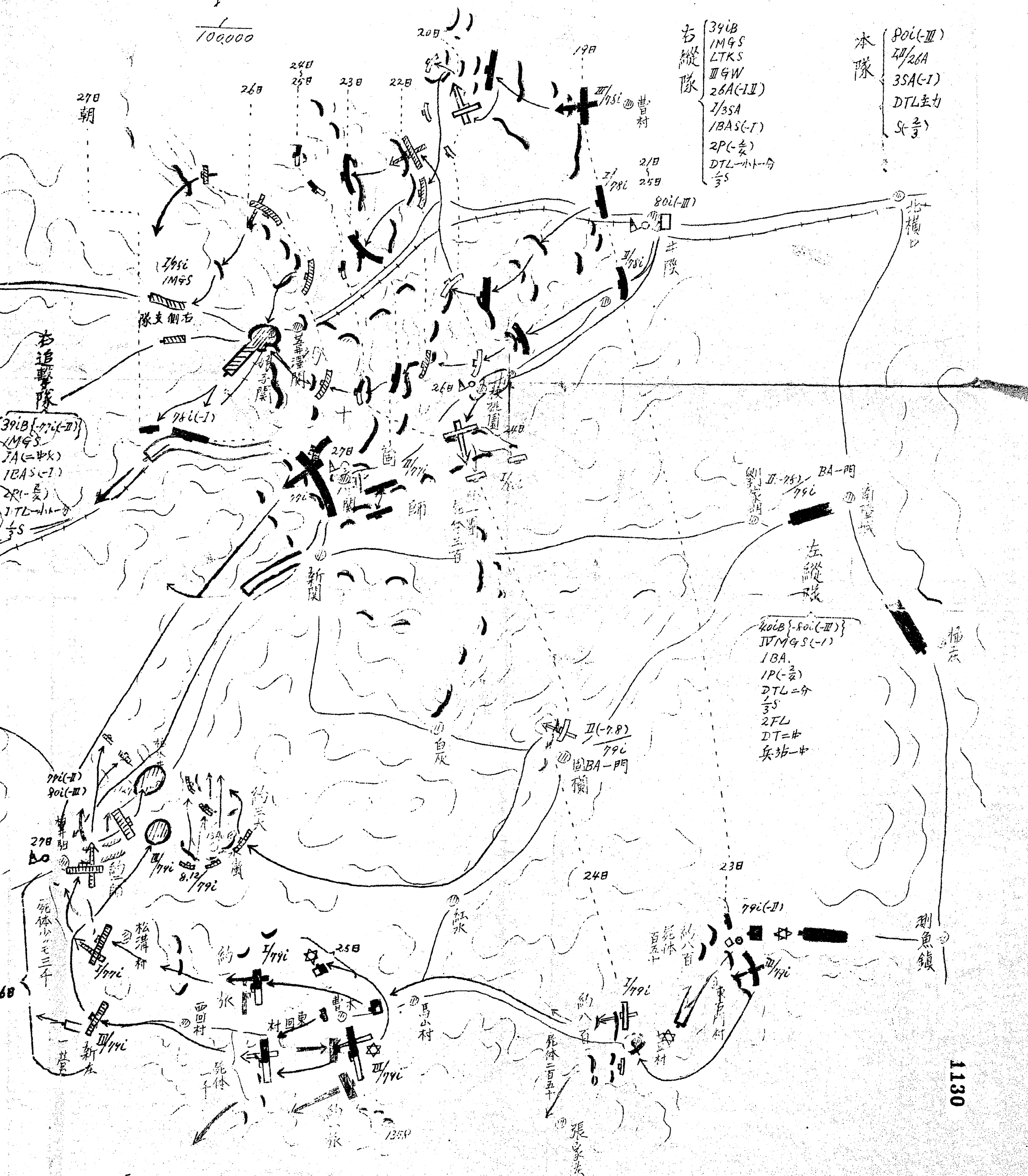
# 分割撮影ターゲット

|                                                                                                                                                                    |                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 分割した<br>部分の撮<br>影 順 序                                                                                                                                              |  |
| 分割撮影<br>した<br>理 由                                                                                                                                                  | A 3 判以上のため                                                                         |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は<br/>撮影立会者 坂根嘉和 </p> |                                                                                    |



# 第二十二師團子關附近戰經過要圖

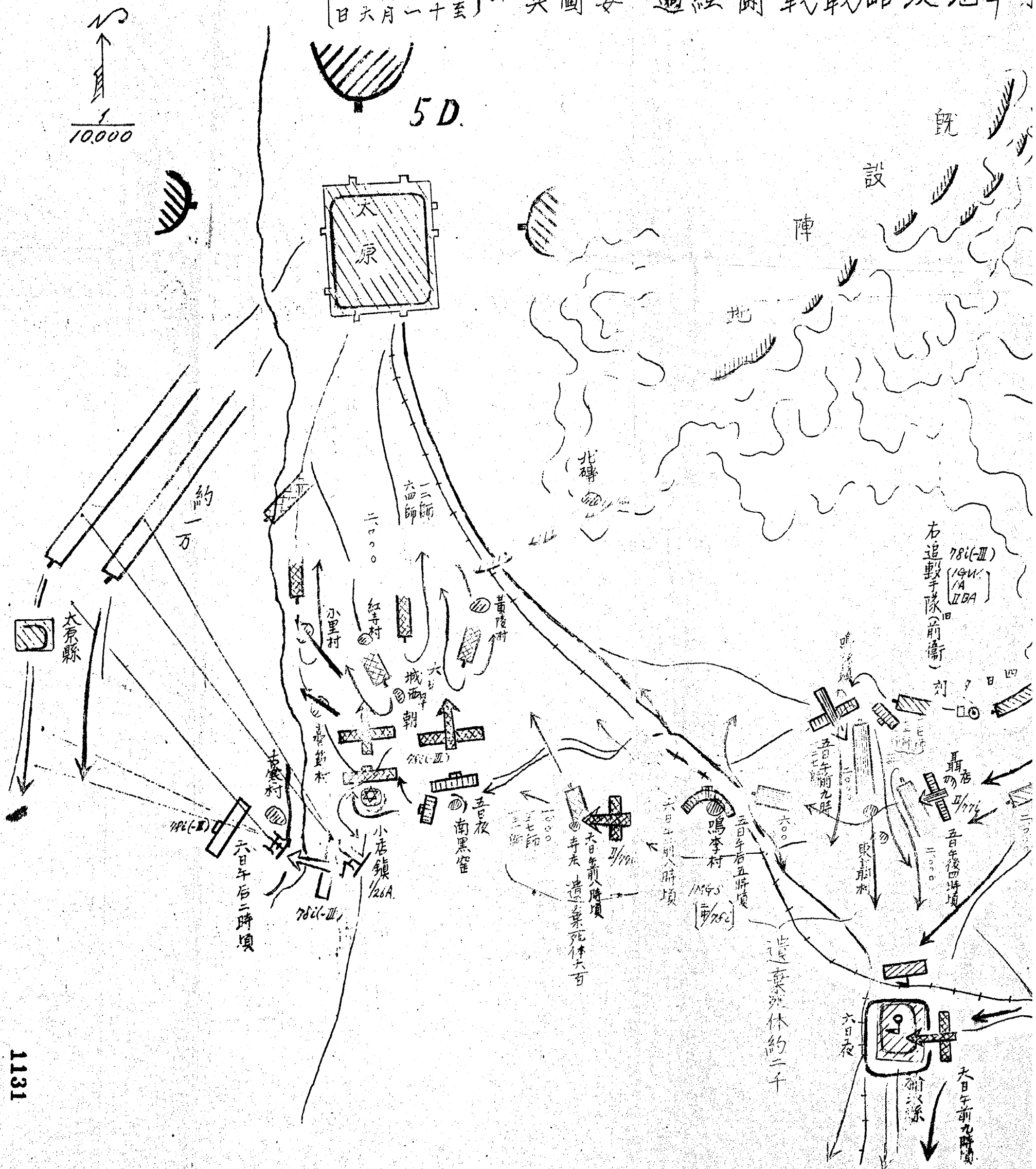
(自十月九日至十一月十三日)



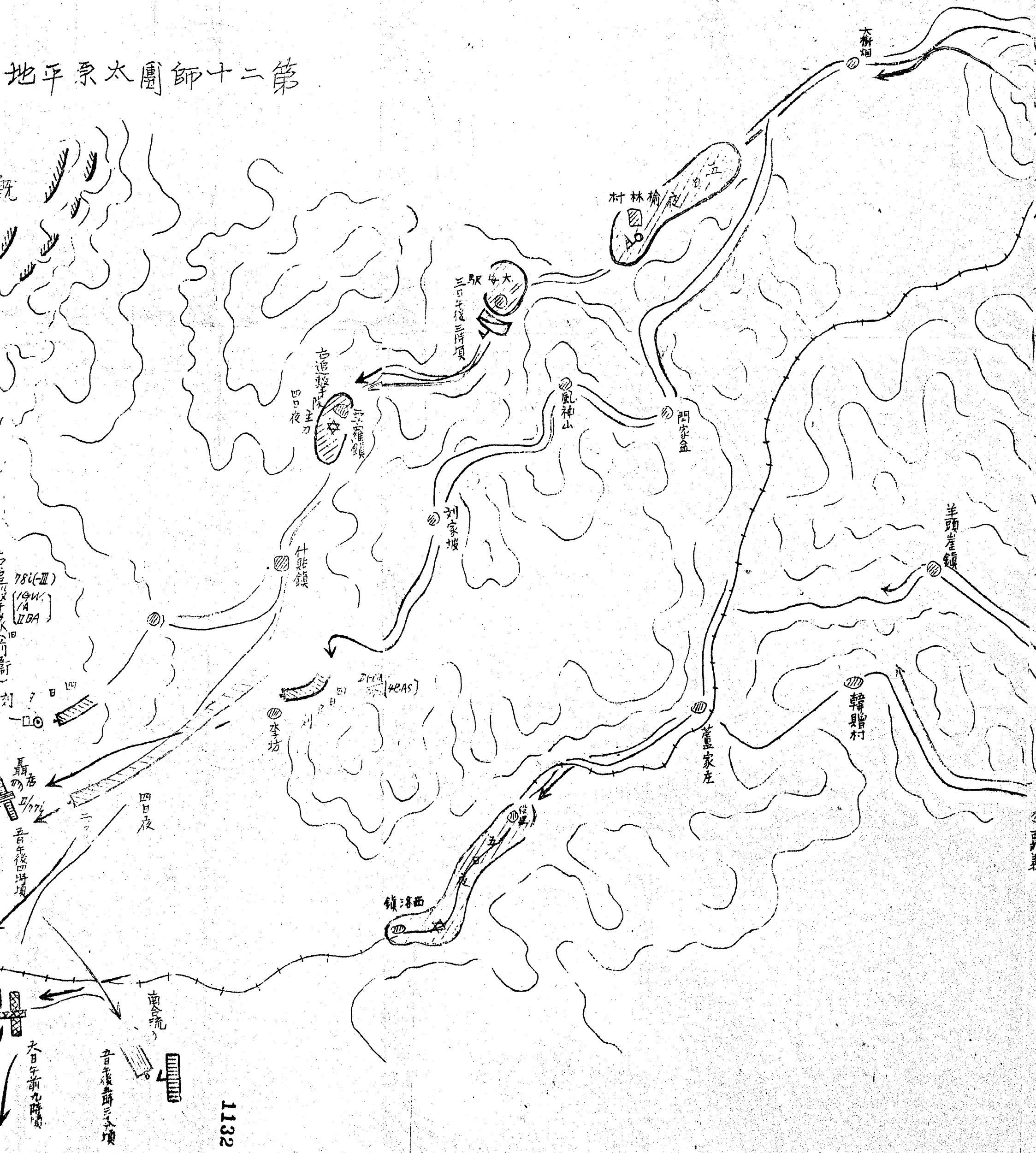
# 分割撮影ターゲット

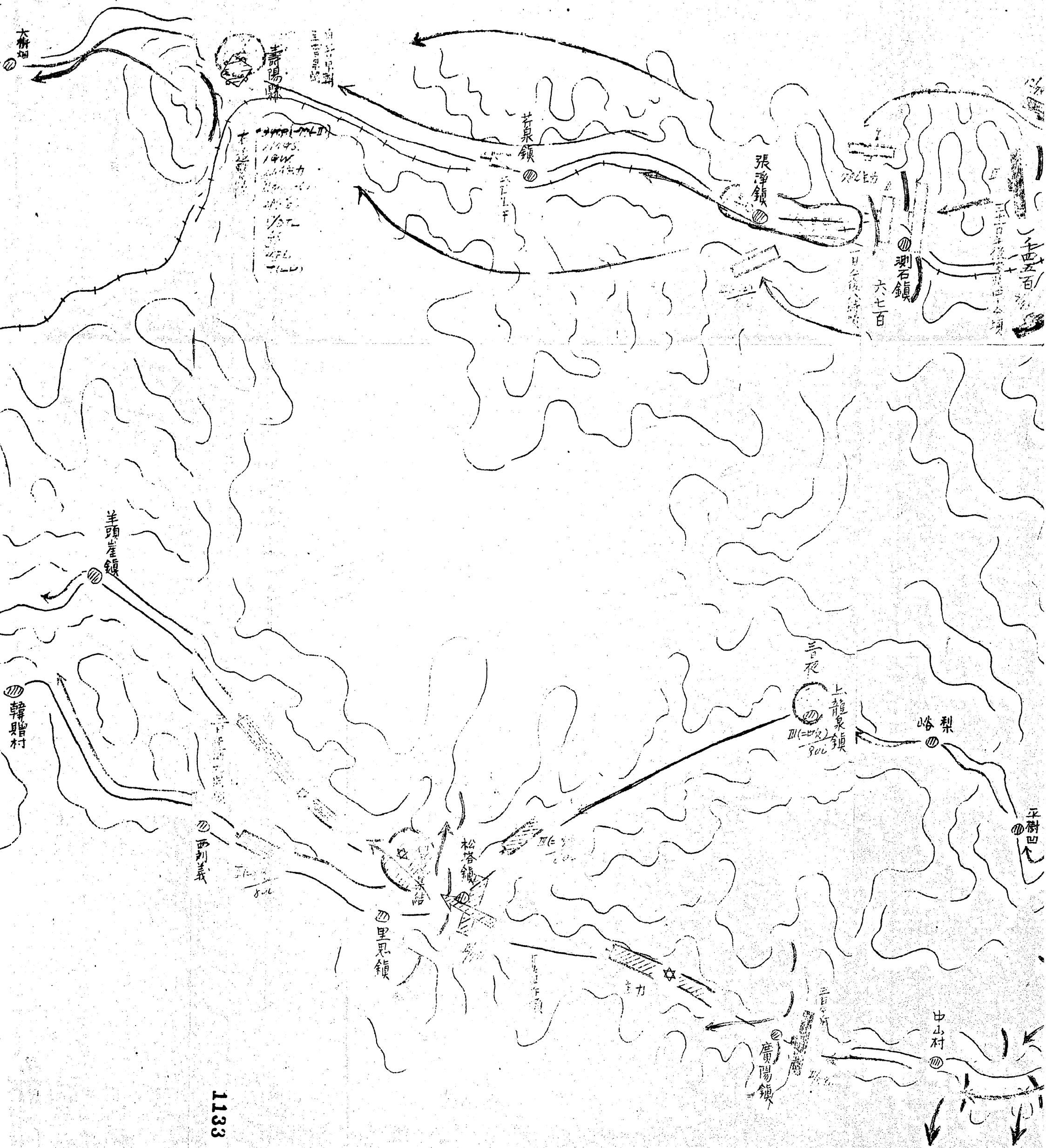
|                                                                                                                                                                       |                                                                                                        |   |   |   |   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|
| 分割した<br>部分の撮<br>影 順 序                                                                                                                                                 | <table border="1"><tr><td>4</td></tr><tr><td>3</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 3                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 2                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 1                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 分割撮影<br>した<br>理 由                                                                                                                                                     | A 3 判以上のため                                                                                             |   |   |   |   |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 坂根嘉和 </p> |                                                                                                        |   |   |   |   |

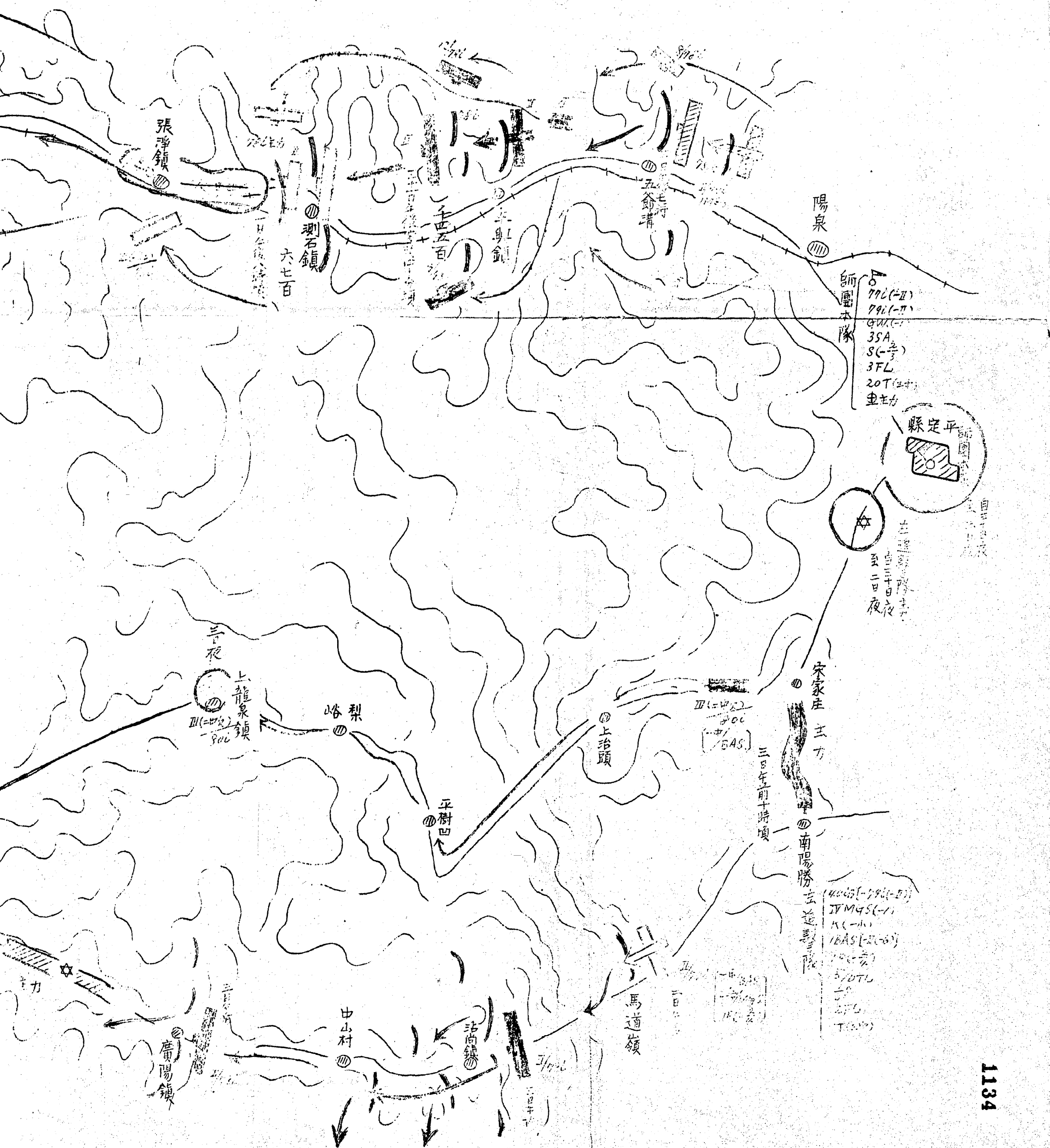
平原地攻略戰戰關經過要圖(自十一月十一日至十一月十六日)



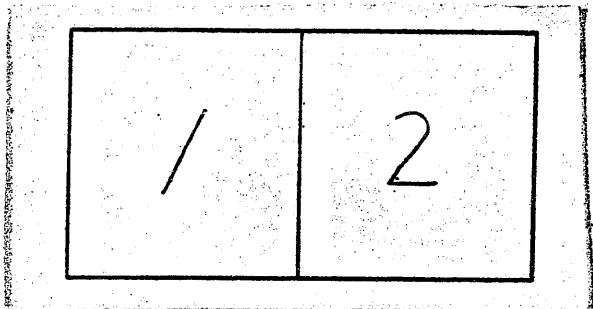
地平系太團師十二第





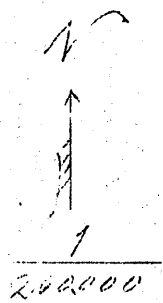


# 分割撮影ターゲット

|                                                                                                                                                                       |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 分割した<br>部分の撮<br>影 順 序                                                                                                                                                 |  |
| 分割撮影<br>した<br>理 由                                                                                                                                                     | A 3 判以上のため                                                                         |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 坂根嘉和 </p> |                                                                                    |

# 三其圖要過經闘戰戰略攻地平原太園師十二第

(日二十月一十至日六月一十自)



一月八日  
師團八〇〇、太原城攻撃三回、  
スリ、太原城、城壁、城門、  
退却スル敵、歩哨、斥候、  
又、汾河兩岸に於て、敵、  
約五百捕虜二百ナリ

自二月六日夜  
至二月七日

六日夜  
去追撃手隊

六日午前九時頃  
去追撃手隊

七日午後三時頃  
去追撃手隊

七日夜  
去追撃手隊

八日夜  
去追撃手隊

九日夜  
去追撃手隊

十日夜  
去追撃手隊

十一日夜  
去追撃手隊

十二日夜  
去追撃手隊

十三日夜  
去追撃手隊

十四日夜  
去追撃手隊

十五日夜  
去追撃手隊

十六日夜  
去追撃手隊

十七日夜  
去追撃手隊

十八日夜  
去追撃手隊

十九日夜  
去追撃手隊

二十日夜  
去追撃手隊

二十一日夜  
去追撃手隊

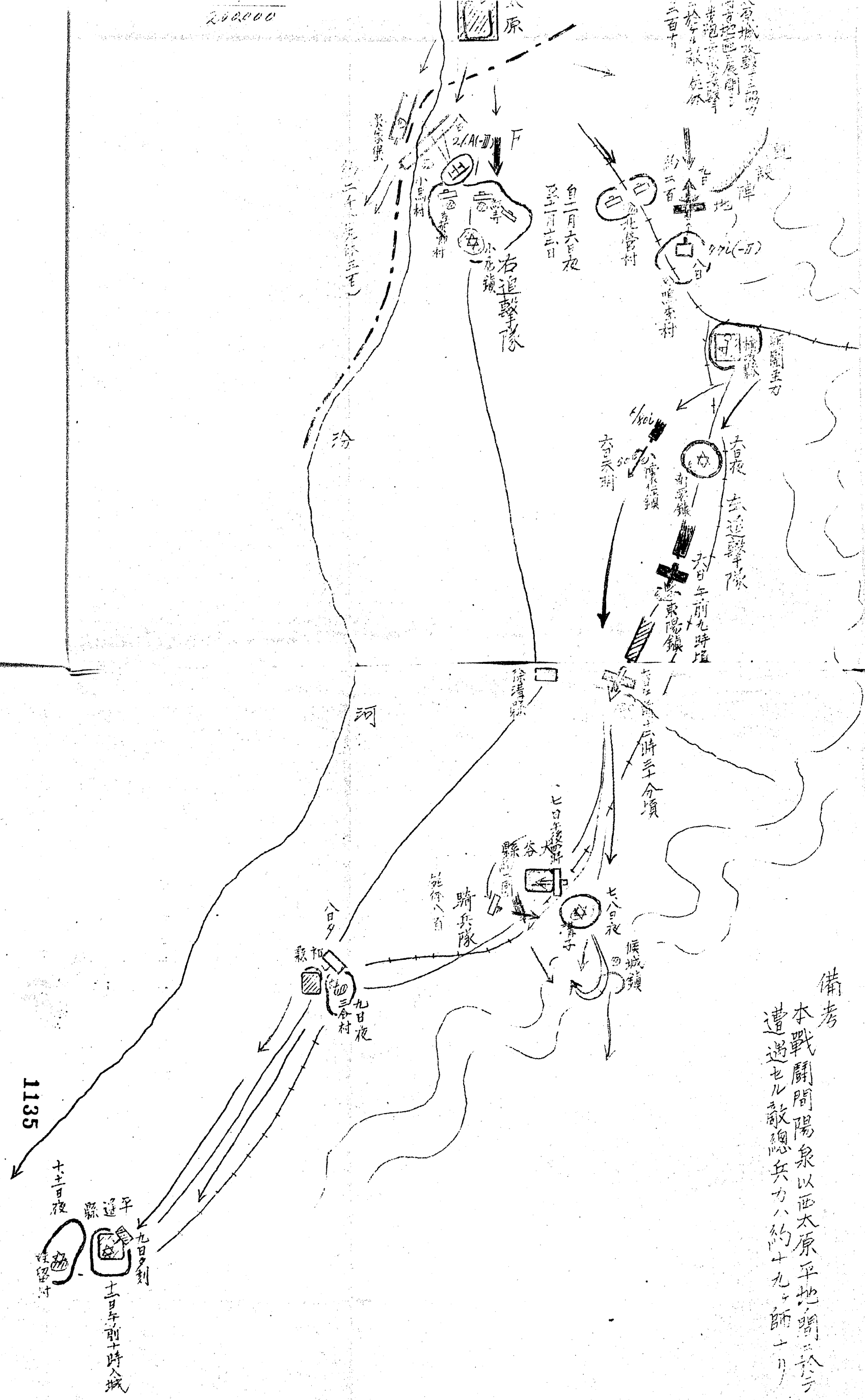
二十二日夜  
去追撃手隊

二十三日夜  
去追撃手隊

二十四日夜  
去追撃手隊

|     |
|-----|
| ノ   |
| 二   |
| 三   |
| 四   |
| 五   |
| 六   |
| 七   |
| 八   |
| 九   |
| 十   |
| 十一  |
| 十二  |
| 十三  |
| 十四  |
| 十五  |
| 十六  |
| 十七  |
| 十八  |
| 十九  |
| 二十  |
| 二十一 |
| 二十二 |
| 二十三 |
| 二十四 |
| 二十五 |
| 二十六 |
| 二十七 |
| 二十八 |
| 二十九 |
| 三十  |

備考  
本戦闘間陽泉以西太原平地  
遭遇セル敵總兵力ハ約十九



|   |
|---|
| ノ |
| 二 |
| 三 |
| 四 |
| 五 |
| 六 |
| 七 |
| 八 |
| 九 |
| 十 |

備考  
本戦間陽泉以西太原平地間三  
遭過セル敵總兵力約十九師ナリ

6  
井下  
大  
三

1135

1136

自昭和十二年十月二十日  
至昭和十二年十一月九日

娘子關附近ノ戰闘  
太原平地ノ攻略戰  
戰闘要報

第二十師團

## 目次

## 第一、戰闘經過ノ概要

其二、戰闘前ノ一般ノ態勢

其三、井陘附近ヲ陽泉平地迄ノ作戰（以下附圖其一參照）

一、師團ノ戰闘指道

二、右側支隊（右縱隊）ノ井陘、舊關及娘子關附近ノ戰闘

三、步兵第八十聯隊第一大隊ノ校枕園南側高地ノ戰闘

四、右縱隊ノ東回鎮、松溝村附近ノ迂回戰闘

五、右縱隊（右追擊隊）ノ舊關及娘子關ヨリ陽泉へ

## 追擊戰闘

六、右縱隊（右追擊隊）ノ平定ニ向フ追擊戰闘

七、平定附近敵ノ抗戰

其三、陽泉平地ヨリ太原平地迄ノ作戰（以下附圖其二其三、參照）

一、師團ノ戰闘指道

- ニ 右追撃隊ノ追撃戦闘
- 三 左追撃隊ノ追撃戦闘
- 四 騎兵隊ノ追撃戦闘

第二、彼我損害ノ概要

其一、敵ニ與ヘタル損害

其二、我 損害

其三、押収品

第三、敵ノ兵力、團隊號、素質、及敵將帥ノ退却

其一、娘子關附近ニテ交戦セシ敵

其二、太原平地ニテ交戦セシ敵

其三、敵將帥ノ退却

第四、其他 重要ナル所見

附録 後方關係事項

娘子關附近ノ戰闘要報（自昭和十二年十月三日  
至昭和十二年十月九日）

太原平地ノ攻略戰

一、戰闘經過ノ概況

一師團ハ十月十日萍沱河ノ渡河戰闘直後主力ヲ以テ十二日石家莊南方高遷村附近ニ進出シテ平漢線方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ有カナル一部ヲ右側支隊正太鐵道ニ沿フ道路ヲ太原方向ニ追撃シ或ルヘク遠ク該鐵道ヲ確保シ以テ第五師團ノ太原攻略ニ策應セントセリ

二師團主力ハ十四日高遷村ヨリ更ニ枕頭（石家莊西南約一里）附近ニ移動ヲ行ヒ右側支隊ヲ支援スルト共ニ全般ノ狀況ヲ判斷シ命令一下何時ニテモ全カヲ舉ゲテ太原方向ニ作戰シ得ル準備ヲ整

ヘタリ

三 右側支隊ハ嶮難ナル山地ヲ突破シ敗敵ヲ撃破シ  
ツツ晝夜兼行追撃ヲ續行シテ十日山西通路  
ノ咽喉部井陘附近ニ進出ス

四 河北山西ノ省境太行山脉ハ奥行四、五十里ニ亘リ大  
洋ノ波濤ノ如ク峻山連亘シ山西通路ニ所謂天下三  
關ノ一娘子關ヲ名メ舊關、新關ノ鎖鑰アリ

山西ハ民國元年以來閻錫山ヲ領袖ト仰キ近時  
ニ保境安民即一所謂山西モンロー主義ヲ標榜シ  
此天嶮ノ岩山ニ洞窟式國境築城ヲ每々施シ其  
骨幹ハ既ニ竣工其員數千個ニ及ヒ省境一帯  
一大要塞地ニ成心アリ如フルニ事變又以來十數ヶ師ノ  
龐大ナル兵力ヲ配置シ又假備築城ヲ施シ以テ其  
防備ヲ嚴重ニシツツアリ

基井陘附近ヨリ陽泉平地迄ノ作戰

一師團ノ戰闘指導(以下要圖第一參照)

一山西作戰事ノ準備

師團ハ十月十四日石家莊西南方地區ニ集結後將來有カナル一部又ハ師團全カヲ以テ山西作戰ノ任務ヲ命セラルルアルヘキヲ顧慮シ諸般ノ研究準備ヲ爲ストコロアリ

即娘子關附近迄其以西ノ敵陣地極メテ堅固ニシテ地形交通亦嶮難ナル爲編成裝備ニ改變又ラ加ヘ又補給上特別ノ處置ヲ必要トセリ

仍テ十五日各部隊長ヲ招集シテ各隊ノナスヘキ準備ニ就キ所要ノ指示ヲナシ翌十六日幕僚部長會報ヲ開キ師團現下ノ作戰準備並山西作戰ニ就キ具體的研究ヲナセリ

次テ十六日ヨリ十九日ニ至ル間諸準備ヲ整フル  
ト共ニ參謀ヲ右側支隊ニ派遣シテ所要ノ偵察  
ヲナサシメタリ

次テ十九日師團全カヲ以テ陽泉平地ヲ攻略スヘ  
キ軍命令ニ接スルヤ豫テ準備スルトコロニ依リ  
直ニ諸準備ヲ完成シ又右縱隊長ヲレテ師  
團命令ニ基ク行動腹案ヲ未メ連絡ヲ密ニシ  
茲ニ必勝ノ信念ニ滿チ勇躍前進ヲ開始セリ

只石家莊西側地區ニ在リシ師團ハ右側支隊カ十月  
十二日朝井陘附近ノ敵五、六百ヲ撃破シ進路兩側  
高地一帯ノ殘敵ニハ一部ヲ當テ主力ハ穿母貝的ニ  
深ク敵中ニ突入シ十三日其主力ハ舊關附近ニ一  
部ハ地都附近ニ進出シ優勢カナル敵ト激戰中  
ナル報告ニ接スルヤ十四日夜直ニ步七八第三大隊

追撃第三大隊本部及一中隊並山砲二中隊ヲ又十六日輕裝甲車中隊、衛生隊本部及三分一防夜給水班ノ一部ヲ増加配屬シ以テ戰鬪、進歩ヲ企圖セシム

次テ軍命令ニ基キ師團ハ右側支隊ヲシテ積極的ニ第五師團ノ太原攻略ニ策應スル目的ヲ以テ當面ノ敵ヲ擊破シ先ツ速ニ陽泉平地ニ向ヒ進出セシムルニ決シ步兵第七十八聯隊主力、野砲兵第四大隊、獨立山砲兵第一聯隊本部及二中隊、追撃一中隊、工兵一中隊（一小隊々）通信隊ノ一部並輜重兵一中隊ヲ十七日出發同支隊ニ増加配屬スルハ十九日ニ至リ師團ハ軍命令ニ基キ全カヲ以テ先ツ娘子關附近長城線ノ敵ヲ擊滅シ一舉平陽泉平地ヲ攻略スルニ決ス之ヲ爲山地戰ノ特性、敵ノ

素質、慣用戦法、敵陣地ノ設備並其配備等ニ鑑  
ミ正太鐵道方面ニ於テハ努メテ敵ノ右翼ヲ包圍  
セシメ新ニ派遣スル右縱隊ハ現在敵ノ防備完カ  
ラサルニ乘リ遠ク七百村方面ヨリ一舉敵ノ右側  
背ニ迂回シテ其退路ヲ遮斷シ以テ徹底殲  
翼包圍ニ依リテ之ヲ殲滅センアトヲ期シ二十日  
右側支隊ヲ以テ右縱隊(39LB)  
1LPW  
26A(40)  
I(-40)  
3SA  
10A(-7)  
-H(-13)  
20P  
傳勝/0  
DTL(+)  
DLT(-)

トシ主トシテ井陘一新關石門口道方面及  
其以北ノ敵ヲ攻撃セシメ又右縱隊(40LB)  
f-80(40)  
西MGs  
(中)  
中  
EGHV  
4P  
傳勝/0

村ノ線ヲ出發シ石家莊一獲鹿一微水鎮一北秀村  
一南障城一測渙鎮一石門口道ニ沿フ地區ヲ  
當面ノ敵ヲ撃破シツ右縱隊正面ノ敵ノ北背後ニ  
進出シ同縱隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムヘキ部署ヲ

爲シ師團司令部ハ二十一日井陘ニ前進ス

ニ爾後右縦隊ハ舊右側支隊兩側ノ敵ヲ排撃スル  
爲引續キ莊頭西南方高地及校枕園西北方  
高地ノ敵ヲ攻撃シテ逐次敵陣地ヲ攻略シ二十  
二日豫備隊タル歩兵第八聯隊ニ命シ歩兵一中  
隊ヲ以テ長生口、校枕園間ノ諸部落ニ配置シテ  
舊關、井陘道ノ交通ヲ掩護シ又約一大隊(五個)  
ヲ以テ右縦隊ト連繫シ輕榴大隊協カノ下ニ  
長生口東南方高地ヨリ校枕園南方高地一帯  
ニ互ル敵ヲ攻撃シ二十四日激戰ノ後校枕園東  
南方一〇六六高地ヲ奪取シ此間右縦隊主力ハ  
逐次其正面ノ敵ノ右翼ヲ包圍シソソト城線ニ  
近迫セリ

ホ、右縦隊ハ十月二十一日石家莊附近出發以來地形

嶮峻ニシテ補給亦極メニ困難ナリシニモ拘ラス  
有ル艱苦ヲ克服シテ銳意前進ヲ繼續シ途  
中屢々敵ヲ奇襲シテ之ニタタ大ノ損害ヲ與ヘツツ  
勇躍敵ノ退路遮斷ノ任務ニ邁進セリ

特ニ二十六日午後木曾及松溝村附近ニ於テハ  
約ニ師ノ敵ヲ撃滅シテ之ニ甚大ノ損害(遺棄  
死體三千ヲ下ラス)ヲ與ヘ全ク娘子關附近敵主力  
ノ背後ニ進出シ右縱隊ノ行動ト相俟テ師團ノ企  
圖スル大包圍戰ノ成果ヲ完フセリ

師團ハ本戰闘間無線ヲ以テ適時其戰闘ヲ指  
導シ右縱隊亦克ク師團ノ企圖ニ邁進シ機宜  
ニ適スル行動シナセリ

ヘ師團司令部ハ二十六日井陘西方高地ニテ戰闘ヲ  
指導シ午後二時井陘出發戰闘司令部ヲ校枕園

ニ推進ス

ト、二十六日朝來娘子關方面ニ於テハ全線攻撃ヲ開始シ特ニ敵陣地ノ右翼ヲ包圍シテ一舉ニ之ヲ攻略シ爾後機ヲ失セズ鐵道線路及其以北ノ地區ヨリ敵ノ退路ヲ遮斷スル如ク追撃シ舊關方面ニ於テハ二十七日天明後絶大ノ努力ヲ以テ陣地ヲ占領セル砲兵主力(26A(1) 26A)ノ震駭的制壓射撃ノ下ニ全線攻撃ヲ開始シ長城線敵陣地ヲ攻略スルヤ第一線ハ直ニ追撃ニ移レリ

六是ヨリ先ツ師團ハ兩縱隊ノ包圍攻撃ヲ順調ニ進捗シ特ニ右縱隊ハ破竹ノ勢ヲ以テ敵ノ北月後ニ殺到シツツアリテ敵主力ヲ戰場附近ニ於テ捕捉スルノ好機ニ乘リ戰場附近ノ包圍的追撃ヲ命スルト共ニ爾後一舉ニ太原平地ニ向ヒ急追スル

ユ

ニ決シ二十七日午後七時之ニ關スル命令ヲ下達ス  
 即右縱隊ノ右追撃隊トナリ概ネ鐵道以北ノ地區ヲ先ツ陽泉平地ニ向ヒ敵ヲ急追シ特ニ一部ヲ以テ新關方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷セシメ又歩兵第七十七聯隊主力及迫撃隊第三大隊主力ハ柏井驛ニ向ヒ敵ヲ急追シタル後同地附近ニ兵カヲ集結シテ師團本隊第二梯團トナリ第一梯團ノ後方ヲ平定ニ向ヒ前進セシメ右縱隊ハ右追撃隊トナリ本夜ヲ續キ主力ヲ以テ柏井驛方面ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮斷シ爾後追撃ニ方リテ先ツ主力ヲ以テ平定ニ向ヒ一部ヲ以テ張庄鎮附近ニ向ヒ敵ヲ急追セシム  
 又騎兵隊ヲシテ鐵道ニ沿フ地區ヲ壽陽ニ向ヒ敵ヲ急追シ特ニ壽陽、松塔鎮及馬坊鎮ニ向

ノ敵ヲ搜索セシメ細川砲兵隊主カヲレテ第一線ノ  
 新關附近突破後師團本隊第三梯團トナリ  
 平定ニ向ヒ前進セシメ高橋砲兵隊ヲレテ師團  
 本隊第四梯團トナリ逐次平定ニ向ヒ追及セシ  
 メ工兵隊ヲレテ主カヲ以テ右追撃隊ノ進路ヲ  
 補修シ一部ヲ以テ細川砲兵隊ノ前進ヲ掩護セ  
 シム

以テ斯クテ右追撃隊ハ極力敵ヲ急追シ二十七日夕  
 刻頃其一部ヲ以テ巨城鎮西北方高地ノ敵ヲ  
 主カヲ以テ上殿石石村西方高地ノ敵ヲ撃破シ右  
 追撃隊ハ二十六日ノ殲滅戦ニ引續キ二十七日ダ  
 主カヲ以テ小橋堡附近ニ進出シ石門口南方地區  
 ノ敵ニ對シ夜間攻撃ヲ續行シテ之ヲ撃滅セリ  
 ヌ茲ニ於テ師團ハ軍命令ニ基キ陽泉平地ヲ攻略

★

セハ所要ノ彈藥、糧秣ヲ補給シ爾後直ニ太原平地ニ向ヒ追撃ヲ續行スルニ決シ二十八日午前八時柏井驛ニ於テ之ニ關スル命令ヲ下達ス即右追撃隊ヲレテ追撃ノ進捗ニ伴ヒ主カヲ陽泉附近ニ集結シテ爾後ノ追撃ヲ準備シ特ニ歩兵一大隊ヲ基幹トスル部隊ヲ即時辛興鎮附近ニ向ヒ追撃セシメ右追撃隊ヲレテ主カヲ平定附近ニ集結シ爾後ノ追撃ヲ準備シ特ニ歩兵約一大隊ヲ基幹トスル部隊ヲレテ機ヲ矢セス馬道鎮ニ向ヒ追撃シ同地ヲ確保セシム

右追撃隊ハ二十八日午後以來上庄西側高地ヨリ西郊村南側高地ニ至リ陣地ヲ占領セル約一師半ノ敵ヲ攻撃中ナリシヲ以テ師團ハ之ニ步兵第八十聯隊主カヲ増加シテ其攻撃ヲ促進シ二十

九日早朝舊關以西長距離ノ難路ヲ踏破追  
及セル細川砲兵隊ノ主力ヲシテ緊密ニ其攻撃  
ニ協力セシム更ニ同日午後平定南方地區ヲ西  
方ニ退却中ナル敵ノ大縱隊ヲ猛射シテ殲滅的  
打撃ヲ與ヘシメタリ

同日午後二時三十分頃斯ル追撃隊ハ敵ヲ  
撃破シツツ平定ニ入城ス

本此間右追撃隊ハ二十八日午後ヨリ亂柳村附近  
ノ有力ナル敵ヲ攻撃シ次テ二十九日午後以來楊  
家庄南側高地ヨリ白羊野至ニ互ル間ノ敵ヲ攻撃  
中ナルヲ知リ師團ハ二十九日夕右追撃隊ニ對シ  
平定附近ニ其主力ヲ集結スルト共ニ有力ナ  
ル一部ヲ陽泉方面ニ派遣シ右追撃隊正面ノ  
敵ノ退路ヲ遮斷シ併セテ敵ヲシテ陽泉附近

既設陣地ニ據ラシメサル如ク行動セシム

然ルニ右追撃隊方面ニアリテハ爾後ノ追撃一大ニ  
進捗シ三十日午前十時頃既ニ陽泉ヲ占領セシ  
ヲ以テ右追撃隊ヨリ陽泉方面ニ向ヒ追撃セ  
シ部隊ハ途中~~中~~平定ニ歸還セリ

只師團司令部ハ二十八日石門口ニ、二十九日午前  
西郊村ニ、同夕東溝村ニ進出シ適時師團全  
般ノ戦闘ヲ指導シ三十日平定ニ入城ス

又此日畏クモ侍從武官四手井大佐ヲ平定ニ差遣セ  
シレ優渥ナル 聖旨及令旨ヲ傳達セシレ團  
下ノ將兵齊シク恐懼感激措クトコロヲ知ラス  
益々奮勵努力以テ 聖旨ニ副ヒ奉ランヲ期セリ  
且同武官ハ戦場ノ景況ヲ親シク毎旦視セ  
シレタリ

二右側支隊(右縱隊)ノ井陘、白關及娘子関附近ノ戰

闘

一井陘附近ノ戰闘(自十月十三日)

右側支隊

(39/B (-782))

1/IVMAS

1/IIQW

K-1小

II(BAS)

2(2)20P

3S

六濤陀河

渡河後敵ヲ南方ニ急追シ十月十一日夜其左

追撃隊(鯉登大佐ノ指揮スル

774I)

1/IIQW

BA

P-1)

ヲ以テ井陘東側地區ニ其他ヲ以テ鳳山(井陘

北方約四料)附近ニ進出シ井陘及其附近ノ敵

情地形ヲ偵察シ攻撃ノ準備ヲ爲シツツア

リシカ十二日午前六時稍前ヨリ攻撃ヲ開始

シ午前六時半頃井陘城ノ敵ヲ同七時半頃

南井沟(井陘北方一料半)西方高地ノ敵ヲ

撃破シ之ヲ占領セリ

支隊長ハ午前九時三十分左追撃隊(騎兵

一小ヲ増加ス)ヲシテ井陘―田關道ヲ太原方  
 向ニ右追撃手隊(羽鳥中佐ノ指揮スル<sup>此</sup>BA  
 一小隊)ヲシテ正太鐵道ニ沿ヒ太原方向ニ追  
 撃セシム

右命令ニ基キ左追撃手隊ハ田關ニ向ヒ追撃  
 シ途中井陘東南方高地ヲ占領シテ頑強  
 ニ抵抗スル敵ヲ山砲ノ密接ナル協力ノ下ニ力  
 攻シ午後四時三十分頃遂ニ之ヲ撃滅シ引續  
 キ追撃ニ移レリ右追撃手隊ハ井陘西南側高  
 地ノ敵陣地ニ對シ明十三日拂曉攻撃ノ爲  
 準備ヲ進メツツアリシカ敵陣地堅固(未完成  
 ナルモ多數ノ「トーチカ」陣地ヲ有ス)ニシテ晝間  
 攻撃困難ナリシヲ以テ十三日薄暮ヲ利用シ  
 攻撃スルニ決シ午後六時頃ヨリ攻撃手ヲ開

始ス

我山砲、迫撃手砲等ノ有效適切ナル協力ノ下ニ發煙筒ヲ巧ニ使用シツツ漸次肉迫シ午後七時頃ヨリ同九時半頃ニ至ル間ニ於テ雪花山寺ノ高地及其南方ニツノ高地ヲ奪取セリ敵ハ同日夜半南關方面ニ逆襲シ來リシモ之ヲ撃退セリ

口 旧關附近ノ戰鬪（至十月十三日）

左追撃隊（鯉登大佐歩セセノ主カ）ハ十月十三日午前六時長生ロヲ出發シ途中兩側高地ノ既設陣地ニ據ル敵ノ抵抗ヲ排除シツツ一意追撃ヲ敢行シ午前十時旧關ニ達シ同地ニ休憩中ノ大部隊ヲ奇襲シ之ニ甚大ナル打撃ヲ與ヘ同地ヲ占領セリ

然レ共旧關四周一帶、高地ニハ依然優勢ナル敵アリテ彼我對峙、儘日没トナル

是ヨリ先午後三時半頃左追撃隊長ハ右追撃隊正面ノ敵ノ背後ヲ衝キ其退路ヲ遮斷スル目的ヲ以テ<sup>山砲一小隊ヲ附シ之</sup>ヲ地都（旧關北方約四料）方向ニ派遣セリ

十四日左追撃隊ハ前面ノ敵ヲ撃破シテ新關ニ向ハントセシモ四周ノ敵ハ漸次活氣ヲ呈シ其兵力亦増加シツツアリシヲ以テ左追撃隊長ハ先ツ四周ノ要點ヲ確保シ爾後ノ攻撃ノ據點タラシムルヲ有利ナリト判斷シ第二大隊ノ主力ヲ以テ旧關南方高地一帯ノ敵ヲ攻撃シ激戦ノ後之ヲ占領セリ

支隊長ハ午後二時旧關及地都ノ方面共ニ

激戰中ナル狀況ヲ知り午後六時エシノニ中  
隊ヲ旧關へ増派セリ

十五日旧關一帶ノ敵ハ益々増加シ其勢侮ルヘ  
カラサルモ、アリ殊ニ晝夜ノ別ナク亂射スル  
敵ノ迫撃砲彈ハ旧關城内ニ集中ス

左追撃隊長ハ新ニ増加セラレタル第一第  
十二中隊及獨立機關銃中隊ヲ以テ旧關北  
側高地ノ敵ヲ攻撃シ之ヲ占領スルニ及ビ初  
メテ地都方面ノ第三大隊ト連絡スルコトヲ  
得タリ

支隊長ハ旧關救援ノ爲殘余ノ兵カヲ率ヒ  
十五日午前十一時井陘出發先ツ校桃園ニ到  
ル

十六日左追撃隊ハ第八中隊ヲ以テ山砲ノ協力

下ニ旧關西側三角山ヲ攻撃シ激戰、後之ヲ  
占領セリ而シテ當時井陘ヨリ來著セル第一  
大隊主カハ校桃園西北側高地ノ敵ヲ攻撃  
シテ之ヲ奪取シ始メテ支隊司令部ト連絡ス  
ルヲ得タリ

同夜旧關四周ヨリ執拗ナル敵ノ逆襲ヲ受ケ  
タルモ悉ク之ヲ撃退シ十七日又復晝夜數次  
ニ亘リ反覆セル敵ノ逆襲ヲ受ケタルモ是亦我  
將兵ノ奮戰ニ依リ何レモ撃退セリ

支隊長ハ直轄部隊ヲ以テ井陘西側ノ敵ヲ驅  
逐シ鐵道線路ニ沿フ地區ヲ領有スルヲ緊要  
トナシ十七日午後三時校桃園出發井陘ニ歸  
還セリ

旧關西側ノ壽山ハ旧關ヲ瞰制スル高地ニシ

テ將來攻撃ノ據點トシテ丹ニ有利ナル地點ナルヲ以テ左追撃隊長ハ十八日第五中隊（二小隊）ヲシテ攻撃セシメ激戦ノ後之ヲ占領セリ第一大隊ハ逐次校挑園附近道路兩側高地ノ敵ヲ撃滅シ後方トノ交通路ヲ安全ナラシメタリ

爾後左追撃隊ハ十月二十六日ニ至ル間連日連夜優勢ナル敵ト交戦シ且執拗ナル逆襲ヲ撃破シカフルニ折柄ノ寒氣ニ對シ夏服ヲ以テ耐ヘ且給養ノ極メテ粗惡ヲ忍ビ毅然トシテ難局ヲ打開シ師團爾後ノ攻撃手ノ爲確乎タル地歩ヲ獲得セリ

是ヨリ先右側支隊ハ十月二十日師團命令ニ依リ右縱隊（391B / IV MB 3 / LPWS (一中) / 264 (一中) / II 35A / 1BAS (一中) / 20P K (十騎)）ニ

（約）トナリ井陘―新關―石門口道方面及其以北ノ敵ヲ攻撃スルコトナレリ

ハ地頭附近ノ戦闘（自十月十三日  
至十月十五日）

井陘西側地區ニ於テ攻撃中ノ羽鳥大隊（ $\frac{1}{2}$ 旅）正面ノ敵ノ退路ヲ遮斷スヘク十月十三日午後旧關ヨリ地頭方面ニ派遣セラレタル歩セセノ第三大隊（一中ヲ欠キBA一ホヲ附ス）ハ十三日夜地頭南方高地ノ敵陣地ヲ夜襲シテ之ヲ占領シ翌十四日拂曉更ニ地頭西南側城壁ヲ突破シ鐵道線路ニ進出シテ之ヲ遮斷セリ然ルニ極メテ優勢ナル敵ハ四辺ノ高地ヨリ我ニ對シ積極的行動ニ出テ大隊長以下奮戦力闘大ニ努メタルモ時間ノ經過ト共ニ死傷續出スルノ狀況ナリシヲ以テ大隊長ハ地形ノ不利ヨリ

脱却スルノ必要ヲ認メ主カヲ指揮シ一方面、敵ヲ突破シテ十五日午後四時頃旧關ニ歸還セリ

ニ井陘西側高地ヨリ省境迄、戦闘（自十月十九日  
至十月二十三日）

右側支隊長ハ十月十八日歩兵第七十八聯隊長ノ指揮スル部隊（ $282$ （中隊） $246W$ （中隊） $184S$ （中隊） $87L$ （分隊））ヲ以テ鐵道線路北側地區、敵ヲ攻撃シテ娘子關方面ニ前進シ併セテ鯉登部隊右翼方向ニアル敵ヲ攻撃スヘキヲ命シ次テ輕装甲車中隊ヲ其指揮ニ入レ又 $264$ ノ一中隊ハ之ヲ旧關方面ニ前進セシメ歩兵第七十七聯隊長ノ指揮ヲ受ケシメ其他ノ主力ハ十九日井陘西方高地ノ攻撃ニ協力スヘク命セリ

步七ハ十月十九日午前三時ヨリ行動ヲ開

一ニ

始シ午前五時三十分迄ニ主カヲ以テ正太線以北  
 ノ地區ニ一部ヲ以テ同以南ノ地區ニ攻撃ヲ準備  
 シ午前五時三十分砲飛、緊密ナル協力、下  
 ニ攻撃ヲ前進ヲ開始シ其右第一線ハ午前八時  
 三十分先ッ蔡莊北方高地一帯、敵ヲ撃破シ  
 續テ莊頭東北方高地ニ對シ攻撃ヲ續行シ  
 左第一線ハ午後一時三十分郝象台西南側高  
 地ヲ占領シ次テ其西南方高地ノ敵ヲ攻撃ス  
 斷ラシテ同日夜第一線ヲ以テ概ネ之ヲ占領  
 南北ノ線ニ進出セリ而シテ同夜新高山（井陘  
 西北方八料ノ高峰ニシテ攻撃部隊之ヲ新高山  
 ト稱セリ）ノ敵ニ對シテハ屢次夜襲ヲ敢行セ  
 ルモ敵ノ抵抗頑強ニシテ之ヲ奪取スルニ至ラス  
 シテ翌拂曉トナル

二十日天明ト共ニ再ヒ砲飛、協力ノ下ニ一意カ  
攻シ攻撃部隊ノ創意ニ基ク奇襲戰法效ヲ  
奏シ夜半頃遂ニ新高山一帯ヲ占領シ左第一  
線タル第一大隊モ亦午後七時稍々前大龍窩  
北方高地ヲ完全ニ占領セリ

歩セ八ハ三十一日右縱隊命令ニ基キ線路以北  
ノ地區ヨリ敵ヲ攻撃スル爲第一大隊ヲ莊頭ニ  
轉進セシメ又第三大隊ヲシテ北峪西方稜線ヲ  
奪取セシメ莊頭西方高地ノ敵ニ對スル明拂  
曉攻撃ヲ準備セシム

三十一日午前六時攻撃ヲ開始シ砲飛、效果ヲ  
利用シツツ逐次敵ヲ撃破シ午前十時乃至正午  
ノ間ニ省境線ノ山頂ヲ占領セリ

二十三日朝來攻撃ヲ續行シ張家峪西北方高

地及標高七六三高地ヲ奪取シ爾後現陣地ヲ  
確保シテ部隊ヲ整頓シ次ノ攻撃ヲ準備スル  
コトトセリ

是ヨリ先十月十九日鯉登大佐ハ旧關方面ノ狀  
況急迫セルニ鑑ミ<sup>北</sup>786<sup>北</sup>GW一中<sup>北</sup>1BAS<sup>北</sup>ヲ獨五山砲兵  
第一聯隊長貴島中佐ヲシテ指揮セシメ校  
桃園北方高地ヲ攻撃中ノ<sup>北</sup>786<sup>北</sup>ノ右翼ニ連繫  
シ該高地ノ敵ヲ攻撃セシム

該隊ハ十月二十日午前十時三十分ヨリ攻撃ヲ  
開始セシモ戰況ノ進展意ノ如クナラス二十日  
再ヒ攻撃ヲ續行シ勇戰ノ結果敵ヲ正太  
線方向ニ驅逐シ午後八時稍過校桃園北  
方高地ヲ完全ニ占領シ<sup>北</sup>786<sup>北</sup>ト連絡スルコトヲ  
得タリ

ホ 娘子關附近ノ戰鬪（自十月二十四日  
至十月二十六日）

二十四日古縱隊長ハ師團ノ企圖ニ基キ且當  
敵陣地迄兩第一線ノ關係位置ニ鑑ミ當  
敵ノ左翼ヲ包圍席卷スル如ク企圖シ其右  
第一線ハ二十六日左第一線ハ二十七日ヨリ攻撃  
ヲ開始スルコトセリ

古第一線（~~28~~、主力~~10~~/~~26~~Aヲ基幹トス）ハ右ノ企圖  
ニ基キ二十六日午前二時ヨリ行動ヲ開始シ午  
前五時迄ニ敵ノ左翼ヲ包圍シ得ル如ク尖  
草窠、王家場ノ線（省境西側谷地）ニ展開シ  
午前六時三十分砲兵ノ猛烈ナル射撃ヲ開始ト  
共ニ攻撃手前進ヲ開始シ砲兵ノ密接ナル協カノ  
下ニ頑強ナル敵ヲ其左側背ヨリ包圍攻撃シ  
正午頃娘子關北方高地一帯ヲ占領シ午後一

時過娘子關ニ進出シ次テ右縦隊命令ニ基  
 キ第一大隊(2BAS P-ホヲ附ス)ヲ右側支隊トナシ更ニ  
 敵ノ左側背ヨリ其退路ヲ遮斷スル目的ヲ以テ  
 巨城鎮、下白泉ヲ經テ陽泉北方地區ニ追撃  
 セシヌ主力ハ娘子關ニ集結ノ後午後四時正  
 太線ニ沿フ地區ヲ陽泉ニ向ヒ追撃ヲ開始セリ  
 是ヨリ先右縦隊長ハ娘子關方面ノ敵退却ノ  
 徴アリ、旧關方面ノ戰況亦稍、靜穩ナリシヲ以テ  
 午後一時ニ十分機ヲ失セス主力ヲ以テ鐵道線路  
 ニ沿フ地區ヲ一部ヲ以テ巨城鎮、下白泉道方  
 面ヨリ陽泉ニ向ヒ敵ヲ追撃スルニ決シ之ニ關ス  
 ル命令ヲ下達セリ、同夜右縦隊ハ右追撃隊ト  
 ナリ師團當面ノ敵ヲ柏井驛北方地區ニ於テ捕  
 捉殲滅スル如ク鐵道以北ノ地區ヲ先ツ陽泉ニ

向ヒ敵ヲ急追スヘキ師團命令ヲ受領セリ  
 三、歩兵第八十聯隊第一大隊ノ校桃園南側高地ノ  
 戦闘

師團ハ井陘―旧關道ノ交通線確保ノ爲師團  
 豫備隊中ノ<sup>エ801</sup>ヲシテ二十三日午後校桃園南側一  
 帶ノ敵ヲ掃蕩セシム

然ルニ敵ハ意外ニ抵抗頑強ニシテ二十四日拂曉後  
 飛行機ノ爆撃ト榴**火**隊ノ適切ナル協力ノ下ニ  
 攻撃ヲ續行シ午後五時四十五分標高一〇六六高地  
 ヲ完全ニ占領シ茲ニ井陘―旧關道ノ交通ハ全ク  
 安全トナレリ

四、左縱隊ノ東回鎮、松溝村附近ノ迂回戦闘  
 一、東石門村附近ノ戦闘（十月二十三日）

## 左縱隊

401B  
 {801(-II)}  
 III(-中)MAS  
 六/IBAS  
 一中/IIIGW  
 P(-小)  
 傳騎10  
 DT(-中)  
 DT  
 1/3 S  
 2FL  
 四(-部)  
 DT(駄=中)  
 兵站輜重  
 (駄=中)

八十月

二十一日石家莊西方地區ヲ出發シ獲鹿縣、微水  
 鎮ヲ經テ前進シ同夜ハ南横口附近ニ宿營二十  
 二日步七九、主カヲ前衛トシ桃松溪——水河谷  
 道ヲ前進シ同夜七獅園以東ノ地區ニ宿營、二  
 十三日步兵第七十九聯隊第二大隊ノ主カヲ以テ  
 南障城出發固蘭村白灰村方向ヨリ左縱隊主  
 カノ作戰ヲ容易ナラシムル如ク行動セシメ、左  
 縱隊主カハ前兵ノ先頭ヲ以テ午前八時柿庄南  
 端ヲ出發シ嶮峻ナル難路ヲ踏破シ一意前進中  
 午後一時三十分前兵ノ先頭ヲ以テ測魚嶺東北方  
 高地ニ達セシ時、偶々西方ニ銃砲聲ヲ聞キ先  
 遣セシ中隊ノ排水嶺南北ノ高地線ニ在リテ同地

西方荒坡岩南方高地線ニ據レル約一營ノ敵ト  
 交戦中ナルヲ知り前衛司令官タル歩兵第七十  
 九聯隊長ハ直ニ前衛ヲシテ此敵ヲ攻撃セシム  
 當面ノ敵ハ其兵力約七八百ニシテ峻峻ナル山頂  
 ニ據リテ頑強ニ抵抗シ我攻撃ノ進捗意ノ如クナ  
 ラサリシモ奮戦ノ結果漸次敵ニ迫リテ第一線  
 部隊ハ果敢ナル突撃ヲ敢行シ遂ニ敵ヲ撃退シテ  
 東石門北方及南方高地一帯ヲ占領シ午後九時頃  
 東石門村以東ニ兵力ヲ集結ス  
 ロ七亘村附近ノ戦鬪(十月二十四日)

二十三日夜一部ノ兵力ヲ七亘村附近ニ派遣シテ敵  
 情地形ヲ搜索セシメ主力ハ二十四日午前七時前衛  
 ヲ以テ東石門村ヲ出發シ前進中午前九時七亘村  
 附近ニ於テ兵力未詳ノ敵七亘村西側高地一帯ヲ

線ニ陣地ヲ占領シアルヲ知リ前衛司令官ハ其山  
砲兵中隊ヲシテ七亘村東側ニ陣地ヲ占領セシム  
午前九時三十分第一線各隊ハ一齊ニ攻撃ヲ開始シ  
漸次敵陣ニ内迫ス敵ハ頑強ニ抵抗セシモ我歩砲火  
特ニ山砲ノ威力發揚セラルルニ及ビ多數ノ屍體ヲ  
遺棄シテ西方及南方ニ潰走セリ

別ニ昨二十三日東石門村東方地區ヨリ南方ニ迂回  
セシ歩七九ノ第十中隊ハ本二十四日午前一時七亘村  
ニ宿營シアリシ約一大隊ノ敵ニ對シ不意ヲ襲ヒ  
敵ハ周章狼狽殲滅的打撃ヲ受ケ殘敵ハ多數ノ  
屍體及武器彈藥等ヲ遺棄シテ東北方ニ潰走  
セリ

八木曾附近ノ戰鬪(十月二十五日)

引續キ急追撃ヲ敢行シ二十四日夕前衛ハ馬山村

附近ニ進出シ狼窩北方標高一二四七高地ヨリ尖長  
 嶺ヲ經テ水峪ニ至ル間ヲ占領シ攻撃準備中二十  
 五日朝ニ至リ敵ノ主力ハ胡家庄以南ニ在ルヲ知り直  
 ニ此敵ヲ攻撃スルニ決シ前兵ヲシテ馬山村——西回村  
 道ニ沿フ地區ヲ西回村附近ニ向ヒ第一大隊ヲシテ一  
 部ヲ以テ狼窩方向ヨリ主力ヲ以テ木曾方向ヨリ胡  
 家掌附近ノ敵ヲ攻撃シテ同地西側高地ニ向ヒ進出  
 セシム 午前十一時三十分木曾東南方高地ニ達セシ時  
 木曾南側高地、東回鎮西南及北方高地線一帯ニ  
 互リ約一師ノ敵數線ニ陣地ヲ占領シアルヲ知り直ニ主  
 カヲ以テ胡家掌方向ヨリ其西方高地ニ向ヒ攻撃前  
 進スルニ決ス 右縱隊長ハ馬ヲ馳セテ前衛司令官ノ  
 位置ニ急行シ同官ノ決心ヲ是認シ歩兵二中隊ヲ  
 其隸下ニ復歸セシムルト共ニ山砲大隊ヲ配屬ス

茲ニ於テ前衛司令官ハ第三大隊ヲシテ左第一線ト  
 爲シ本道以南ノ敵ニ對シ又第一大隊ヲシテ右第  
 一線トシ其主カヲ以テ胡家掌方向ヨリ其西側高地  
 ニ向ヒ攻撃ヲ前進セシメ山砲兵大隊ノ主カヲ以テ右  
 第一線ノ攻撃ヲ協力セシム左第一線方面ノ敵ハ頗  
 ル頑強ニシテ稜線ヲ隔ツル至近距離ニ於テ手榴彈  
 戰ヲ演シ遂ニハ石合戰ヲ交ヘ更ニ青龍ヲ振リ  
 翳シテ逆襲シ來リ茲ニ壯烈ナル白兵戰ヲ演スル  
 等戰鬪猛烈ヲ極メシモ我將兵ノ勇戰ニ依リ遂  
 ニ數倍ノ勁敵ヲ殆ント塵塵殺シテ其第一線ヲ奪ヒ  
 更ニ後方陣地ニ殺到シ右第一線又東回嶺北側高  
 地ノ敵ヲ擊破シ同日夕ニ及ヒ遂ニ西回村東方一帯  
 ノ高地及稜線ヲ占領シ前衛ノ主カハ青石板附  
 近ニ旅團司令部ハ小川附近ニ於テ夜ヲ徹ス

二 固蘭附近ノ戰鬪（自十月二十三日  
至十月二十五日）

山根大隊（~~1st~~ ~~92~~）八十月二十三日午後四時頃菜菜  
欄（固欄東北方四料）附近ニ達シ小回爲ヨリ生助  
嶺ニ互リ敵兵陣地ヲ占領シアルヲ目撃ス我ハ攻撃  
據點占領ノ爲夜間ニ回ニ互リ夜襲ヲ行ヒ頑強  
ニ抵抗スル敵ニ對シ接戰格闘ノ後奪取シ翌二十  
四日敵陣地ノ偵察ヲ行ヒ同夕刻ヨリ行動ヲ起シ  
概ネ午前四時頃迄ニ攻撃準備ヲ完了シテ二十五  
日拂曉攻撃ヲ行フ敵ハ我猛烈ナル攻撃ニ依リ遂  
ニ潰走シ固欄方向ニ退却セリ

ホ松溝村附近ノ戰鬪（十月二十六日）

左縱隊ハ二十五日木曾附近ニ於テ約一師ノ敵ヲ撃破  
シ同夜歩七九（~~294~~ ~~(中)~~ ~~BAS~~ ~~(中)~~ ~~MAS~~ ~~(中)~~ ~~PI~~ ~~(中)~~）ハ松溝村東側高地ヨリ東  
同鎮附近ニ豫備隊（~~802~~ ~~(一)~~部）ハ小川附近ニ在リテ

爾後ノ攻撃ヲ準備シツアリ

同夜半迄ニ步セ九聯隊長ハ右縱隊方面ニ於テハ依然抵抗ヲ持續スル敵ニ對シ新關方面ニ於テハ二十六日又鐵道<sup>線</sup>方面ニ於テハ二十七日ヲ期シ總攻撃ヲ實施スルコト敵軍司令部ハ柏木井ニアルコト並第一大隊正面ノ敵ハ松溝村及其西方高地ニ敗退セルコトヲ知り聯隊ハ二十六日主力ヲ以テ柏木井方向ニ前進シ敵ノ退路ヲ遮斷スル爲拂曉迄ニ松溝村東西ノ線ニ北面シテ攻撃ヲ準備スルニ決シ同日午前二時命令ヲ下達シ第一大隊ヲシテ先ニ松溝村及其西方高地ヲ夜襲セシメ拂曉迄ニ其北端ノ線ニ攻撃ヲ準備セシム

第一大隊ハ一部ヲ以テ松溝村ノ殘敵ヲ夜襲シ主力ヲ以テ松溝村東側ニ達セントスル頃天明トナル此頃

約一大隊ノ敵ハ松溝村西側ヲ縱隊ニテ西進中ナルヲ知り第三中隊及機關銃中隊ハ東方ヨリ第二中隊ハ西方ヨリ挾撃シテ殆ント之ヲ殲滅セリ

聯隊長ハ午前七時松溝村東側高地ニ達シ戰場全般ヲ觀察スルニ松溝村西北高地ニハ敵兵續々後方ヨリ陸地ニ就キツツアリ又柏木井溝高地ニハ敵兵數線ニ陣地ヲ占領シアリテ第一大隊ハ將ニ松溝村北端ノ線ニ攻撃ヲ準備シタルノ狀況ヲ知ル此時恰モ聯隊ハ松溝村西側高地ノ敵ニ對シ一部ヲ以テ掩護セシメ主力ヲ以テ一三六〇高地（松溝村東北方三料）方向ヨリ先ツ一三八七高地（松溝村北方五料）ヲ奪取スヘキ左縱隊命令ヲ受領ス<sup>（總司令）</sup>第八中隊及第十二中隊ヲシテ獨立山砲兵大隊ノ協力ヲ下ニ該高地方向ノ敵ヲ攻撃セシメ第一大隊ハ依然柏木井溝

高地ニ向ヒ攻撃前進シ第三大隊ヲ近ク招致ス  
 第一大隊ハ一部ヲ以テ松溝村西方高地主カヲ以テ  
 柏木井溝西側高地ノ敵ヲ攻撃セントシ午前十一時展  
 開ヲ完了ス第二中隊ハ松溝村西側ノ敵ヲ撃滅シ  
 タル後其西北方ノ數線陣地ニ就ケル敵ニ對シ重火  
 器協力ノ下ニ右側方面ヨリ逐次敵陣ヲ突破ス主  
 カ方面ニ於テハ大隊重火器其他獨立山砲兵大隊及  
 獨立機關銃大隊協力ノ下ニ逐次敵陣ヲ破碎シ  
 ツツ攻撃ヲ續行セシ敵ハ各種火器ヲ以テ十数火  
 ヲ集中シテ頑強ニ抵抗ス之カ爲右第一線方面第  
 四中隊ノ如キハ中隊長陣頭ニ立ツテ敵陣ニ突入セン  
 トスルヤ數百ノ敵ハ手榴彈ヲ投擲シ青龍刀ヲ振  
 翳シツツ逆襲ス接戦格闘ノ後中隊長敵彈ニ斃レ  
 ニ人ノ小隊長及曹長モ亦或ハ斃レ或ハ傷ツキ中隊ハ

一時伍長之ヲ指揮シ遂ニ敵ヲ撃退シテ高地ヲ確保ス  
大隊長亦豫備隊ヲ提ケ屍ヲ越エテ猛進シテ遂ニ  
柏木井溝北側高地一帯ヲ占領ス 時ニ午後四時三  
十分ナリ

第三中隊ハ午後五時頃本道ヲ越エテ柏木井西北  
方約ニ料附近一帯ノ高地ヲ占領シ右方ニ於テハ第  
八第十二中隊ハ獨立山砲兵大隊協力ノ下ニ稜線  
傳ヒニ東北進シ逐次所命ノ高地ヲ奪取シ遂ニ白  
岸西方高地(柏木井東北方約四料)ヲ占領シ茲ニ  
新關方面敵ノ退路ヲ全ク遮斷ス

歩ハノ第三大隊及歩セ九ノ第一中隊ハ水嵐北方高  
地ノ敵ヲ撃退シ同地東北方高地ニ進出シ夜ヲ徹ス  
本戦闘ニ於ケル敵ハ第七師及第一二師ニシテ半  
遭遇戰的ニ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ殲滅的打

ニ。

撃ヲ與ヘ其遺棄屍體ハ滿山遍野其數少クモ  
三千ヲ目撃ス

蓋シ左縱隊ハ險難ナル山地ニ於テ敵ノ抵抗ヲ排除  
シツ數日間ニ亘リ不眠不休大迂回ヲ敢行セル  
努力空シカラス今ヤ師團右縱隊ト相俟ツテ全ク  
敵ヲ包圍シ之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘ以テ快心ヲ成  
果ヲ收ムル事ヲ得タリ

五右縱隊（右追撃隊）ノ白關及娘子關ヨリ陽泉ヘノ追  
撃戰鬪

イ東塔崖附近ノ戰鬪（十月二十七日）

右追撃隊主力ハ十月二十七日午前六時城西村出發追  
撃中午前七時二十分頃東塔崖南方為一料附近  
ニ於テ大行李ヲ有スル約七百ノ敵ノ大縱隊白關白  
奇溝方面ヨリ鐵道線路ニ沿ヒ退却中ナルヲ知リ側

面ヨリ奇襲シ之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘ潰亂四散  
セシメタリ

口上盤石村附近ノ戦闘(十月二十七日)

右追撃隊ハ東塔崖附近ノ戦闘後引續キ追撃ニ  
移リ途中少數ノ敵ヲ掃蕩シツツ午後二時三十分  
上盤石村東側附近ニ於テ砲ヲ有スル約七百ノ敵同  
村西方高地ヲ占領シアルヲ偵知シ直ニ之ヲ攻撃ス  
鐵道線路以北ノ敵陣地ハ午後五時三十分頃之ヲ  
占領セシモ其以南ノ敵ハ抵抗頑強ニシテ夜半  
漸ク之ヲ撃退セリ

ハ巨城鎮附近ノ戦闘(自十月二十七日  
至十月二十八日)

右側支隊ハ二十七日早朝上熏竇出發巨城鎮ニ  
向ヒ追撃中午後一時巨城鎮東方ノ約二百ノ敵ヲ  
撃破シ續テ同地西方高地ニ在ル約六百ノ敵ヲ攻

二一

撃翌二十八日ノ拂曉之ヲ撃滅潰走セシメタリ

二旧關西方地區ノ戰鬪(十月ニ十七日)

左第一線(カ)ハ十月ニ十七日天明ト共ニ各種砲兵ノ砲撃ヲ開始シ午前八時全線攻撃前進ヲ起ス將兵ノ胸ニ鬱積セル敵爆心ハ一時ニ爆發シ忽チ前面一帯ノ高地ヲ攻略シ午前九時長城ノ線ヲ突破シテ追撃ニ移レリ爾後歩兵一大隊ヲ正太線方面ニ派シ旅團長ノ指揮ニ入ラシメ主力ハ一撃柏井驛ニ敵ヲ急追セル後師團本隊ト爲レリ

ホ亂柳村附近ノ戰鬪(自十月ニ十八日  
至十月ニ三十日)

右追撃隊ハ二十八日午前七時上盤石村附近出發追撃前進由午後二時過亂柳村西北方高地附近ヲ占領シアル追撃砲機關銃ヲ有スル優勢ナル敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ奮戰大イニ努メ其第一

線ヲ占領セルモ敵ノ陣地ハ三線ニ配置セラレ其抵抗頑強ニシテ全陣地ヲ奪取スルニ至ラスシテ之ニ入ル翌二十九日砲兵協力ノ下ニ攻撃ヲ再興シ逐次敵陣ニ肉薄シ午後七時頃標高一〇四〇高地及標高一〇〇〇高地ノ線ニ進出シテ日没トナル敵ハ夜間執拗ナル逆襲ヲ試ミシモ敢然之ヲ撃破シ翌三十日午前三時頃迄ニ路家山、白羊野ノ線ニ進出シタルモ拂曉敵兵退却ノ徴アリシヲ以テ午前六時追撃ヲ移リ午前十一時頃下五渡南北ノ線ニ進出シ次テ陽泉ヲ占領セリ。

へ水峪村西方高地及段家庄西方高地ノ戦鬪(自前日)  
右側支隊ハ二十八日拂曉巨城鎮西方高地ノ敵ヲ撃退シ午後二時四十分更ニ水峪村西北方高地ノ敵ヲ攻撃シ翌二十九日午後五時頃同高地一帯

ノ敵ヲ撃破シ更ニ殷泉庄西方高地下白川東側高地ニ在ル敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ三十日午後一時四十分之ヲ撃破シ午後五時陽泉附近ニ於テ主力ニ復歸セリ

ト王爺高附近ノ戦闘（自十月三十日  
至十月三十一日）

右追撃隊長ハ三十日午前十時三十分上五渡ニ於テ敵ヲ辛興鎮以西ニ進撃シタル後該地ニ一部ヲ殘置シ主力ヲ陽泉北方地區ニ集結スルニ決シ夫々命令ヲ下達セリ

右命令ニ基キ步セ第七大隊ハ午前十時三十分步セハ主力ハ正午頃出發辛興鎮ニ向ヒ追撃ヲ移レリ

午後二時頃王爺高南北高地線附近ヲ占領シアル約千名ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ逐次敵ヲ厭

迫シ午後七時頃王爺高北方高地線ヲ奪取シタルモ未タ全部ノ敵ヲ撃退スルニ至ラスシテ夜ニハリ翌三十一日拂曉之ヲ撃退セリ

六左縦隊(左追撃隊)ノ平定ニ向フ追撃戦闘

イ柏木井及石門口附近ノ戦闘(十月二十七日)

左縦隊ハ二十六日松溝村附近ノ戦闘後旧關方面ノ敵ノ右側背タル柏井驛附近ニ進出シテ全ク其退路ヲ遮斷シ之ニ甚大ナル打撃ヲ與ヘタリ

而シテ當時右縦隊ノ娘子關附近ノ戦闘ハ有利ニ進展シ敵ノ左側背ヲ包圍シツツ其第一線ハ娘子關以西鐵道線路方面ヲ又其一部ハ新關西側地區ニ向ヒ追撃ヲ續行シアルノ状況ナリシヲ知リ先ニ遠ク鐵道線路方面へ派遣ヲ準備セシメシ大隊ハ最早其要ナキニ至リタルヲ以テ二十七日朝之ヲ

追撃隊トシテ速ニ平定ニ向ヒ追撃セシム

追撃隊ハ午後三時二十分不徐古ニ到着シ石門  
口南北ノ線ニ約一團ノ敵カ陣地ヲ占領シアルヲ知  
リ直ニ之ヲ攻撃シ屢々逆襲ヲ行フ頑強ナル敵ニ  
對シ果敢ナル突撃ヲ試ミ遂ニ之ヲ西北方ニ潰走  
セシム更ニ同夜石門口西北迄西南方高地線ノ敵  
ヲ夜襲シ之ヲ占領シ主力ハ小橋堡附近ニ集結  
シ夜ヲ徹ス

ロ、西郊附近ノ戦闘（十月二十八日）

斯クシテ歩セ九ヲシテ二十八日朝來石門口西北方  
高地ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備セシメ新ニ其隸  
下ニ復セル歩八〇（第三大隊缺）及旧關以西ノ難  
路ヲ突破追及セル配屬野砲兵大隊ヲ併セ指揮  
シ午後一時ヨリ西郊西北方高地ヲ占領セル約一師

團半ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ歩ハ。ヲシテ石門ロ―  
 泉頭―東前鎮簗道方面ヨリ平定西南側附近ニ  
 向ヒ攻撃セシム

此附近一帯高地モ亦突クタル石山ニシテ斷崖  
 削立シ行動頗ル困難ナリシモ砲兵ノ適切ナル協  
 カノ下ニ逐次敵陣地ヲ蠶食シ午後五時西郊西方  
 高地一帯ノ敵陣地ヲ奪取シ同夜第一線ハ榆樹  
 園東白岸線ニ在リテ夜ヲ徹ス

ハ東溝村及其西南方地區ノ戰鬪（七月二十九日）

午前九時三十分ヨリ歩セ九ヲ以テ正面ヨリ歩ハ。ノ  
 主カヲ以テ遠ク西南方ニ迂回セシメ攻撃ヲ前進ヲ開  
 始ス敵又頑強ナル抵抗ヲ試ミシモ我歩砲火ノ威  
 カニ依リ逐次縱深陣地ヲ席捲シテ遂ニ之ヲ西北方  
 及西南方ニ撃退ス

東溝村東南方地區ニ陣地ヲ占領セシ細川砲兵  
隊ノ主力ハ午後三時頃平定南方一里ノ河谷ヲ西方  
ニ退却スル約二千ノ敵縱隊ニ對シ猛火ヲ集中シ甚  
大ナル損害ヲ與ヘタリ

茲ニ於テ更ニ敗敵ヲ急追シテ平定縣ヲ占領シ夕  
刻同地西側及幕里村ノ線ニ進出ス十月三十日左  
追撃隊ハ師團命令ニヨリ主力ヲ以テ平定附近ニ  
集結スルト共ニ右追撃隊方面ノ敵ノ退路ヲ遮  
斷スル爲歩セ九ノ主力ヲシテ陽泉ニ追撃セシム  
該部隊ハ午前八時三十分平定出發途中一部ヲ以テ  
平定西北方高地ニ據ル敵ヲ撃破シ午前十時陽  
泉ヲ占領ス斯クテ左縱隊ハ右縱隊方面ノ敵ノ  
退路ヲ遮斷シ茲ニ全ク陽泉平地ノ攻略ヲ終ル  
平定附近敵ノ抗戰

十一月二十八日ヨリ二十九日ニ亙リ石門ロヨリ平定ニ至ル間敵ハ數線ニ配備シテ頑強ニ抵抗シ左追撃隊ハ逐次急速ニ攻撃シ師團本隊ヨリ歩兵第八十聯隊主力ヲ増加シ且本隊砲兵ヲ参加セシメテ猛攻ヲ加ヘシヲ以テ二十九日夕平定ヲ占領シ三十日平定西南方高地ヲ奪取シ以テ敵ヲ南方昔陽方向及西南方ニ撃退スルヲ得タリ而シテ此等ノ敵ハ其收容隊又ハ後衛陣地ニアラスシテ統制アル陣地ヲ占領シ眞面目ニ我ニ對抗セントセシモノニシテ其兵力約四師團アリシカ如シ(交戦後押收セシ軍長孫連仲ト各師長ト交信セシ多數ノ電報ニ依リ敵ノ企圖、兵力ヲ判断シ得タリ)又平定附近ト正太線陽泉附近トハ脈絡アル防禦ヲ企圖セシカ如キモ我ニ追撃隊ノ攻撃

ニ  
五

急ナリシ爲三十日ニ攻略スルヲ得タリ

其三陽泉平地ヨリ太原平地迄ノ作戰（以下要圖其二三參照）

# 一、師團ノ作戰指導

一、作戰指導ノ要旨

師團長ハ平是平地攻略迄ニ於ケル敵ノ抵抗較強ニシテ其兵力亦大ナルニ鑑ミ太原ニ至ル途中敵ヲシテ抗戰ノ暇ナカラシメ且第五師團正面ノ敵ニ與フル脅威ヲ大ナラシムル爲ニハ一擧速ニ太原平地ニ進出スルノ要ヲ認メ補給ノ困難ヲ意トセス右追撃隊ヲシテ陽泉ヨリ引續キ又師團主力ハ最少限ノ彈藥携帶口糧ノ補充ニ留メ萬難ヲ排シテ出發セシメ當面ノ敵ヲ撃破スルト共ニ太原附近ノ敵及忻口鎮附近ノ敵ヲ退却スル場合ニ於テモ太原附近ニテ統制アル抵抗ヲナシ得サラシムル

爲果敢ナル追撃ヲナスニ決シ左ノ如ク作戰指導ヲ律セリ

右追撃隊(山砲一中隊ヲ缺キ新ニ野砲二中隊輕榴一中隊ヲ屬ス)ハ十月三十一日辛興鎮附近ニ在リシ四百ノ敵ヲ撃破シテ測石驛北方高地ニ進出セリ而シテ同追撃隊ハ爾後主カヲ陽泉附近<sup>集結</sup>ニ進出セリ方補給ト相俟テ更ニ追撃ヲ再興セントセシモノナルカ同隊ノ押收セル相當量ノ糧秣ト恰モ到着セル彈藥ヲ之ニ補給シテ直ニ騎兵隊ト共ニ先ヅ壽陽ニ向ヒ追撃ヲ續行セシムルニ決ス蓋シ師團ノ一部ト雖壽陽附近ニ進出セハ第五師團正面ノ敵ニ對シ大ナル脅威ヲ與フヘキヲ以テ補給ノ許ス限り追撃ヲ續行セシムルヲ得策トスレハナリ

八十一月二日ニ至リ師團ハ更ニ彈藥糧秣ノ一部ヲ補  
 給シ得~~ル~~且爾後ノ補給ニ於テモ概ネ成  
 算ヲ得而モ第五師團正面ノ敵ハ依然トシテ頑強  
 ニ抵抗セルノ狀況ニ鑑ミ師團ハ速ニ全カノ追撃ヲ  
 續行シ太原平地ニ進出シテ敵ノ背後ニ迫ル爲右  
 追撃隊ヲシテ壽陽ニ止マルコトナク引續キ鳴謙  
 鎮附近ニ向ヒ急追セシメ又左追撃隊ハ野砲兵一  
 大隊ヲ缺キ新ニ山砲兵聯隊本部及一中隊ヲ増加  
 配屬スラシテ先遣セル一部ヲ以テ本二日主カヲ以テ  
 明三日平定附近出發馬道嶺―松塔鎮―下湖  
 ―榆次道ニ沿フ地區ヲ榆次附近ニ向ヒ急追セシ  
 メ師團本隊モ亦最少限ノ給養裝備ヲ整ヘ四  
 日早朝平定出發右追撃隊ノ後方ヲ張淨鎮ニ  
 向ヒ前進スルニ決ス

二二日夕騎兵隊及右追撃隊ノ一部ハ壽陽ニ進入シ  
 三日朝ニ至リ第五師團方面ノ敵ハ昨夜來全線退  
 却ヲ開始セルカ如シトノ軍通報ニ接ス茲ニ於テ師  
 團ハ野砲兵聯隊主カヲ速ニ右追撃隊ニ追及  
 配屬シ同追撃隊ニ壽陽ニ停ルコトナク成ルヘク  
 速ニ追撃ヲ續行スヘク命令ス

ホ四日午後ニ至リ第五師團ノ追撃進捗シ太原附近  
 ノ敵西南方ニ向ヒ逐次退却中ナルカ如キ情報ニ接シ  
 直ニ騎兵隊ニ對シ引續キ大谷方向ニ追撃ヲ續  
 行シ特ニ同蒲鐵道ヲ輕爆破スヘキヲ命ス又右  
 追撃隊ニ對シ太原方面ノ敵ノ退路ヲ直接遮斷  
 スル爲引續キ主カヲ以テ小店鎮西方汾河ノ線ニ  
 向ヒ追撃シ狀況ニ依リテハ一部ヲ鳴謙鎮東方  
 地區ニ殘置シ太原東南方陣地ニ對シ警戒セシム

ヘキヲ命ス

ヘ四日夕師團司令部ハ張淨鎮ニ進出ス此時第五師團ハ新ニ第一軍ニ編入セラレ太原ヲ攻略シ引續キ一部ヲ以テ汾河右岸地區ヲ汾陽附近ニ向ヒ追撃シ我師團ハ主カヲ以テ汾河左岸地區ヲ介休附近ニ向ヒ追撃スヘキ命令ヲ受領ス

即師團ニ於テハ騎兵隊ニ對シ引續キ介休ニ向ヒ急進スヘキヲ命シ右追撃隊ニ對シ前任務ヲ續行スルト共ニ野砲兵一大隊ヲ五日榆次附近ニ於テ左追撃隊ニ轉屬スヘキヲ命シ又左追撃隊ニ對シ榆次附近進出後引續キ先ツ祁縣附近ニ向ヒ急進シテ敵ノ退路ヲ遮斷シ爾後機ヲ失セス介休附近ニ向ヒ追撃ヲ續行スヘキヲ命ス

ト師團司令部ハ五日夜ニ入ルモ前進ヲ續行シ榆林村ニ

進出シ翌六日日没後榆次ニ入城ス  
 此間騎兵隊ハ隨所ニ敵ヲ撃破シツツ四日午後  
 鳴謙鎮附近ニ進出シ五日大谷方向ニ向ヒ追撃ヲ  
 續行シ右追撃隊ハ四日夜早クモ鳴謙鎮附近ニ  
 進出シ翌五日鳴謙鎮及鳴李村附近ニ於テ榆次  
 方向ヨリ太原東南方既設陣地ニ向ヒ北上スルニテ  
 師ニ屬スル敵ニ對シ殲滅的打撃ヲ與ヘ六朝  
 來小店鎮附近ニ於テニ三千ヲ下ラサル大縱隊ノ退  
 路ヲ遮斷シテ之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ更ニ汾河右岸  
 古寒村附近ヲ占領セル約一千ノ敵ニ對シテ渡河攻  
 撃ヲ強行シ旧太原東側地區ニ進出シ折柄太原方  
 向ヨリ南下スル約一萬ヲ下ラサル大縱隊ニ多大ノ打  
 撃ヲ與ヘタリ又左追撃隊ハ四日松塔鎮附近ノ  
 敵ヲ撃破シ六日榆次ノ殘敵ヲ驅逐シテ其南方

地區ニ進出ス。然ルニ當時第五師團ハネ夕太原ヲ  
 攻略シアラサルノミナラス太原ニハ現ニ一、二萬ノ敵  
 籠城セリトノ情報ニ接シ師團ハ主力ヲ以テ一時榆  
 次及小店鎮附近ニ集結シ何時ニテモ第五師團ノ太  
 原攻略ニ策應シ得ルノ態勢ヲ取ルニ決シ六日夜右  
 追撃隊ニ對シ依然敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ明セ  
 日小店鎮附近ニ於テ部隊ヲ整理シ爾後ノ追撃ニヲ  
 準備スヘキヲ命シ師團本隊タル歩兵第七十七聯  
 隊ニ對シ明早朝約半大隊ヲ張慶村附近ニ派遣シ  
 敵ノ退路ヲ遮斷スヘキヲ命シ爾余ノ師團本隊各  
 梯團ヲ榆次附近ニ集結セシメ八日朝ヨリ主力ヲ以テ  
 左追撃隊ニ續行シ平遙方面ニ追撃ヲ企圖セリ  
 千七日正午頃ニ至リ太原城内及其東南方一帯ノ既設  
 陣地ニハ尙相當ノ敵兵團殘存シ第五師團ハ太

原北側ニ進出シテ無抵抗開城ヲ勸告シ敵之ニ應  
セサル場合ハ八日早朝ヨリ之ヲ攻略スヘク準備中  
ナルヲ知ル今ヤ師團ハ五日以後既ニ其主力ヲ以テ何時  
ニテモ太原城攻略ニ着手シ得ルノ態勢ニアルモ太  
原城ノ攻略ハ主トシテ第五師團ニ依リ實施セラルル  
コトヲ豫期シ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ無言ノ威  
壓ヲ以テ之カ攻撃ニ策應セリ

爲之七日午後右追撃隊ニ對シ速ニ北營村、殷家堡  
ノ線ニ進出シ太原方面ノ敵ヲ監視シ狀況ニ依リ隨時  
第五師團主力ヲ策應シテ之ヲ攻撃シ得ル如ク準  
備スヘキヲ命シ師團本隊ニ在ル歩兵第七十七隊  
主力ニ對シ速ニ鳴李村附近ニ兵力ヲ集結シ鳴謙鎮  
西北方一帯ノ既設陣地及太原方面ノ敵ニ對シ攻  
撃シ得ル如ク準備シ又張慶村ニ派遣セル部隊ハ

前任務ヲ續行セシムヘキヲ命ス

リ、七日午後ニ至リ師團ハ一部ヲ以テ平遙附近ニ向ヒ追撃ヲ續行シ主クヲ榆次附近ニ集結シテ石象莊方面ニ對スル轉進ヲ準備スヘキ軍命令ニ接シ騎兵隊及左追撃隊ニ對シ前命令ニ拘ラス先ツ平遙ニ向ヒ追撃ヲ續行スヘキヲ命シ又右追撃隊ニ對シ概ネ現在ノ態勢ニ於テ部隊ヲ整理スヘキヲ命シ師團本隊ノ諸隊ヲ榆次附近ニ集結ス

# ニ右追撃隊ノ追撃戦闘

イ、辛興鎮附近ノ戦闘（十月三十一日）

十月三十一日右追撃隊ハ拂曉ヨリ退却セル敵ノ追撃  
シ午前九時三十分辛興鎮南北ノ高地線ヲ占領セル  
約千六百ノ敵ヲ攻撃シ午前十時之ヲ占領シ殘敵  
ヲ撃破シ午後六時頃辛興鎮南北ノ線ニ進出セリ  
同日午後五時右追撃隊長ハ引續キ先ツ壽陽  
ニ向ヒ追撃スヘキ師團命令ニ接シ步七八聯隊長ニ  
明十一月一日先ツ坡頭村附近ノ敵陣地ノ攻撃ヲ命ゼリ  
只測石驛附近ノ戦闘（自十一月一日  
至十一月二日）

步七八聯隊長ハ辰渾鎮ニ向ヒ追撃中十一月一日午前  
八時頃ヨリ測石驛南北ノ線附近ニ陣地ヲ占領セル  
約五、六百ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始シ歩砲ノ緊密ナル  
協同ノ下ニ逐次敵陣地ヲ奪取シ午後五時乃至

六時ノ間ニ張淨鎮東方高地線ニ又正太線南側  
 地區ヲ迂回セル歩七八第三大隊ハ午後八時張淨鎮  
 南方高地線ニ進出シ共ニ爾後ノ追撃ヲ準備シ  
 翌二日拂曉ヨリ敵ヲ急追シ午後五時其先頭部  
 隊壽陽ニ進入シ騎兵隊ト共ニ城内ヲ掃蕩ス當  
 時約千五百ノ敵ハ壽陽西方本道ヲ退却シ其一  
 部ハ壽陽西南方高地ヲ占領シアリ

午後四時五十分右追撃隊ハ引續キ壽陽、鳴謙  
 鎮ニ沿フ地區ヲ鳴謙鎮附近ニ向ヒ急追スヘキ  
 師團命令ニ接シ明三日先ツ壽陽西南方台地  
 ノ敵攻撃ニ關スル命令ヲ下達セリ

十一月三日拂曉壽陽西側台地ノ敵ニ對シ攻撃  
 ヲ開始セシモ敵ノ大部ハ拂曉前既ニ退却セシモ  
 ノノ如ク殘敵ヲ撃滅シツ一舉太原平地ニ向ヒ

強行軍ニヨル追撃ニ移レリ

當時部隊ハ十數日ニ亙ル連續ノ戦闘ニ因リ疲勞ノ極ニ達セシモ幹部ハ部下ヲ叱咤激勵シツツ一意急追ヲ繼續セリ

ハ鳴謙鎮附近ノ戦闘(十一月五日)

右追撃隊ハ十月三日主カヲ以テ壽陽附近ニ集結シ隊伍ヲ整理スルト共ニ裝備ノ充實ヲ圖リ爾後ノ追撃ヲ準備セントセシカ第五師團正面ノ敵總退却ヲ開始シタル狀況ニ鑑ミ速ニ追撃ヲ續行シ太原南方地區ニ進出スルノ要アリシヲ以テ同日午後九時歩六第一大隊ニ山砲一小隊ヲ屬シテ先遣隊トシ壽陽出發鳴謙鎮ノ方向ニ急進セシメ主カハ四日午前五時ニ十分壽陽附近出發鳴謙鎮ニ向ヒ又右側衛(右側衛)ヲ干家

庄、間家谷、劉家坡ヲ經テ東聶村(鳴謙鎮  
南方四料)ニ向ヒ急進セシム。各隊ハ各々所命ノ  
如ク出發シ一意追撃ニ努メレモ主カ方面ハ道  
路極メテ不良ニシテ車輛部隊ノ前進意ノ如ク  
ナラス。午前十一時四十分前衛(四) 10AS 五 26A ヲ基幹トス  
ヲ追撃隊トシテ追撃セシムルフトセリ。

諸隊ハ惡路ヲ克服シツテ急追シ十一月四日夕早  
クモ追撃隊ハ鳴謙鎮及其東方地區ニ右側衛ハ  
李坊村ニ達セリ。

同夜追撃隊ハ主カヲ以テ鳴謙鎮附近ニ在リテ狀  
況ニ應シ敵ノ退路ヲ遮斷シ得ルノ態勢カニ在リレカ  
十一月五日午前九時頃榆次方向ヨリ太原東南方既  
設陣地ニ據シント北進中ノ第七一、七二、一ニ七師ニ屬ス  
ル敵ノ大部隊鳴謙鎮東側地區ニ前進シ來ルヲ

目撃シ之ヲ三方面ヨリ急龍衣攻撃シ殲滅的打撃ヲ與ヘ午前十時半再ヒ西縣村方向ヨリ前進セル約四百ノ敵ヲ潰滅セシメ次テ北小南ノ部落ヲ占領シ頑強ニ抵抗セル約六百ノ敵ヲ地隙内ニ捕捉殲滅セリ

又右側衛ハ午後一時二十分轟店村ニ於テ鳴本村ヲ經テ南畔村ニ前進スヘキ命令ヲ受テ午後一時同地出發午後二時頃鳴謙鎮東南方小流ニ於テ北小南庄及其東南方地區ニ約二千ノ敵在ルヲ知リ直ニ之ヲ攻撃シ午後五時稍々前之ニ徹底的打撃ヲ與ヘタリ該敵モ亦前記三師ニ屬スルモノナリ

此前後數回ノ戦闘ニ於テ敵ニ與ヘタル損害甚大ニシテ目撃セン敵死體二千ヲ下ラス

ニ鳴李村附近ノ戦闘（十一月五日）

獨之機關銃中隊長松田大尉ハ十一月五日午後二時四十分右追撃隊長ヨリ<sup>28</sup>ノ二中隊ヲ併セ指揮シ主カヲ鳴李村附近ニ配置シ鐵道線路ヲ遮斷スルト共ニ一部ヲ志村附近ニ配置シ武宿村北方地區ノ敵情ヲ監視シ併セテ縱隊進路ヲ掩護スヘキ命ヲ受テ十一月五日午後四時鳴李村ニ到着ス午後五時頃鳴謙鎮附近ニ於テ我右側衛大隊ノ爲撃破セラル敗殘ノ約六百ノ敵東方及北方ヨリ鳴李村ニ向ヒ前進シ來レルヲ目撃シ直ニ之ヲ邀撃シ殲滅ス又翌六日午前五時三十分頃、弟十四、六十師ニ屬スル約二百ノ敵停車場ニ向ヒ前進シ來レルヲ反撃シ殲滅シタリ以上兩回ニ於テ敵ノ遺棄死體約三、四百ヲ算ス

右側衛タル<sup>五(五)</sup>ハ六百午前六時三十分頃、鳴本村西方地一區ニ於テ第一二七師、一三一師ニ屬スル約二千餘ノ敵ト遭遇シ直ニ砲兵(224)ト協同ノ下ニ側方ヨリ急襲的ノ攻撃ヲ加フ午前八時半頃敵ハ殲滅的打撃ヲ蒙リ約五、六百ノ死體ヲ遺棄シ西北方ニ潰走セリ

ホ小店鎮附近ノ戦闘(自十一月五日)

追撃隊ハ十月五日鳴謙鎮附近ニテ敵ヲ撃滅シタル後更ニ小店鎮ニ向ヒ前進スヘキヲ命セシレ午後一時半出發小店鎮ニ向ヒ前進途中隨所ニ敗敵ヲ撃滅シツ午後六時小店鎮村落内ニアル約四百ノ敵ヲ攻撃シ午後九時之ヲ撃滅シ同村ニ進入セリ

又翌六日午前七時頃嘉節村ニテ停止中ノ約五百

ノ敵及城西村附近ニ於テ約ニ百敵ヲ數千減シ  
 午前九時頃同地ヲ占領ス次テ太原ヨリ舊  
 太原縣ニ向ヒ汾河右岸ヲ退却中ノ約一萬ノ敵  
 ニ對シ小店鎮西側橋梁方向ヨリ攻撃ヲ開始  
 シ午後一時過汾河右岸ヲ占領セル約一千ノ敵ノ  
 猛火ヲ冒シテ渡河シ敢行シ東城角西側地區  
 ニ進出シテ敵ノ大縱隊ヲ側面ヨリ攻撃シ大打撃  
 シ與ヘタリ

爾後右追撃隊ハ一部ヲ以テ汾河各橋梁右岸  
 ヲ守備セシメ主力ハ薄暮ヲ利用シ小店鎮附  
 近ニ集結シ北方太原方向ノ敵ニ對シ隨時對  
 應ノ態心勢ニアルト共ニ南方ヘノ追撃ヲ準備  
 スルアトトセリ

ヘ大營村小馬村附近ノ戦闘（十月八日）

右追撃隊ハ師團命令ニ依リ第五師團ノ太原  
攻撃ニ協カスル爲ハ日大營村、小馬村ノ線ニ  
展開シ太原ヨリ脱出スル敵ヲ監視シ之ヲ攻撃  
セント企圖シアリシカ當時難路ヲ冒シテ右追撃  
隊ニ追及シタル野砲兵第二十六聯隊長ハ嘉節  
村北側ニ於テ午後二時三十分頃太原ヨリ大馬  
村、小馬村ヲ經テ汾河右岸ヲ一團又一團トナリ  
陸續退却スル敵縱隊ヲ發見シ野砲兵三  
隊ヲ以テ猛射シテ十字火ヲ浴セ敵ハ周章狼狽  
シテ散亂シ約三百ノ死體ト多數ノ兵器ヲ遺棄シ  
甚大ノ損害ヲ蒙リ潰走セリ其兵カ少クモ三千ヲ  
下ラス

又歩兵部隊ハ太原ヨリ三々伍々敗走シ來ル敵ヲ射  
殺シ或ハ捕獲シタルモノ約三百ニ及ヒ夜間モ警戒

ヲ嚴シテ所々銃聲ヲ聞キツツ夜ヲ徹ス本戦闘  
ニ於テ交戦セシ敵ハ<sup>23D</sup><sub>ノ</sub><sup>420L</sup><sub>ノ</sub><sup>421L</sup><sub>ノ</sub><sup>430L</sup><sub>ノ</sub><sup>436L</sup><sub>ノ</sub>及新編<sup>3L</sup><sub>ノ</sub><sup>9L</sup><sub>ノ</sub>等  
ナリ

九日右追撃隊長ハ野砲兵聯隊ノ主力、歩兵  
一大隊、工兵一小隊ヲシテ細川大佐ヲ指揮ヲ以テ掃  
蕩隊トシ狄村、新賢村、大馬村ニ至リ陣地ヲ  
占領シ太原以南ノ殘敵ヲ東方ヨリ汾河ニ壓迫  
撃滅ヲ企圖セシカ當日ハ敵部隊ヲ認メス附  
近諸部落ノ敗殘兵ヲ掃蕩シ終リ太原城既ニ手  
前中ニ陥落セシヲ以テ日没前部隊ヲ集結セリ

ト、鳴李村北側地區ヲ掃蕩(十月八日)

歩兵第七聯隊主力ハ師團命令ニ依リ八日早朝  
榆次ヨリ鳴李村ニ至リ其北方地區ニ展開シ右追  
撃隊ノ右翼ニ連繫シテ太原ヨリ脱出スル敵ヲ警

戒シ敗殘兵百餘名ヲ斃シ又九日午前龍崗附近  
既設陣地ノ「ト」ニカニ隱匿セル殘敵約五十名ヲ  
攻撃シテ撃滅セリ

### 三、左追撃隊ノ追撃戰闘

#### 松塔鎮附近ノ戰闘

右縱隊ノ先遣隊タル歩兵一大隊ヲ基幹トスル  
部隊ハ十一月十日午前十時北陽勝ヲ出發シ平定  
馬道鎮―松塔鎮―榆次道ヲ前進シ次ニ羽立三  
日早朝歩兵一大隊弱ヲ右側支隊トシテ貴石溝  
―上龍泉―松塔鎮道ヲ追撃―セシメ主カハ先遣  
隊ノ進路ヲ前進ス

先遣隊途中馬道嶺、中山村附近ノ殘敵ヲ屠  
リツツ四日正午頃松塔鎮南側高地ノ敵ト遭遇  
シ破竹ノ勢ヲ以テ攻撃シ午後一時頃之ヲ潰滅セ

シメ同夜ハ其西方地區ニ集結ス同夜十一時頃中  
山村附近ニテ彈藥中隊、野戰病院及掩護歩兵  
中隊カ山ヨリ下リ來リタル約一團ノ敵ノ體衣聲ヲ受テ  
車馬多ク自衛力少キ爲相當ノ損害ヲ蒙リタルモ  
掩護中隊ノ奮戰ニ依リニテ擊退セリ  
吾等追撃隊ハ右ノ情報ニ接シ松塔鎮ヨリ歩兵第  
八十聯隊第一大隊ヲ急派シ掃蕩セシム該隊ハ直  
ニ急行シ恰モ當時該地附近ニ進出セル昔陽支隊  
ト協力シ之ヲ擊滅セリ

# 口太谷附近ノ戰鬪

右追撃隊ハ道路網ノ關係上松塔鎮ヨリ右側支  
隊ヲ右側支隊トシ爾後更ニ主力ノ前進道路ニ  
依リ急進中新ニ師團命令ニ依リ先ツ榆次附近  
ニ進出後引續キ祁縣ニ前進シ敵ノ退路ヲ遮斷シ

爾後機ヲ失セス介休附近ニ向ヒ追撃スルニ決ス  
 六日午前十時半頃榆次ノ殘敵ヲ驅逐シ長驅西  
 南進ス

七日前兵ハ東陽鎮附近ニ在リシ數十ノ敵ヲ撃  
 破シ更ニ正午過鳥馬河河畔ニ於ケル機關銃  
 ヲ有スル約百五十ノ敵ヲ撃退シ太谷城ニ肉迫ス  
 當時該城ニハ約一團ノ敵城門ヲ閉塞シ城壁ニ  
 據リ死守シアリ

前衛ハ午後二時十五分縣城ノ東門ヲ占領シ城  
 壁ヲ逐次占領スルト共ニ城内ヲ掃蕩セリ一部敵  
 ハ青龍ヲヲ振ヒ我ト接戦格闘セルモ遂ニ我ニ  
 抗シ得ス縣城ノ西南角ヲ退却ヲ開始セリ茲ニ  
 於テ豫メ配置セル部隊ニ猛射ヲ浴セ殆ント之ヲ  
 潰滅セリ

#### 四 騎兵隊ノ追撃戰闘

1. 騎兵隊ハ狼子關突破後師團命令ニ基キ十月  
二十七日井陘ヲ出發シ陽泉ヲ經テ壽陽ニ向ヒ敵  
ヲ追撃ス此間右追撃隊ト協カシ逐次上段四石  
村、亂柳村、辛興鎮、測石鎮附近ノ敵陣地  
ヲ攻撃シ十一月二日午前十一時頃壽陽東方高  
地ニ進出ス同日午後二時頃約千五百ノ敵鐵道  
線路南側地區ヲ壽陽西側高地ニ向ヒ退却  
中ナルヲ發見シ之ヲ猛射シテ多大ノ損害ヲ與ヘ次  
テ壽陽城内ノ約二、三百ノ敵ヲ攻撃シ午後三時頃  
壽陽ヲ占領シタリ

本追撃間機關車三、貨車七八、其他兵器、糧  
食若干ヲ鹵獲セリ

只十一月二日午後右追撃隊ト協カシ追撃ヲ續行シタル

後太原及榆次方向ノ敵情ヲ搜索スヘキ師團命令ニ接シ翌三日更ニ追撃ヲ續行シ午後三時頃大安驛東方高地ニ於テ折柄前面ヲ退却セル數千ノ敵ヲ猛射シテ之ヲ潰走セシメ四日午後三時頃鳴謙鎮東側地區ニ進出シ同地ニ在リシ約二三百ノ敵ヲ攻撃シ午後四時鳴謙鎮ヲ占領セリ  
 ハ此日午後太谷方向ニ追撃ヲ續行シ特ニ同蒲鐵道ノ輕爆破ヲ實施スヘキ師團命令ヲ受テ次テ同日夜前任務ヲ續行スルト共ニ介休ニ向ヒ敵ヲ急追スヘキ命令ニ接シ翌五日朝鳴謙鎮出發榆次東側地區ヨリ先ツ太谷ニ向ヒ追撃ヲ續行ス午前十一時頃北合流（榆次東方六料）附近ニ於テ鐵道線路ヲ西進中ノ約五、六百ノ敵ヲ又午後三時半頃南合流附近ニ於テ長凝鎮―榆次道

ヲ西進中ノ千五、六百ノ敵ヲ猛射シ共ニ南方ニ潰ス  
走セシム

七日午後趙開(太谷東方四村)附近ニ於テ三  
百ノ敵ヲ次テ太谷東南方地區ニ於テ南方ニ向  
ヒ退却中ノ約五、六百ノ敵ヲ射撃シ共ニ大打撃  
ヲ與ヘタリ

八日敗敵ヲ急追シツツ祁縣ニ向ヒ追撃ヲ續行  
シ午後三時祁縣城内ニ在リシ約百名内外ノ敵ヲ  
驅逐シ同地ヲ占領ス

翌九日平遙ニ向ヒ追撃シ午後一時半平遙城内  
ニ在リシ約二百ノ敵ヲ攻撃シ午後三時頃同地ヲ  
完全ニ占領セリ同日夜平遙驛ニ進入シ來リ  
シ敵ノ一列車ニ對シ機銃ヲ制シテ攻撃シ之ヲ撃  
退セリ

榆次以南ニ於テ機關車八、貨車一七、其他兵  
器、糧食多數ヲ凶獲セリ

遂、彼我損害ノ概要

其敵ニ與ハタル損害

娘子關附近ヲ平定攻略迄 死傷約三萬(遺棄死體約七千)  
平定ヨリ太原平地攻略迄 死傷約二萬三千(遺棄死體四千五百)

捕虜約三百

合計

敵死傷約五萬三千(遺棄死體約一萬一千五百)

其我損害

死傷約二、三〇〇内(内戦死約六五〇、戦傷一、六五〇)

其押収品

各種兵器、彈藥類極メテ多數

正太同蒲鐵道輪轉材料機關車一五、客貨車一八〇

ヲ

糧秣師團ノ約十日分

至敵ノ兵力、團隊競、素質及敵將帥ノ退却

其娘子關附近ニテ交戦セシ敵

娘子關附近一帯ニ於テ師團ト交戦セシ敵ハ、70、120、170、270、

300、510、630、730、1240、1070、十一ヶ師茲十一月二十六日我々縱隊々

松溝村附近ニテ撃破セシ、1220、1290ノ二師アリ

此等ノ敵ハ涿州、保定、會戰ニ於テ師團ニ撃退セラレタ

ル孫連仲軍(270、300、310)茲山西軍ノ一部、中央系四川軍

等ニレテ其兵員ハ一師カ五千乃至一萬ニシテ其總兵十

萬弱ト判斷セラル其裝備茲戰闘カ共ニ涿州附近ニ

テ交戦セシ中央軍ニ比シ稍、低下シアリ

其太原平地ニテ交戦セシ敵

平定、陽泉附近ヨリ太原平地ヘノ追撃戰闘茲太原

平地攻略戰ニ於テ遭遇セシ敵ノ兵力を、如シ(敵ノ師團

番號八十月三十日ヨリ十一月八日間ニ於テ我騎兵隊ニテ  
倭上勇ニ就キ調査セリ

一、70、170、270、320、1220、1240此六師ハ娘子關附近ヨリ平定、陽

泉附近ヲ經テ太原平地ニ退却セリ

ニ、100、410、460、500、540、550、590、680、720、850、890、1100、1280此ノ十三師ハ壽陽

ヨリ以西、太原平地茲平遙迄ノ追撃戰ニ於テ遭

遇セシ敵ニシテ其一部ハ忻口鎮方面ヨリ太原平地ヲ

經テ南方ニ退却シ或ハ太原陷落直前ニ南方ヨ

リ北上セシ部隊アリシカ共ニ我軍ノ攻撃ニ依リ其主

力ハ同蒲鐵道方面及汾陽方向ニ潰走セリ

其敵將帥ノ退却

忻口鎮方面山西軍ノ主力ハ我右追撃隊カ陽泉ヨリ

太原平地ニ追撃ヲ續行シ壽陽附近ニ進出シタル十

一月三日頃南方ニ退却ヲ開始シタルモノノ如ク總帥

第四其他重要ナル所見

其支那軍ニ對スル突破ニ就テ

閩錫山ハ十一月一日夜退却セシ風説アルモ小店鎮附近ニテ右追撃隊カ得タル俘虜ノ言ヲ綜合セハ十月五日午後七時太原ヲ脱出シ自動車ニテ同蒲線ニ沿ヒ南方ニ逃走セリ又第三十五軍長傅作義ハ十一月七日夕太原ヨリ自動車ニテ西南方ニ逃走セリト

支那軍ハ右ノ連繫極メテ不良ナルモ餘リニ之ヲ輕視シ僅小ノ兵カシテ敵線ヲ突破セントストキハ其右ノ敵部隊逐次包圍的ニ反撃ヲ試ミ爲ニ意外ノ苦境ニ陥ルニアリ而テ一度我兵力等ヲ敵ニ察知セララルニ至ランカ彼ハ其國民性ヲ遺憾ナク發揮シ極メテ執拗ニ逆襲ヲ反覆シ來ルカ如シ  
要スルニ各部隊個々ノ戦闘ヲ爲スハ得策ナラス本會

戦中舊關ノ歩セセハ右ノ例トナルモ結果論的ニ觀察  
セシ隊カ勇猛ナル前進ヲ敢行シ極端ニ多クノ敵ヲ  
引受ケ之ヲ牽制セルハ驍テ我を縱隊ノ大迂回次テ大  
兩翼包圍殲滅戰成功ノ因ヲ爲セルモノトモ觀察セ  
ラルヘシ

其支那軍ノ山地防禦ニ就テ

山地防禦ニ於テ支那軍ハ頗ル頑強ニシテ決シテ彈  
藥ヲ浪費セス近距離ニ入ラサレハ射撃ヲ開始セス  
又其迫撃砲、手榴彈等モ近迫戰鬪ニ於テ初メテ  
使用シ迫撃砲ノ如キハ豫メ試射ヲ正確ニ毎具施シア  
ルカ如ク其命中率甚タ良好ナリ

其洞窟式掩蔽部ノ特性ニ就テ

洞窟式掩蔽部ニ據ル敵ニ對シテハ爆撃、砲撃何レモ殆  
ント效果ナシ近距離ヨリ歩兵砲、山砲、機關銃等ヲ以

テ之ニ正對シテ射撃ヲ加フルニアラサレハ效果尠シ  
 但何レモ單一ノ洞窟ニハ死角多ク以テ克ク地形ヲ利用シ  
 準備ヲ周到ニシテ之ニ近迫セハ逐次之ニ接近シ得ル如シ  
 甚支那軍ノ手榴彈戰ニ應スル對策ニ就テ

近迫戰闘ニ於ケル支那軍唯一ノ武器タル手榴彈ハ有  
 ヲル手段ヲ講シテ之ヲ事前ニ消耗セシメ其消耗ヲ待テ  
 テ突撃ヲ敢行スルヲ要ス夜間ノ如キ屢々敵前ニ於テ  
 陽ニ喊聲ヲ上テテ逐次手榴彈ヲ投擲消耗セシメ  
 其盡クルヲ見テ背面ヨリ突入スルカ如キハ本戰闘ニ於  
 テ我第一線部隊ノ試ミテ常ニ成功セル例ナリ

蓋有利ナル戰闘ヲ交ハタル支那軍ノ抵抗カニ就テ  
 一度有利ナル戰闘ヲ交ハタル支那軍ハ爾後其抵抗意  
 外ニ頑強ニシテ之ヲ數々破スルニハ相當ノ損害ヲ覺悟  
 セサルヘカラス本戰闘ニ於テ歩セハ第二大隊カ長生口

西北方高地ニ於テ攻撃セル敵、又歩ハ。第一大隊カ  
大龍窩南方高地ニ於テ攻撃セル敵ノ如キ何レモ舊  
關附近ニ於テ歩セセニ對シ再三逆襲シ毎具施シ或ハ  
井陘、舊關間ノ道路ニ對シ夜間奇襲ヲ毎具施セル  
部隊ニレテ頓ニ活氣ヲ有シアル爲兩大隊ハ意外ノ  
死傷ヲ生スルニ至レルカ如シ

其山地戰ニ於ケル迂回ノ價值ニ就テ

山地ニ於テハ迂回ニ依リテ戰況ヲ進捗セシムヘキアト古  
今ヲ通スル原則ニレテ特ニ支那軍ニ對シテハ其效果極  
メテ大アリ師團ノ太原作戰カ迅速ニ進捗セルハニ

右縱隊ノ大迂回成功スルニ因ルモトス  
尚行動不便ナル山地ニ於テモ迂回包圍ヲ敢行シ且  
我企圖ヲ秘匿シ而モ我行動勇敢迅速ナレハ依然大  
殲滅ヲ企圖スルコトヲ得ヘシ右連繫不十分ナル

支那軍ニ對シ而モ道路少キ娘子關ノ如キ地形ニ於テ殊ニ然リ

其、支那軍ノ白兵戰及夜龍衣ニ就テ

支那軍ハ同等以上ノ敵ニ對シテハ容易ニ接戰格闘ヲ敢行シ得サルモ少シク弱執カト見レハ晝夜ヲ問ハス接戰格闘ヲ企圖スルカ如シ

但兵力不明ナル敵ニ對スル夜龍衣ニ於テハ近距離ニ接近シテ猛烈ナル射撃ヲ加フルモ突入ハ容易ニ安易行シ得サルカ如シ夜龍衣ニ於テモ假令一部ト雖不意ニ北月後等ヨリ突入スルトキハ意外ニ成功スルハ本戰闘間其例ノ存スルトコロナリ

其、後方機關ノ掩護及自衛ニ就テ

後方機關ニ對スル龍衣撃ハ支那軍ノ常套手段ニシテ特ニ山西方面ノ支那軍ハ執拗ニ之ヲ繰返ス傾向アリ

從テ大行木子輜重ノ如キ山地ノ作戰ニ於テハ之ヲ各聯  
大隊毎ニ分屬同行セシムルカ或ハ相當ノ掩護部隊ヲ  
附シ更ニ特務兵等ニモ悉ク小銃ヲ携行セシムル等ノ  
用意アルヲ要ス

又後方部隊等ハ決シテ油斷スルヲナク近距離搜  
索及左右ノ警戒或ヲ勵行シ敵ニ乘セラレサルノ覺悟ナ  
カルヘカラス

其一部隊ノ追撃續行ニ就テ

追撃戰闘ニ於テ如何ニ補給困難ナリト云フモ決シテ  
全兵力ヲ途中一時停止セシムルヲナク一小部隊ト雖萬  
難ヲ排シテ敵ニ觸接急追セシムルヲ要ス之ヲ爲メ要ス  
レハ彈藥、糧食等ハ全師團ノモノヲ取集メ追撃ヲ  
續行スル部隊ニ與フルカ如キ非常手段ヲモ講スルヲ可  
トス師團カ右追撃隊及騎兵隊ヲ督勵シテ陽泉

以四ノ追撃ヲ極力續行セシメ之ニ彈藥携帶糧秣ヲ取集メ補給シタル結果意外ニ奇功ヲ奏シ太原以北ノ敵ヲ速ニ敗走セシメタルノミナラス太原東南方既設陣地ニ據シントスル敵ヲモ之ヲ潰滅セシムルニ到レリ蓋シ假令一部ト雖連續追撃セシムルトキハ敵シテ我全カノ追撃續行ヲ思ハシムルアトトナレハナリ支那軍ノ如キニ對シテハ殊ニ然リ

其カ追撃ノ成果ニ就テ

追撃ノ效果ハ意外ニ大ナルモアリ右追撃隊カ太原南方地區ニ於テ再三敵ノ大部隊ヲ潰滅シタルカ如キ又騎兵隊、左追撃隊カ榆次、平遙間追撃ニケリ意外ニ多量ノ鹵獲物件ヲ得タルカ如キ何レモ事前ニ於テ豫想シタル以上ノ成果ナリ

蓋徹底的追撃ノ必要ニ就テ

大追撃ヲ續行スルトキハ支那軍ノ如キハ何處迄モ退却ヲ續行スルコトハ過去屢々體驗セシトコロナリ然ルニ一度追撃ノ歩ヲ緩メルトキハ亦直ニ敵モ停止シテ陣地ヲ構築スルノ風アリ本大追撃ニ於テ更ニ南方要地迄追撃ヲ續行セハ上司ノ命ニ依ルトハ之誠ニ惜シキ極ミナリ」效果大ナリナラン

其各部隊ノ積極的行動ニ就テ

一歩兵隊ノ追撃ニ就テ

娘子關突破後正太線ニ沿ヒ陽泉、壽陽方向ニ追撃シタル右追撃隊ノ歩兵第七十八聯隊主力ハ縱隊追撃ニ移リシ後ト雖數線ニ亘リ高地ヲ占領シテ防禦セル敵ヲ逐次撃破セサルヘカヲサルヲ以テ嶮峻ナル山地而モ山西省特有ノ斷崖、地隙アル地區ヲ展開シタル能態ヲ以テ一地ヨリ一地ニ攻撃前進スルヲ連續ス

數日ニ亘リ約三十里將兵ノ勞苦ハ其極ニ達セリト雖  
其戰況ニ合レタル行動ニ依リ比較的容易ニ優勢カナ  
ル敵ヲ突破レテ迅速ニ追撃前進スルヲ得タリ  
ニ舊關附近砲兵ノ陣地占領及難路前進

右縱隊ノ娘子關一帶ノ攻撃ニ參與セシ野砲兵聯隊  
及野戰重砲兵聯隊カ舊關附近ノ地形極メニ狹少  
錯雜シ且階段狀ヲ爲セル高地ニ陣地進入ヲナレ步兵  
ノ攻撃ニ協カシタルハ平時ニ在リテハ豫想シ得サル  
難作業ナリレカ所謂超人的努力カニ依リテ之ヲ敢  
行セシモノアリ而モ敵ノ銳砲彈、追撃砲彈ヲ受クル  
地點ニ陣地ヲ占領シ得、適切ナル協カヲサレタルハ犧  
牲的精神ヲ發揮シタルモノナリ

次テ舊關ヨリ平定ニ向フ追撃茲壽陽ヨリ太原ヘノ  
追撃間ノ道路ハ敷石道又ハ急坂ノ難路ニシテ其多ク

ハ數十米ノ斷崖上ヲ通過セルモノニシテ野砲、重砲共ニ幾タノ艱難ヲ冒シ臂力前進ヲ併用シテ追撃隊ニ追及シ隨所ニ有效ナル協同ヲナシタリ。本前進間砲兵就中重砲兵ハ車軸十數個ヲ折損セシ程ノ難路ナリキ。

本追撃ニ於テ諸隊特ニ砲兵ノ追撃ヲ容易ナラシメタルハ工兵隊及道路構築隊ノ不眠不休ノ努力ニ俟ントコロ大ナリ。

### 三 右追撃隊ノ不期遭遇戰ニ就テ

十一月五日早朝右追撃隊カ太原平地ノ鳴謙鎮ニ於テ榆次方向ヨリ北上セシ約ニ師ノ敵ト不期遭遇戰ヲ交フルヤ當時各部隊ハ追撃ノ能ハシキ勢ニテ稍々分離シアリシニ拘ラス歩砲兵、獨立機關銃隊等ノ獨斷協同、良好ニシテ數時間ニ亘リ終始攻撃ヲ敢行

シ敵ハ約二千ノ遺棄死體ヲ残シ潰滅セリ更ニ追撃  
隊ノ各隊ハ小店鎮方向ニ前進シ太原東南方高地ノ  
既設陣地ノ一部ニ集結セル敵茲太原方向ヨリ南  
下スル敵ヲ隨所ニ攻撃シテ之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ獨  
斷機直ノ行動ヲナセリ

#### 四 飛行隊ノ協カニ就テ

本作戦間飛行隊ハ堅固ナル陣地ニ據レル敵ニ對ス  
ル歩兵ノ突撃ヲ準備ニ終始極メテ密接ナル協カヲ實  
施シ又適時敵情ノ通報、追撃部隊ヲ導キ五師團ト  
ノ連絡ニ大ニ努カレ師團ノ戦闘指導ニ裨益スルトコ  
ロ甚大ナルモノアリ

#### 五 配屬部隊ノ活動ニ就テ

師團配屬部隊就中獨立機關銃、迫撃砲及山砲  
等ハ全ク師團固有部隊ト同様戦闘ノ全局ヲ通シ

極メテ緊密積極的ニ活動シ多大ノ損害ヲ意トス  
 ナク犠牲的精神ヲ發揮シテ克ク師團ノ戰鬪遂  
 行ニ甚大ナル貢獻ヲ爲セリ

基軍司令官ノ祝電

本會戰間第一軍司令官、方面軍司令官ヨリ師  
 團長宛戰勝祝電ヲ受領セント在ノ四回アリ

一十月二十六日夜 第一軍司令官  
 娘子關占領直後

二十月三十日 方面軍司令官  
 平定平地ヲ略取シタル際

三十一月七日 方面軍司令官  
 太原平地攻略ノ際

四十一月九日 第一軍司令官  
 太原攻略ノ際

## 附錄

## 後方關係事項

## 其二 衛生

## 一 衛生

右側支隊(後右縱隊)ニ配屬セル衛生隊三分ノ六十月十三日井陘三十  
四部隊ノ前進ニ伴ヒ旧關繃帶所ヲ開設ス

十月二十日師團主力井陘附近進出ニ伴ヒ左縱隊方面ニ在リテハ巨村  
木曾村北部小川等ニ於テ又正太鐵道方面之驛嶺附近及北峪  
等ニ繃帶所ヲ開設シ傷者收容後送在ス爾後追撃ニ方リテ六部隊  
ニ跟隨傷者ヲ收容前送シ十月三十一日正太鐵道方面ノ三分ノ六下五渡  
村ニ主力ハ平定ニ前進シ其三分ノヲ以テ繃帶所ヲ開設シ娘子關旧  
關以降ノ傷者ヲ收容ス

右側支隊(後右縱隊)ニ配屬セン第三野戰病院ハ十月十五日井陘  
ニ開設患者三〇名ヲ收容同十八日患者ヲ兵站衛生機關ニ引  
繼キ次テ同三十日迄枝挑園及旧關ニ於テ開設患者三〇名ヲ收

療十月二日平定ニ集結セリ

第二野戦病院ハ左縦隊ニ跟随シ十月二十六日北部小川ニ於テ開設  
患者七十六名ヲ収療シ第四野戦病院ハ右追撃隊ニ跟随シ十  
九日龍庄村ニ開設患者二六名ヲ収容シ後夫々平定ニ集結セリ  
第一野戦病院ハ師團本隊ノ後尾ヲ續行十月一日平定ニ到リ繃  
帶所ヲ引繼キ開設シ十月十日閉鎖迄ニ患者七三名ヲ収療セリ  
陽泉及平定附近以西ノ追撃ニ力リテハ衛生隊ハ兩追撃隊ニ各  
三分ノヲ配屬ス右追撃隊配屬ノ一部ハ塩房村ニ左追撃隊配  
屬ノ一部ハ平遙ニ達シ各繃帶所ヲ開設傷者ヲ収容後送シ主力(三  
分ノ二)ハ師團本隊ト共十一月七日榆次ニ到レリ

第四野戦病院ハ右追撃隊ニ跟随シ途中壽陽ニテ衛生隊ノ  
傷者ヲ引繼キ十一月七日榆次ニ到著同地ニ開設シ十月二十日迄ニ患  
者六五六名ヲ収容ス

第二野戦病院ハ引續キ平定ニ開設シ十月十日閉鎖後陽泉ニ待

命ス

第三野戦病院ハ左追撃隊ニ跟随シ廣陽鎮附近ニ於テ敵攻撃ヲ受ケ六十名ノ死傷ヲ出セルモ人員ハ榆次及平定ニ集結ス第三野戦病院ハ師團本隊ノ後ヲ續行シ十日榆次ニ到着待命ス

本戦闘間衛生機關ハ一部駄載ニ改編セシ爲其追隨ハ比較的滑ニ安易施セタルモ山岳地帯ナルト道路不良ナルトニ依リ患者ノ輸送ハ相當困難ヲ感シタリ

二馬匹ノ衛生

病馬收容所ハ主力ヲ以テ枕頭ニ開設シ一部ハ右側支隊(後右縱隊)ニ配屬十月十三日より井陘ニ開設シアリシカ師團全力ヲ以テ陽泉平地ニ向ヒ作戰スルニ力リ枕頭ニ在リシ主力ヨリ更ニ部ヲ左縱隊ニ配屬シ殘餘ハ十月二十日枕頭出發同二十四日井陘ニ至リ先ニ同地ニ開設シアリシ一部ト合シ開設ス主力ハ戦闘ノ進捗ニ伴ヒ十月二十日井陘收容病馬四頭ヲ同地ニ於テ兵站病馬廠支廠ヘ引繼ギテ後師

團本隊ノ後方ヲ續行十月三十日平定ニ到着シ先ニ左縦隊ニ配屬セシ一部ト合シ開設ス平定ニ於テ病馬發生ノ現況ニ鑑ミ病馬收容所ノ編成ヲ強化ス即從來馬廠ノ約半部ヲ以テ編成シ獸醫部將校ニ名ニ過キサリシヲ馬廠ノ全員ヲ以テ其基幹トシ更ニ隷下部隊ヨリ獸醫師免許證ヲ有スル獸醫務下士官ニ特務兵一茲獸醫部下士官適任證書ヲ有スル上等兵四ヲ増加配屬シ師團獸醫部部員ヲシテ收容所長ヲ兼務セシメ以テ治療ニ遺憾ナキヲ期セリ

枕頭出發後井陘附近迄ニ於テル收容病馬數四四頭井陘ヨリ平定ニ至ル間ノ收容病馬六五頭ニ達セリ

陽泉及平定附近以西ノ追撃隊ニオリテ六病馬收容所ノ各部ヲ兩追撃隊ニ配屬シ主力ハ收容病馬ヲ牽連シ十一月四日平定出發師團主力ノ後方ヲ續行シ十一月十日榆次到着其同地ニ開設ス

左追撃隊配屬ノ一部ハ廣陽鎮附近ニ於テ敵ノ攻撃ヲ受ケタルモ前進ヲ續行シ榆次附近ニ到リ主力ニ合シ右追撃隊配屬ノ一部ハ十一月四日小店

鎮ニ到リ開設土月二十日主力ニ合セリ

平定出發ヨリ榆次到着直後迄ニ於ケル收容馬數約一五〇頭ナリ

### 三給水

第一防疫給水班八十月二十日石家莊附近ヲ出發シ井陘ニ到リ同方面部隊ノ給水ニ任シ爾後ノ追撃ニ方リテ師團本隊ノ進路ヲ躍進シ給水ヲ實施シツツ榆次ニ到レリ

本作戦地ハ井水少ク而モ水質不良ニシテ同給水班ノ活動ハ兵員ノ戦力増進ニ貢獻セル所特ニ大ナルモノアリ

### 其二彈藥及糧秣ノ補給

#### 一補給部署ノ概要

右側支隊(後右縱隊)ニ當初彈藥約ニ中隊糧秣約ニ小隊ヲ配屬シテ補給ニ任セシメ師團全カヲ以テ陽泉平地ニ向ヒ作戰スルニ方リテ左縱隊ニ彈藥ニ中隊ト小隊糧秣ニ中隊ト小隊ヲ配屬シ尚兵站輜重約ニ中隊ヲ同縱隊ニ跟隨シ直接補給方ヲ兵站ニ要求シ輜重主

カヲ井陘附近ニ進メ補給ニ任セシム

平定附近ヨリ以西ノ追撃手ニ方リテ右追撃隊ニ彈藥、糧秣各一中隊、左追撃隊ニ彈藥、中隊ト小隊糧秣、中隊ト小隊ヲ配屬シ爾餘輜重師團本隊ノ後方ヲ續行セシメ尚兵站輜重約三中队ヲ左追撃隊ノ後方ヲ續行シ同追撃隊ニ直接補給方ヲ兵站ニ要求ス

大行李ハ作戰地ノ地形特ニ道路網ノ狀況ニ鑑ミ兩追撃隊所屬大行李ハ各追撃隊ニ續行セシメ師團本隊諸隊ノ大行李ハ平定附近迄ハ師團大行李長ノ指揮ヲ以テ一團トナリ行動シ平定附近以西各梯團ノ後方ヲ各續行セシム

## ニ補給實施ノ概要

一娘子關附近ノ戰鬪茲陽泉平地ニ向テ追撃間補給

娘子關附近ノ戰鬪ニ於テハ師團主力方面ニ在リテ井陘西方地區及旧關附近彈藥及糧秣交付所ヲ開設シ河滑ニ補給ヲ實施シ得タルモ左縱隊ノ面ハ地形ノ險惡、道路ノ不良、敵ノ妨害等ヲ爲補給意ノ如ク十一月二

十七日六師團本隊ニ續行中ノ糧秣輜重中隊ヲ旧關一柏木井  
一平定道ヲ前進左縱隊ニ直接補給ヲ命シ尙軍ニ同縱隊ノ爲食  
糧ノ空中投下ヲ要求セリ

右糧秣中隊ハ道路ノ狀況諸隊ノ超越ヲ許サス爲ニ直接補給ヲ  
實施施得サリシモ食糧ノ空中投下ハ柏木井附近ニテ一部實施セ  
レタリ然レ共是亦山岳地帯ノ爲實際拾得タルモノハ粉末狀ト  
ナル極メテ少量ニ過キサリキ

十八日ニ至ルヤ左縱隊續行中ノ後方部隊ノ献身積極的ノ努力ニ  
依リ同縱隊ニ追及補給ヲ實施シ戦力ヲ維持スルヲ得タリ特師  
團ニ協力ノ兵站部隊カ師團輜重ヲ超越シテ直接左縱隊ニ  
對スル補給ヲ敢行セルハ多トスル所ナリ

口陽泉平定附近ニ於ケル補給

師團ニ對スル後方ヨリスル補給ハ道路ノ關係上遲延ヲ免カレス然ルニ  
師團ハ戦況上依然追撃ヲ敢行ヲ要シ而モ師團主力前進開始

後ハ地形特ニ道路ノ狀態上後方ヨリスル超越補給ハ不可能ナル狀  
況ニ鑑ミ補給ニ關シ左記ノ如ク處置シ作戰ノ要求ニ順應スヘキヲ  
期セリ

ハ第四兵站司令官ニ特使ヲ派シ爾後ハ補給ハ兵站輸送機關ヲ  
陽泉及平定附近ニ進メ師團ニ對シ直接補給ヲ實施スルト共  
ニ正太鐵道及同鐵道沿フ道路並井陘―旧關―平定道依  
リ遂クモ十月一日頃迄ニ整備糧秣五日分ヲ追送セラ度旨ヲ示  
ス

ハ經理部部員ヲ先遣シ地方物資ノ調達ヲ行ハシム  
ハ糧秣ノ整備ヲ速ニ完了スル爲陽泉及平定附近進出後ヨリ同地附  
近出發迄日々費消正規糧秣ハ定量ニ分乃至三分ニヲ使用シ其  
不足ハ地方物資ノ利用ニ依リ之ヲ補足セシム

ハ各部隊ニ對シ補給順序ヲ左如クシテ作戰ノ要求ニ應ジシム

右追撃部隊

## 左追撃手隊

師團本隊（更ニ各梯團ニ順序ヲ附ス）

5. 兵站監部ト連絡上井陘―旧關―平定道ヲ兵站自動車専用道路トシ同道路上ニ各部隊車輛ノ通行ヲ禁止ス

6. 師團後續重車輛部隊ノ爲補給路ヲ閉鎖シアル狀況ニ鑑

ミ石門口及西郊村附近河原ニ開進シ道路ヲ開放セシム

以上如キ處置ヲ講シ携行裝備ノ急速ナル整備ヲ企圖セシモ平定附近到著當初ハ後續重車輛ノ爲道路ノ開放意ノ如クナラズ正太鐵道ハ娘子關附近ニ於テ敵ニ破壊セラレ道路亦不良爲後方ヨリスル追送ハ意ノ如クナラザリシモ幸ニ陽泉及平定附近ニ於テ相當量ノ糧秣ヲ押収シ得タルヲ以テ其大部並追送品一部ヲ以テ先ツ右追撃手隊及左追撃隊並遣隊及左追撃手隊ノ裝備ヲ又追送諸品到著ヲ待テ逐次師團本隊諸隊ノ裝備ヲ充實セシム斯ノ如クニ各部隊ハ逐次射耗彈藥ノ大部三日乃至四日ノ糧食ヲ補充シ右追撃手隊ハ停止スルコトヲ引續

キ追撃ヲ敢行シ左追撃隊二部ハ十月二日主力ハ同日師團本隊諸隊ハ同日ヨリ前進ヲ開始スルヲ得タリ

ハ爾後太原平地進出迄ニ於テハ補給

爾後追撃間ハ特ニ後方ヨリスル補給ヲ爲スコトナク太原平地進出後之ヲ實施セリ

三、地方住民並物資ノ狀況

山西地方ハ閻錫山ノ抗日政策徹底セルニ因ルモノナリ平漢沿線ト趣ヲ異シ各部落ニ住民殆トナク又作戰地域ハ山地帯ニシテ而モ農作物ノ收穫期ヲ過キアル爲軍隊利用スル物資極メ乏シク給養ニ幾多ノ困難ヲ感セリ

其ニ後方機關ノ掩護及其他

一、後方機關ノ掩護及戰場掃除

作戰地ノ地形及敵軍ノ特質ニ鑑ミ作戰開始ミヨリ後方機關ノ掩護ニ關シテハ特ニ般ニ注意ヲ倍徙シ作戰遂行ミヨリハ後方ノ要地ニ掩護部

隊ヲ配置シ尚所要部隊ニ直接掩護部隊ヲ附シ敵ノ妨害ニ備ヘル  
モ刺魚鎮西方地區廣陽鎮附近熱陽泉西方地區ニ於テ敵ノ攻撃  
ヲ受テ犠牲者ヲ生セシ遺憾トスル所ナリ

而シテ刺魚鎮西方地區ニ步兵一中隊機關銃一小隊ヲ又廣陽鎮  
附近ニ步兵約大隊ヲ派遣シテ殘敵ノ掃蕩並戰場掃除ヲ實施セ  
シメタリ

### ニ後方機關改編

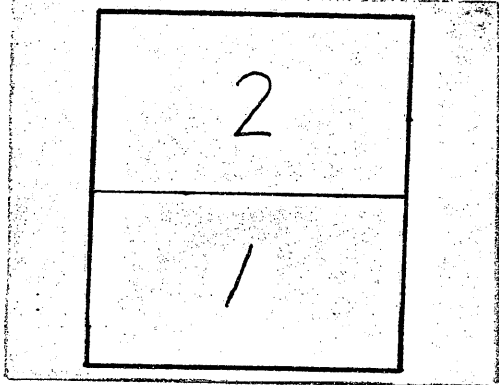
師團輜重約半數ハ既ニ駄載ニ改編シアリシカ本作戦開始ニ方リ  
作戰地ノ地形ニ鑑ミ左縱隊配屬ノ後方機關ハ全部ヲ駄載ニ改編  
シ作戰ニ追隨セシメタリ

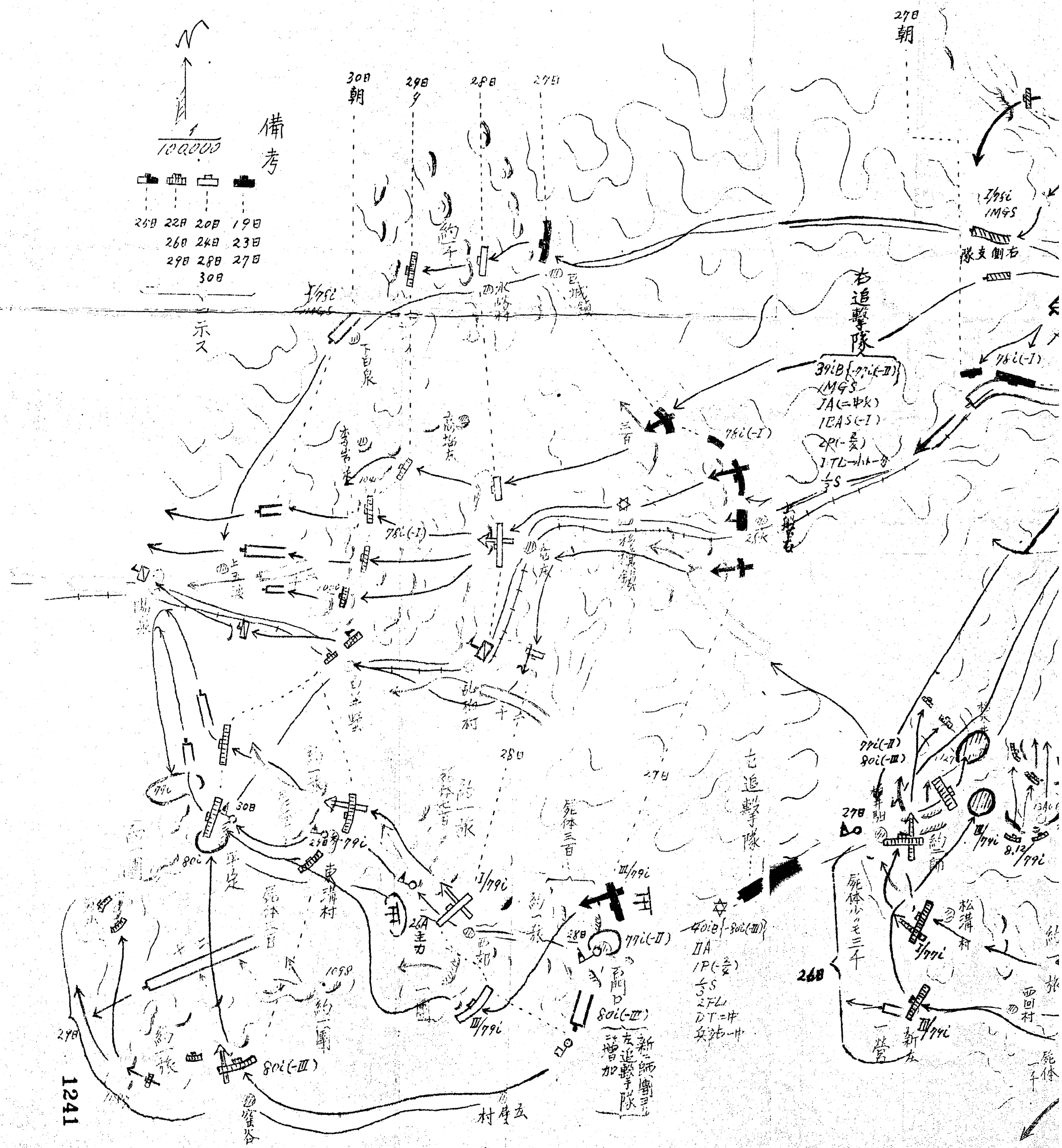
### 三更衣

本期作戰ハ更衣期ニシテ而モ山西地方ノ氣溫ニ鑑ミ師團主力ハ石家莊  
附近出發ニ先ケ又右側支隊(後右縱隊)ハ井陘及旧關附近戰鬪間ニ  
於テ逐次冬服ニ更衣ノ手段ヲ講シ体力ノ保持ニ遺憾ナキヲ期セシモ尚

一部ノ部隊ニ在リテハ戦況其他ノ關係ニ依リ遂ニ大原平地ニ於テ之ヲ  
施スルノ已ムナキニ至レルモヤリ

# 分割撮影ターゲット

|                                                                                                                                                                    |                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 分割した<br>部分の撮<br>影 順 序                                                                                                                                              |  |
| 分割撮影<br>した<br>理 由                                                                                                                                                  | A 3 判以上のため                                                                         |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は<br/>撮影立会者 坂根嘉和 </p> |                                                                                    |

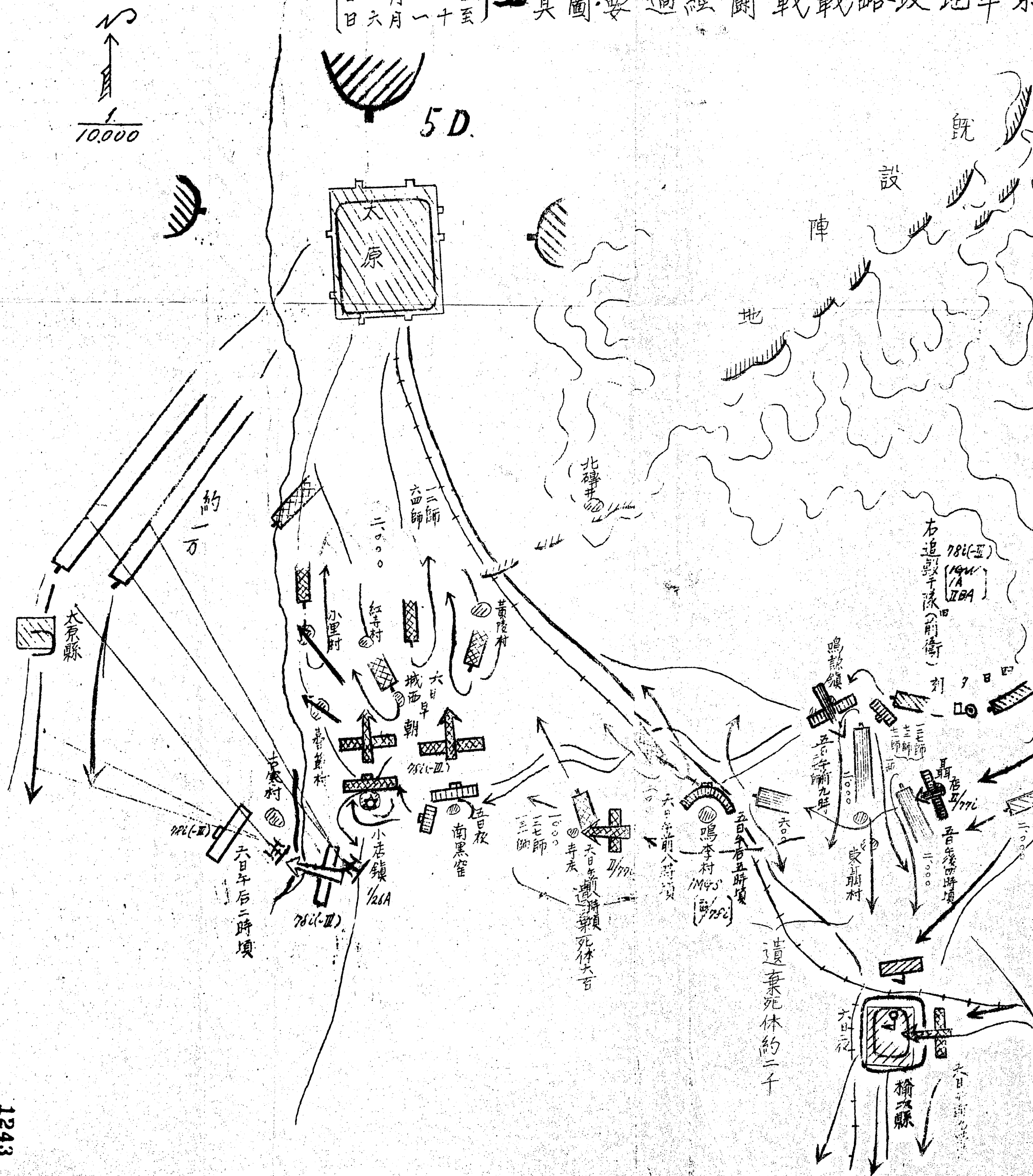




# 分割撮影ターゲット

|                                                                                                                                                                       |                                                                                                        |   |   |   |   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|
| 分割した<br>部分の撮<br>影 順 序                                                                                                                                                 | <table border="1"><tr><td>4</td></tr><tr><td>3</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 3                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 2                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 1                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |   |   |   |   |
| 分割撮影<br>した<br>理 由                                                                                                                                                     | A 3 判以上のため                                                                                             |   |   |   |   |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 坂根嘉和 </p> |                                                                                                        |   |   |   |   |

〔日一月一十自〕其圖要過經蘭戰戰路攻地平京



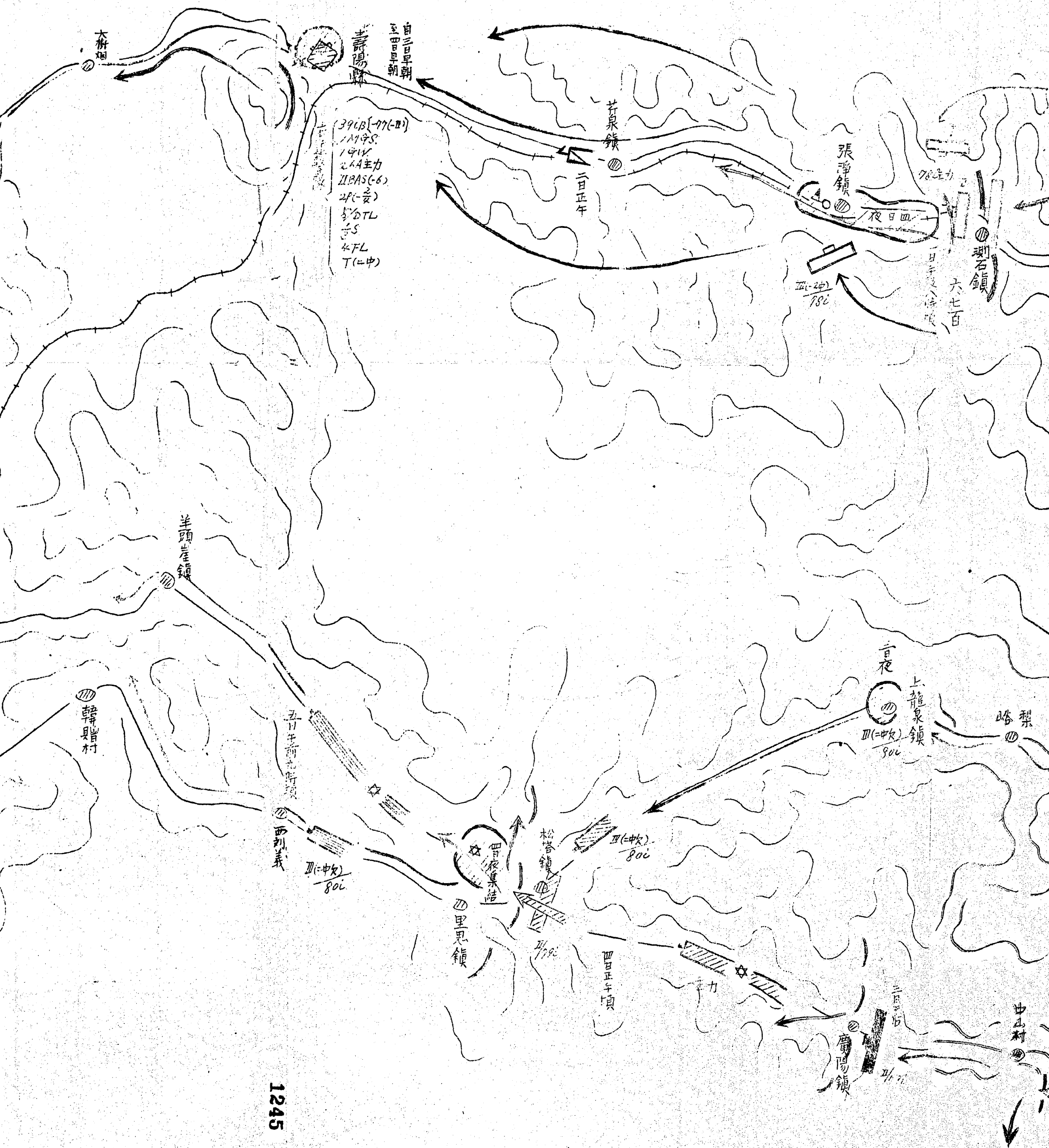
地平系太團師十二第

This hand-drawn military map depicts a mountainous terrain with numerous peaks and valleys. Key locations and features include:

- Top Left:** A mountain peak labeled "既" (Already).
- Top Center:** A mountain peak labeled "大橋" (Great Bridge).
- Top Right:** A mountain peak labeled "羊頭崖鎮" (Yangtuo Cliff Town).
- Center:** A mountain peak labeled "風神山" (Fengshen Mountain).
- Bottom Center:** A mountain peak labeled "鎮洛西" (Zhenluo West).
- Bottom Left:** A mountain peak labeled "南流" (South Flow).
- Left Side:** A mountain peak labeled "右追擊隊(前衛)" (Right Pursuit Team (Frontier)).
- Right Side:** A mountain peak labeled "韓興村" (Hanxing Village).
- Center-Right:** A mountain peak labeled "劉家坡" (Liujiapo).
- Center-Left:** A mountain peak labeled "左追擊隊(主)" (Left Pursuit Team (Main)).
- Bottom Center:** A mountain peak labeled "木坊" (Wooden Workshop).
- Bottom Right:** A mountain peak labeled "望遠家左" (Wangyuan Family Left).
- Bottom Left:** A mountain peak labeled "五台" (Wutai).
- Bottom Center:** A mountain peak labeled "五台" (Wutai).
- Bottom Right:** A mountain peak labeled "五台" (Wutai).

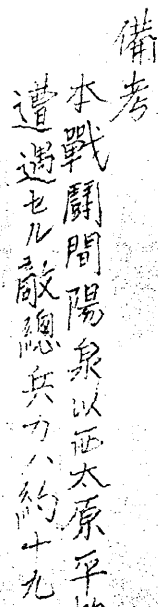
Arrows indicate movement paths and directions. A scale bar at the bottom left shows distances in miles (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100). A scale bar at the bottom right shows distances in miles (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100).

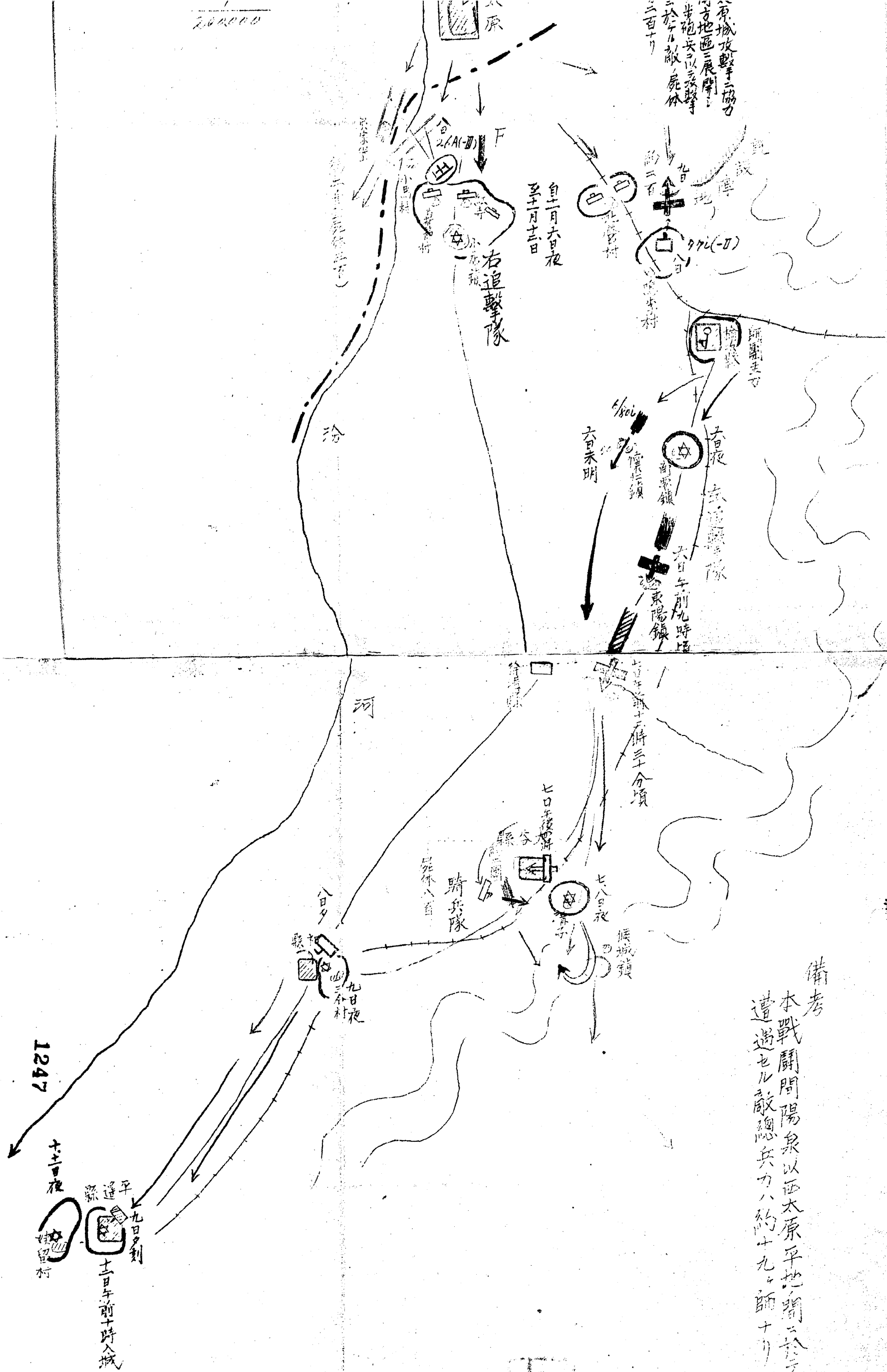
1244





(自一十月六日至十一月二十日)





備考  
本戦間陽泉以西太原平地間ニ於テ  
遭遇セル敵總兵力ハ約十九師ナリ

3